

製品の使用条件について

本カタログでは、使用条件の中で、用途、耐荷重・建具の質量制限、対応範囲などの表記により、その製品の許容範囲を示しています。範囲を超えてご使用になりますと、故障や事故発生の原因になることがありますので、ご注意ください。また本カタログに掲載されている使用条件は弊社製品単体、もしくは弊社製品同士を組合せた場合の能力範囲です。弊社製品を部品として使用した最終製品の性能を保証するものではありません。

「耐荷重」あるいは「質量制限」などの数値は、「代用試験」または「強度計算」あるいは「同等品の実績からの類推」などによるものです。使用状況によって商品能力が大きく変化することもありますので、示してある数値はあくまでも商品選定のための目安とお考えください。

材質について

材 質

材質の異なる複数の部品から構成されている製品の場合は、主要部品の材質を示しています。また、材質名は、特に必要と思われる場合以外は、鋼、アルミ合金というように一般的な名称で表記しています。またプラスチックについては略号で表記しています。

JIS略号	樹脂名	JIS略号	樹脂名
ABS	ABS樹脂	PMMA	アクリル樹脂
AES	AES樹脂	POM	ポリアセタール
PA	ポリアミド(ナイロン)	PP	ポリプロピレン
PBT	ポリブチレンテレフタレート	PS	ポリスチレン
PC	ポリカーボネート	PUR	ポリウレタン
PE	ポリエチレン	PVC	ポリ塩化ビニル
PET	ポリエチレンテレフタレート		

折戸金具について

- 一般住宅屋内用木製折戸(浴室には使用できません)
- 適応扉質量以下の折戸でご使用ください。
- 製品を落とすと変形・破損する事があります。
- 上部レールの中にゴミ・くずなどが入らないようにしてください。
- 上部レールは傾き・ねじれが無いように取付けてください。また、上部レールはトルクを強くして取付けると、レールがすぼむように変形して、折戸の開閉に支障をきたす場合がありますので、ご注意ください。
- ツバ付きの上部レール(AFD-1300/HR-130)を取付ける際は、レール取付け部の溝深さが、レールの高さよりも深くならないようにご注意ください。レール取付け部の溝が深すぎる場合、レール取付け時に、溝の縁にレールのツバ部が引っかかり、レールがすぼむように変形して、折戸の開閉に支障をきたす場合があります。
- 各取付ねじは、しっかりと取付け、ゆるみがないようにしてください。添付取付ねじは木部用です。木部以外への取付けは、専用のねじ、アンカーなどをご使用ください。
- 製品は、ねじの締め過ぎによる変形が無いように取付けてください。
- 調整操作は、必ず手回しドライバーで行ってください(電動ドライバーでの調整はしないでください。金具の破損の原因になります)。

各金具紹介ページにも、ご注意していただく点について明記していますので、ご確認ください。



折戸金具

CONTENTS

製品INDEX	360
AFD SYSTEM	362
HR SYSTEM	374
SD SYSTEM	392
HD SYSTEM	394
HDS SYSTEM	406
OFD-3N SYSTEM(アウトセット)	410
OFD-4N SYSTEM(アウトセット)	414
折戸オプション金具	
折戸用丁番	416
折戸用下部振止／折戸用ロック	418
折戸用部品	420
折戸用ダンパー FC-790	422
折戸用工具	423
レール一覧	424
レールクリーナー／レールの仕様／スパナ対応表	427
折戸金具に関するQ&A	428

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

製品INDEX

開き戸
金具
1

引戸
金具
2

上吊式
引戸金具
3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠
4

移動
間仕切
金具
5

室内用
アルミ建具
6

折戸
金具
7

取手・
引手
8

スライド
丁番
9

スライド
ワイヤー
バスケット
10

収納・
吊金具
11

その他の
家具金物
12

物干金具・
諸金具
13

設計
施工
ガイド

会社案内

	品名	掲載ページ	戸の用途例	納まり	主な使用レール	折戸の総質量 (kg/1組)
AFD	標準 AFD-2700	362	間仕切	インセット	 AFD-1500 21.5 20	30kg 以下 または 20kg 以下
	標準 AFD-2800	365	収納			
	軸吊ハンガー式 下部レールなし	368	収納			
	軸吊ハンガー式 折戸+開き戸	369	収納			
HR	標準 HR-200	374	収納	インセット	 HR-150 23.5 28	30kg 以下
	薄扉用 HR-200-SL	377	収納			
	標準 HR-220	379	間仕切			
	軸吊ハンガー式 下部レールなし	382	収納			
	軸吊ハンガー式 折戸+開き戸	383	収納			
	軸吊ハンガー式 薄扉用	386	収納			
	引込み折戸 HR-200	388	間仕切			
	引込み折戸 HR-240	390	間仕切			
SD	標準	392	収納	インセット	 SD-1100 31 34	40kg 以下 ■表記訂正(25/07/01)
			間仕切			
HD	標準	394	収納	インセット	 HD-001 10.5 1.5 20	24kg 以下
	折戸+開き戸	395	収納			20kg 以下
	直付レール HD-07	396	収納			24kg 以下
	下部レールなし	397	収納			24kg 以下
	簡易施工 HD-19	398	収納			24kg 以下
	下部レールなし 省施工・脱落防止	399	収納			24kg 以下
HDS	直付レール HD-07	406	収納	インセット	 HDS-02 7.8 1.2 15.8	20kg 以下
	標準	407	収納			
OFD-3N	標準	410	収納	アウトセット	 AFD-1500 21.5 20	20kg 以下
	下部レールなし	411	収納			
OFD-4N	標準	414	収納	アウトセット	 HR-150 23.5 28	30kg 以下

吊り方	吊り車 取付け位置	下部レール 使用	開閉タイプ			折戸の厚さ (mm)	折戸の幅 (mm/1組)
			フリーオープン (仮固定可※)	吊元固定	折戸+開き戸		
上吊式	木口	○(直付け)	○※	ストッパー使用で 一部可能	—	30mm 以上	600~900mm
上吊式	裏面	○(直付け)	○※	ストッパー使用で 一部可能	—	24mm 以上	800~900mm
上吊式+軸吊式	裏面	—	—	○	—	29mm 以上	600~900mm
上吊式+軸吊式	裏面	○(直付け)	—	○	○	29mm 以上	600~900mm
上吊式	裏面	○(直付け)	○※	ストッパー使用で 一部可能	—	26mm 以上	800~900mm
上吊式	裏面	○	○※	ストッパー使用で 可能	—	20~26mm	800~900mm
上吊式	木口	○(直付け)	○※	ストッパー使用で 一部可能	—	30mm 以上	600~900mm
上吊式+軸吊式	裏面	—	—	○	—	26mm 以上	600~900mm
上吊式+軸吊式	裏面	○(直付け)	—	○	○	29mm 以上	600~900mm
上吊式	裏面	—	—	○	—	20~26mm	800~900mm
上吊式+軸吊式	裏面	—	—	○	—	30mm 以上	900~1,200mm
上吊式	木口	—	—	○	—	30mm 以上	900~1,200mm
上吊式	木口	○	○	ストッパー使用で 可能	—	25mm 以上	600~900mm ■表記訂正(25/07/01)
上吊式	木口	○	○	ストッパー使用で 可能	—	30mm 以上	
軸吊式	—	○	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	○	—	○	○	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	○(直付け)	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	—	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	—	—	○	—	20~38mm	600~900mm
軸吊式	—	—	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	○(直付け)	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
軸吊式	—	○	—	○	—	20mm 以上	600~900mm
上吊式	裏面	○	○	ストッパー使用で 可能	—	20mm 以上	800~900mm
上吊式	裏面	—	—	○	—	20mm 以上	800~900mm
上吊式	裏面	○	○	ストッパー使用で 可能	—	20mm 以上	800~900mm

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量: AFD-2700-K 30kg以下/AFD-2700 20kg以下 ◇戸の厚さ: 30mm以上 ◇折戸1組の戸幅: 600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

- コンパクトなレールを使用して30kg(折戸1組)までの折戸に対応できます。
金具が戸の木口面に付くタイプのため、戸を閉めた状態においてどちら側からも金具が見えません。
- 直付用下部レールHD-07は、下枠への掘込加工が不要です。
レールの高さが低い(3.1mm)バリアフリー仕様です(AFD-120はレール高さ12mm)。

金具の使用場所

AFD-3110

●上部吊元仮固定用キャッチ

上部レールに後付けできます。
AFD-2700用カバーと一緒にご使用ください。



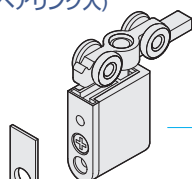
AFD-2700-K

●上部吊り車(金属ベアリング入)

AFD-2700

●上部吊り車

戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下調整ができます。

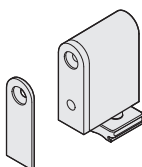


AFD-2700用カバー

●カバー

AFD-4200

●下部ガイド



AFD-4200用カバー

●カバー



HR-300

●下部吊元仮固定用キャッチ

下部レールに後付けできます。
AFD-4200用カバーと一緒にご使用ください。

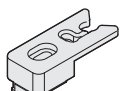


または

HD-74

●下部吊元仮固定用キャッチ

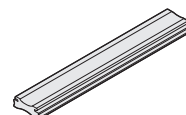
HD-07に後付けできます。
AFD-4200用カバーと一緒にご使用ください。
※AFD-110またはAFD-120を使用する場合に比べて、戸と下部レールのすきまが広がります(790ページ参照)。



HD-76

●走行安定用スペーサー

戸の開閉方法がフリーオープンタイプの場合で、戸の開き角度50°で仮ストップする機構を持たない丁番(HD-37など)を使用する場合に必要になります。



AFD-1500 または AFD-1300

●上部レール

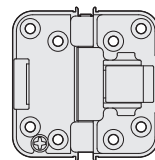
●掘込用上部レール



HD-37

●間仕切折戸用丁番

木口面掘込み。
折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。
キャッチが効いているため閉時に戸がふらつきません。
さらに表からでもドライバー1つで、閉時の戸の蛇行修正が可能な丁番です。



※丁番はHD-37以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。

AFD-110 または AFD-120

●掘込用下部レール

●直付用下部レール



または

HD-07

●直付用下部レール



使用金具例

使用 金具の 種類	上部レール	下部レール	下部レール	上部吊り車	上部吊り車用 カバー	下部ガイド	下部ガイド用 カバー	上部吊元 仮固定用 キャッチ	下部吊元 仮固定用 キャッチ	下部吊元 仮固定用 キャッチ	走行安定用 スペーサー	丁番	価格 (税抜)
折戸の 形式	AFD-1500	AFD-110	HD-07	AFD-2700-K	AFD-2700用 カバー	AFD-4200	AFD-4200用 カバー	AFD-3110	HR-300	HD-74	HD-76	HD-37	レールは アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
1組	900mm*	900mm*	—	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥22,280
	900mm*	—	900mm*	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1ヶ	—	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥22,120
2組	1,820mm	1,800mm	—	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	—	2ヶ	6ヶ	¥37,360
	1,820mm	—	1,820mm	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	2ヶ	—	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥37,240

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表 ※上部吊り車・下部ガイドの木口加工用 ルータービット16mm を423ページに掲載しています。

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
AFD-2700-K		[ベアリング] 金属ベアリング [材 質] 本体: PA66、銅 カップ: 亜鉛合金 車輪: POM、銅 [仕上げ] 茶、白 [結合ねじ] +皿小ねじ 4×25 1本 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 3本	茶 ¥2,900 注文コード 245893 白 ¥3,000 注文コード 245894	16ヶ
AFD-2700		[材 質] 本体: PA66、銅 カップ: 亜鉛合金 車輪: POM [仕上げ] 茶、白 [結合ねじ] +皿小ねじ 4×25 1本 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 3本	茶 ¥2,400 注文コード 245895 白 ¥2,500 注文コード 245896	16ヶ
AFD-2700用カバー		[材 質] ABS [仕上げ] 茶、白	茶 ¥140 注文コード 245897 白 ¥140 注文コード 245898	100ヶ
AFD-4200		[材 質] 本体: PA66、銅 カップ: 亜鉛合金 スライダ: POM [仕上げ] 茶、白 [結合ねじ] +皿小ねじ 4×25 1本 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 3本	茶 ¥1,350 注文コード 228106 白 ¥1,450 注文コード 228107	16ヶ
AFD-4200用カバー		[材 質] ABS [仕上げ] 茶、白	茶 ¥150 注文コード 245899 白 ¥150 注文コード 245900	100ヶ
AFD-3110		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥560 注文コード 245901 グレー ¥560 注文コード 245902	100ヶ
AFD-3600		●上部吊元完全固定用ストッパー 吊元を完全に固定したいとき、上部吊り車の軸をAFD-3110と双方から挟み込んで固定します。レールに後付けできます。※HD-74とはご使用になれません。 [材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥550 注文コード 245903 グレー ¥550 注文コード 245904	100ヶ
HR-300		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340 注文コード 078954 グレー ¥340 注文コード 245905	100ヶ

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-360		●下部吊元完全固定用ストッパー 吊元を完全に固定したいとき、下部ガイドの軸をHR-300と双方から挟み込んで固定します。 レールに後付けできます。 ※HD-74とはご使用になれません。 [材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340 注文コード 654921 グレー ¥340 注文コード 245906	100ヶ
HD-74		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー [添付品] +セルフドリリングねじ 3.5×25 1本	DG色 ¥380 注文コード 000113 グレー ¥380 注文コード 245907	100ヶ
HD-76		[材 質] POM [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥300 注文コード 245908 グレー ¥300 注文コード 245909	100ヶ
HD-37		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,600 注文コード 079370 アイボリー ¥1,600 注文コード 079371	24ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は424・426ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
AFD-1500 	AFD-1300
AFD-110 	AFD-120

品番・製品寸法図
HD-07

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

使用条件

◇折戸1組の総質量: AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ: 24mm以上

◇折戸1組の戸幅: 800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上の連結はできません。

- コンパクトなレールを使用して30kg(折戸1組)までの折戸に対応できます。

金具が戸の裏面側に付くタイプのため、木口面にR面やC面加工をすることができます。

- 直付用下部レールHD-07は、下枠への掘込加工が不要です。

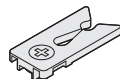
レールの高さが低い(3.1mm)バリアフリー仕様です(AFD-120はレール高さ12mm)。

■金具の使用場所

AFD-3110

- 上部吊元仮固定用キャッチ

上部レールに後付けできます。



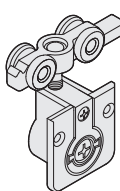
AFD-2800-K

- 上部吊り車(金属ベアリング入)

AFD-2800

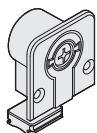
- 上部吊り車

戸を吊ったままの状態、専用スパナ(AFD-600)により戸の上下調整ができます。



AFD-4000

- 下部ガイド



HR-300

- 下部吊元仮固定用キャッチ

下部レールに後付けできます。



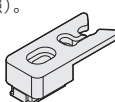
または

HD-74

- 下部吊元仮固定用キャッチ

HD-07に後付けできます。

※AFD-110またはAFD-120を使用する場合に比べて、戸と下部レールのすきまが広くなります(792ページ参照)。



AFD-1500 または AFD-1300

- 上部レール

- 掘込用上部レール



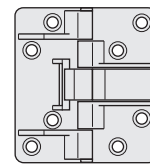
HD-35

- 収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。

折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。

キャッチが効いているため開閉時に戸がぶらつきません。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。

AFD-110 または AFD-120

- 掘込用下部レール

- 直付用下部レール



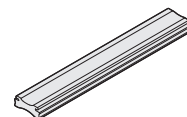
- 直付用下部レール



HD-76

- 走行安定用スペーサー

戸の開閉方法がフリーオープンタイプの場合で、戸の開き角度50°で仮ストップする機構を持たない丁番(HD-35など)を使用する場合に必要になります。

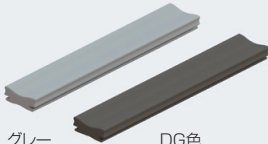

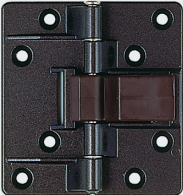
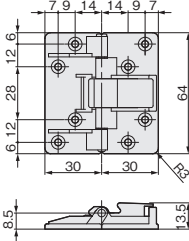

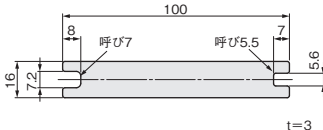


■使用金具例

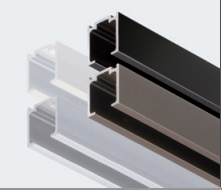
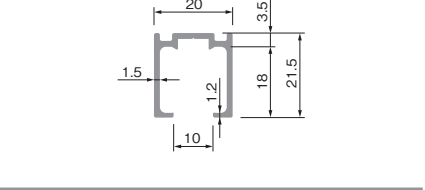
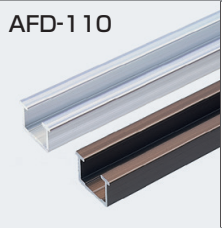
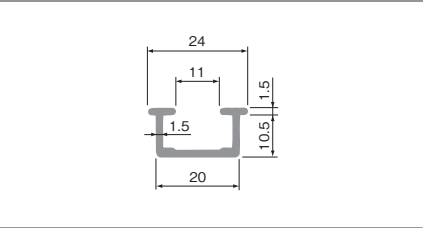

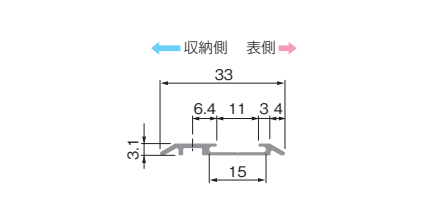
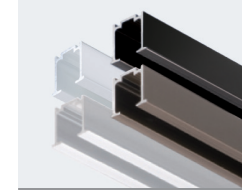
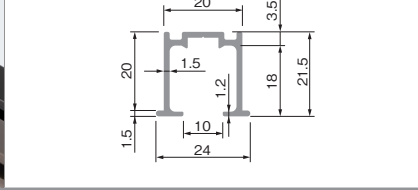
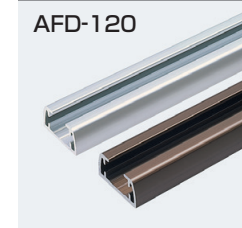
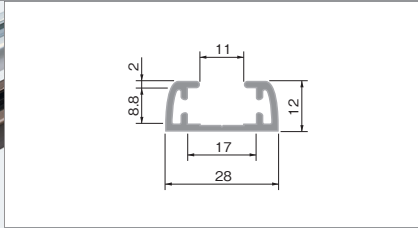
使用金具の種類	上部レール	下部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	上部吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	走行安定用スペーサー	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	AFD-1500	AFD-110	HD-07	AFD-2800-K	AFD-4000	AFD-3110	HR-300	HD-74	HD-76	HD-35	レールはアンバーを丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	900mm*	—	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥20,600
	900mm*	—	900mm*	2ヶ	2ヶ	1ヶ	—	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥20,440
2組	1,820mm	1,800mm	—	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	—	2ヶ	6ヶ	¥34,000
	1,820mm	—	1,820mm	4ヶ	4ヶ	2ヶ	—	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥33,880

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-76	 <p>グレー DG色</p> 	<p>[材 質] POM [仕上げ] DG色、グレー</p>	<p>DG色 ¥300</p> <p>注文コード 245908</p> <p>グレー ¥300</p> <p>注文コード 245909</p>	100ヶ
HD-35	 	<p>[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本</p>	<p>GB色 ¥1,200</p> <p>注文コード 079133</p> <p>アイボリー ¥1,200</p> <p>注文コード 079134</p>	18ヶ
AFD-600	 	<p>●専用スパナ</p> <p>AFD-2800-K・AFD-2800の上下調整をするための工具です。</p> <p>[材 質] 鋼 [仕上げ] クロメート</p>	<p>¥320</p> <p>注文コード 080490</p>	50ヶ

■**レール仕様表** ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は424・426ページをご参照ください。

<p>AFD-1500</p> 	<p>品番・製品寸法図</p> 
<p>AFD-110</p> 	<p>品番・製品寸法図</p> 
<p>HD-07</p> 	<p>品番・製品寸法図</p> 
<p>AFD-1300</p> 	<p>品番・製品寸法図</p> 
<p>AFD-120</p> 	<p>品番・製品寸法図</p> 

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

- 開き戸 金具 1
- 引戸 金具 2
- 上吊式 引戸金具 3
- AFD
- HR
- SD
- 連動引戸
- オプション
- 引戸錠 4
- 移動 間仕切り 金具 5
- 室内用 アルミ建具 6
- 折戸 金具 7
- 取手・ 引手 8
- スライド 丁番 9
- スライド アルミ ワイヤール ヴァニヤ バスケット 10
- 収納・ 吊金具 11
- その他の 家具金物 12
- 物干金具・ 諸金具 13
- 設計 施工 ガイド
- 会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量: AFD-2800-K 30kg以下 / AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ: 29mm以上 ◇折戸1組の戸幅: 600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

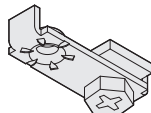
- AFD SYSTEM軸吊りハンガータイプは、吊元側の戸にはピボット金具、開き側の戸には上吊式吊り車を取付けます。
本ページ紹介はバリアフリー対応の「下部レールなし」タイプです。

■金具の使用場所

HD-11

●上部ピボット受け金具

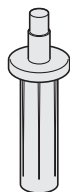
レールに差込み、スパナで締め付けて取付けます。戸の左右調整ができます。



HD-14

●上部ピボット

HD-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。軸は内蔵のスプリングにより上下し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。

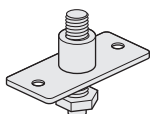
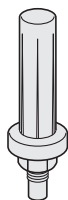


HD-13

●下部ピボット

HD-16

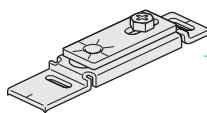
●下部ピボット



HD-15NL

●下部ピボット受け金具

床に取付けます。戸の左右調整ができます。



AFD-1500 または AFD-1300

●上部レール

●掘込用上部レール



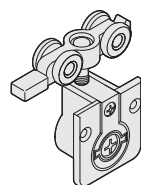
AFD-2800-K

●上部吊り車(金属ベアリング入)

AFD-2800

●上部吊り車

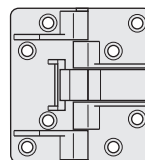
戸を吊ったままの状態、専用スパナ(AFD-600)により戸の上下調整ができます。



HD-35

●収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。キャッチが効いているため開閉時に戸がふらつきません。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えがあります。416~417ページをご覧ください。

■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	上部吊り車	上部 ピボット受け	上部ピボット	下部ピボット	下部 ピボット受け	丁番	価格(税抜)
	AFD-1500	AFD-2800-K	HD-11	HD-14	HD-13	HD-15NL	HD-35	
折戸の形式								レールは アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
1組	910mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥11,280
2組	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥19,260

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

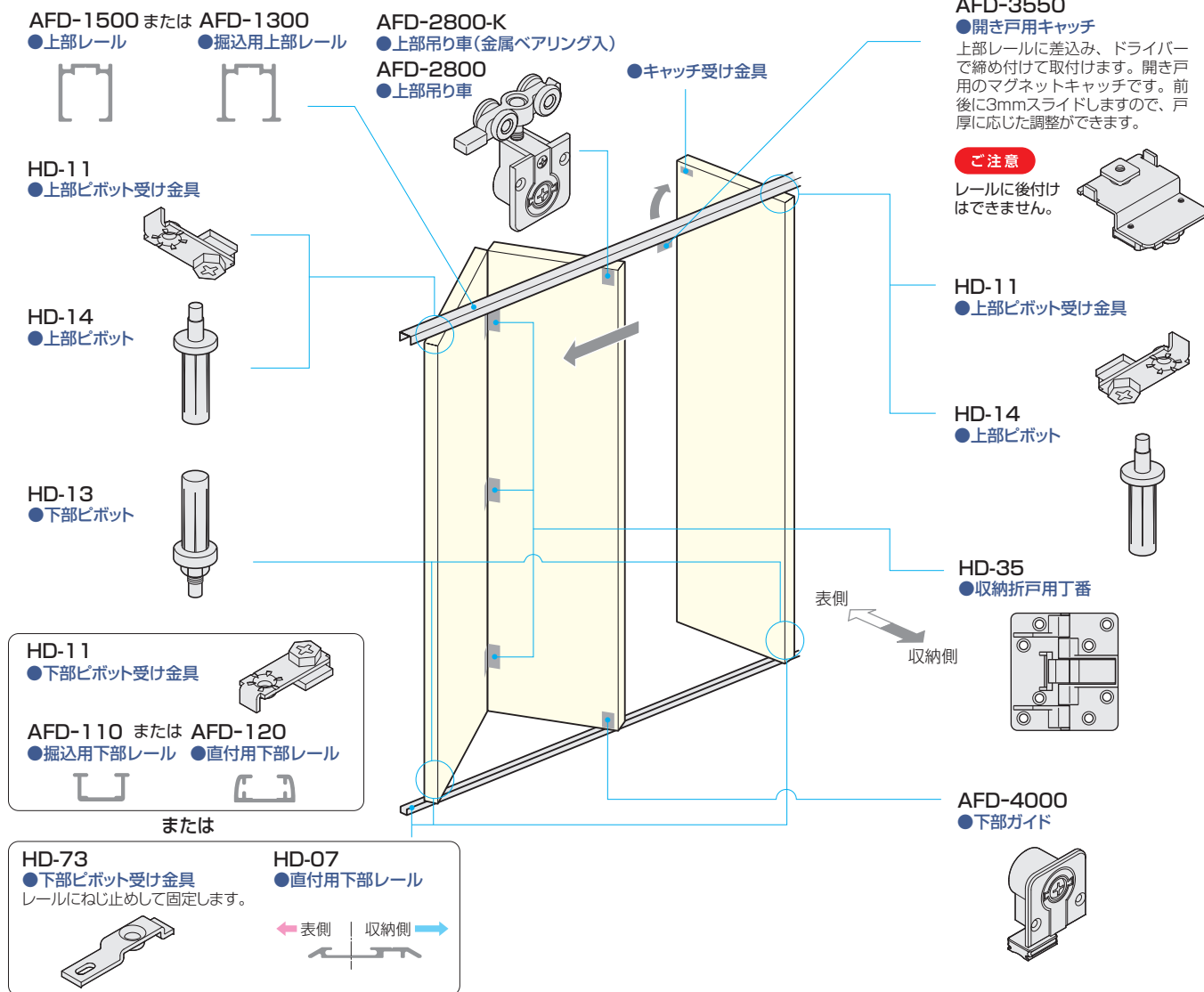
AFD SYSTEM 軸吊ハンガー式 折戸+開き戸 収納／吊元固定

使用条件




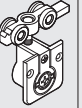









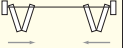



◇折戸1組の総質量: AFD-2800-K 30kg以下 / AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ: 29mm以上 ◇折戸1組の戸幅: 600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限り、3枚以上の連結はできません。

- AFD SYSTEM軸吊りハンガータイプは、吊元側の戸にはピボット金具、開き側の戸には上吊式吊り車を取付けます。
- 折戸+開き戸タイプは、折戸1組では開口部の幅寸法に足りず、2組では大き過ぎてしまう1,200mm程度の開口部にご利用になると便利です。

金具の使用場所



使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール		上部吊り車	下部ガイド	上部 ピボット	下部 ピボット	ピボット 受け金具		丁番	キャッチ	価格(税抜)
	AFD-1500	AFD-110	HD-07	AFD-2800-K	AFD-4000	HD-14	HD-13	HD-11	HD-73	HD-35	AFD-3550	レールは アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
折戸の形式												
1組Aタイプ 	900mm※	900mm※	—	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	—	3ヶ	—	¥16,240
1組Bタイプ 	910mm※	—	910mm※	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	—	¥15,810
2組Aタイプ 	1,800mm※	1,800mm	—	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	—	6ヶ	—	¥25,280
2組Bタイプ 	1,820mm	—	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	—	¥24,620
1組折戸+開き戸 Aタイプ 	1,200~ 1,350mm※	1,200~ 1,350mm※	—	1ヶ	1ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	—	3ヶ	1ヶ	¥19,230
1組折戸+開き戸 Bタイプ 	1,200~ 1,350mm※	—	1,200~ 1,350mm※	1ヶ	1ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ	1ヶ	¥18,800

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
AFD-2800-K		[ベアリング] 金属ベアリング [材 質] 本体: PA66、亜鉛合金、銅 カップ: PA6 車輪: POM、銅 [仕上げ] 黒 [添付品] +丸皿木ねじ 3.1×20 2本	¥2,900	10ヶ
AFD-2800		[材 質] 本体: PA66、亜鉛合金、銅 カップ: PA6 車輪: POM [仕上げ] 黒 [添付品] +丸皿木ねじ 3.1×20 2本	¥2,400	10ヶ
AFD-4000		[材 質] 本体: 亜鉛合金、銅 カップ: PA6 スライダー: POM [仕上げ] 黒 [添付品] +丸皿木ねじ 3.1×20 2本	¥1,400	14ヶ
HD-11		[材 質] 鋼 [仕上げ] クロメート	¥230	100ヶ
HD-13		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥350	50ヶ

注文コード 245910

注文コード 245911

注文コード 245912

注文コード 079111

注文コード 079113

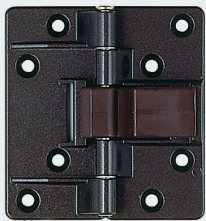
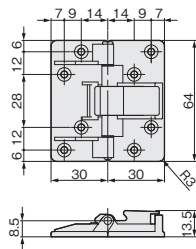

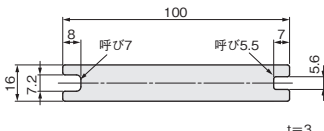
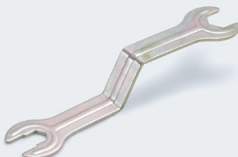
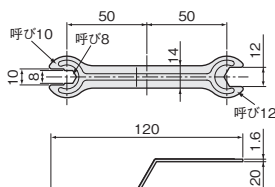

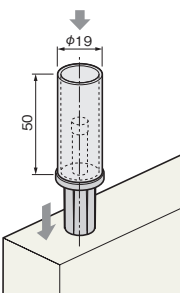
■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-14		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥330	50ヶ
HD-15NL		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] +ナベタッピンねじ3.5×20 2本	¥570	50ヶ
HD-73		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] ドリルタッピンねじ 3.5×19 1本	¥230	100ヶ
AFD-3550		[材 質] 銅、ABS [仕上げ] GB色塗装(樹脂部は茶) アイボリー塗装(樹脂部は白) [添付品] +皿木ねじ 2.4×13 1本	GB色 ¥1,850 アイボリー ¥1,850	20ヶ

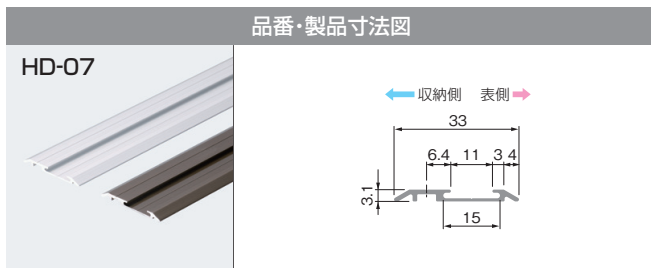
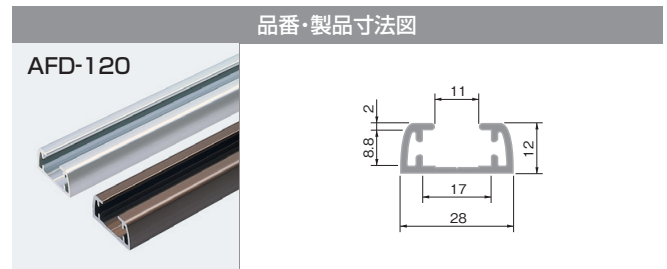
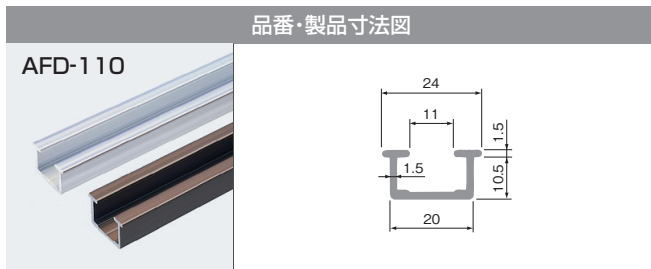
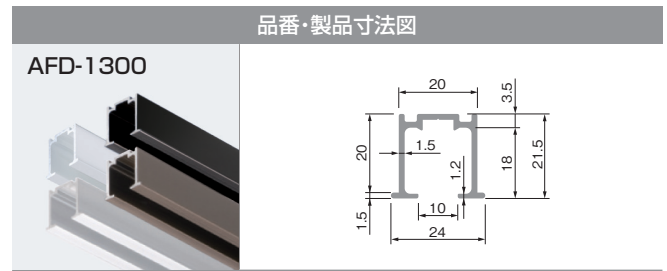
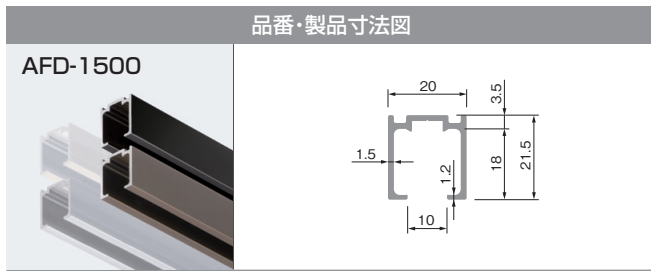
※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ
金具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-35 		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上り] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ
AFD-600 		●専用スパナ AFD-2800-K・AFD-2800の上下調整をするための工具です。 [材 質] 鋼 [仕上り] クロメート	¥320 注文コード 080490	50ヶ
スパナ-950 (FF-950) 		●専用スパナ HD-11、HD-13、HD-15NL、HD-16に対応。 上下または左右調整をするための工具です。 [材 質] 鋼 [仕上り] クロメート	¥180 注文コード 080612	100ヶ
HD-63 (ランナー・ピボット打込みパイプ) 		●専用工具 HD-13、HD-13E、HD-14 HD-21、HD-21E、HD-71に対応。 ピボットを傷つけずに戸に打ち込むための工具です。 [材 質] 鋼 [仕上り] クロメート	¥270 注文コード 079163	30ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は424・426ページをご参照ください。



※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計・施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:26mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

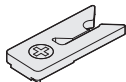
- HR SYSTEMは戸の吊込みを、工具を使用することなくワンタッチで行えます。収納折戸用は、金具(戸に付ける上部吊り車、下部ガイドおよび丁番)が戸の裏面側に付くため、木口面にR面やC面加工をすることができます。
- 直付用下部レールHD-07は、下枠への掘込加工が不要です。

■金具の使用場所

HR-300

- 吊元仮固定用キャッチ(上下共通)

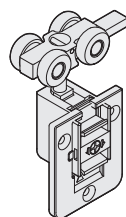
レールに後付けできます。



HR-200

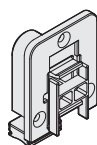
- 上部吊り車

戸を吊ったままの状態、ドライバで戸の上下調整ができます。



HR-401

- 下部ガイド



HR-300

- 吊元仮固定用キャッチ(上下共通)

レールに後付けできます。

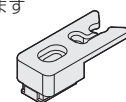


または

HD-74

- 下部吊元仮固定用キャッチ

HD-07に後付けできます。
※HR-110を使用する場合に比べて、戸と下部レールのすきまが広くなります(798ページ参照)。



HR-150

- 上部レール



HR-130

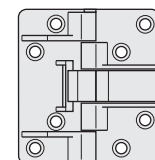
- 掘込用上部レール



HD-35

- 収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がふらつきません。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。

HR-110

- 掘込用下部レール



または

HD-07

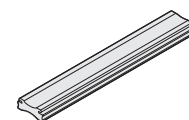
- 直付用下部レール



HD-76

- 走行安定用スペーサー

戸の開閉方法がフリーオープンタイプの場合で、戸の開き角度50°で仮ストップする機構を持たない丁番(HD-35など)を使用する場合に必要になります。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	走行安定用スペーサー	丁番	価格(税抜)
	HR-150	HR-110	HD-07	HR-200	HR-401	HR-300	HD-74	HD-76	HD-35	
折戸の形式										レールはアンバーを、丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	900mm*	—	2ヶ	2ヶ	2ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥21,280
	900mm*	—	900mm*	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥21,620
2組	1,800mm	1,800mm	—	4ヶ	4ヶ	4ヶ	—	2ヶ	6ヶ	¥34,060
	1,800mm	—	1,820mm	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥34,440

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-200		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体: PA66、PBT、銅 カップ: PA6 車輪: POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 3本	¥3,000	10ヶ
HR-401		[材 質] 本体: PBT、銅 カップ: PA6 スライダー: POM [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 3本	¥1,100	10ヶ
HR-300		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340	100ヶ
HR-360		●吊元完全固定用ストッパー 吊元を完全に固定したいとき、上部吊り車・下部ガイドの軸をHR-300と双方から挟み込んで固定します。レールに後付けできます。※HD-74とはご使用になれません。	DG色 ¥340	100ヶ
HD-74		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー [添付品] +セルフドリリングねじ 3.5×25 1本	DG色 ¥380	100ヶ
HD-76		[材 質] POM [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥300	100ヶ

※「折戸オプション金具」では、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ
金具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
レール
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

- 開き戸金具
- 1
- 引戸金具
- 2
- 上吊式引戸金具
- 3
- AFD
- HR
- SD
- 連動引戸
- オプション
- 引戸錠
- 4
- 移動間仕切金具
- 5
- 室内用アルミ建具
- 6
- 折戸金具
- 7
- 取手・引手
- 8
- スライド丁番
- 9
- スライドワイヤーバスケット
- 10
- 収納・吊金具
- 11
- その他の家具金物
- 12
- 物干金具・諸金具
- 13
- 設計施工ガイド
- 会社案内

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-35		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425～426ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150 	HR-130
HR-110 	HD-07

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

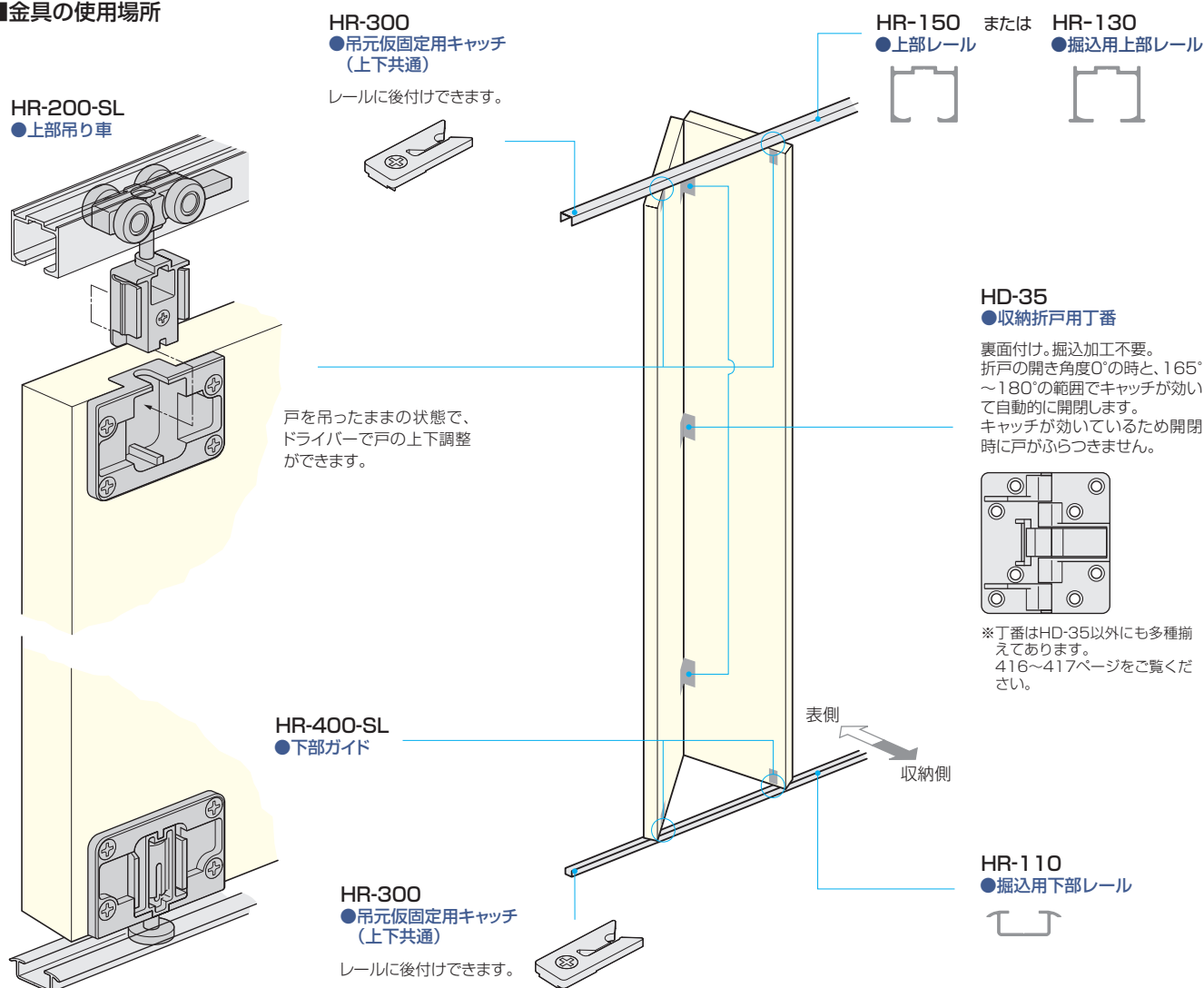
HR SYSTEM 薄扉用 HR-200-SL 収納／上吊式／フリーオープンまたは吊元仮固定タイプ

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm~26mm ◇折戸1組の戸幅:800~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りません。3枚以上の連結はできません。

- HR SYSTEM・収納折戸よりも、薄い上吊り折戸の設計が可能です。
戸の吊り込みが、工具を使用することなく、ワンタッチで行えます。

■金具の使用場所



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	吊元仮固定用キャッチ	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	HR-150	HR-110	HR-200-SL	HR-400-SL	HR-300	HD-35	レールはアンバーを 丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm※	900mm※	2ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ	¥21,080
2組	1,800mm	1,800mm	4ヶ	4ヶ	4ヶ	6ヶ	¥33,660
3組	2,700mm	2,700mm	6ヶ	6ヶ	4ヶ	9ヶ	¥49,810
4組	3,600mm	3,600mm	8ヶ	8ヶ	4ヶ	12ヶ	¥65,960

※レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

■金具仕様表

品番	製品寸法図	材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-200-SL		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体: PA66、PBT、銅 カップ: PBT 車輪: POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×16 4本	¥3,100 注文コード 071855	20ヶ
HR-400-SL		[材 質] 本体: PBT、銅 カップ: PBT コロ: PA6 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×16 4本	¥1,050 注文コード 071849	20ヶ
HR-300		[材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340 注文コード 078954 グレー ¥340 注文コード 245905	100ヶ
HR-360		●吊元完全固定用ストッパー(上下共通) 吊元を完全に固定したいとき、上部吊り車および下部ガイドの軸をHR-300と双方から挟み込んで固定します。 レールを取付けた後に装着できます。 [材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340 注文コード 654921 グレー ¥340 注文コード 245906	100ヶ
HD-35		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150 	HR-130
品番・製品寸法図	
HR-110 	

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具
1
引戸金具
2
上吊式引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動間仕切金具
5
室内用アルミ建具
6
折戸金具
7
取手・引手
8
スライド丁番
9
スライドワイヤーバスケット
10
収納・吊金具
11
その他の家具金物
12
物干金具・諸金具
13
設計・施工ガイド
会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上の連結はできません。

- HR SYSTEMは戸の吊込みを、工具を使用することなくワンタッチで行えます。間仕切折戸用は、金具(戸に付ける上部吊り車、下部ガイドおよび丁番)が戸の木口面に付くため、戸を閉めた状態においてどちら側からも金具が見えません。
- 直付用下部レールHD-07は、下枠への掘込加工が不要です。

■金具の使用場所

HR-300

- 吊元仮固定用キャッチ(上下共通)

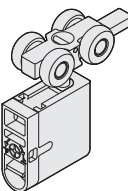
レールに後付けできます。



HR-220

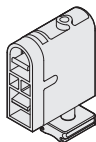
- 上部吊り車

戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下調整ができます。



HR-421

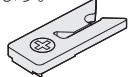
- 下部ガイド



HR-300

- 吊元仮固定用キャッチ(上下共通)

レールに後付けできます。

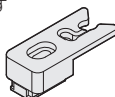


または

HD-74

- 下部吊元仮固定用キャッチ

HD-07に後付けできます。
※HR-110を使用する場合に比べて、戸と下部レールのすきまが広くなります(802ページ参照)。



HR-150

- 上部レール



HR-130

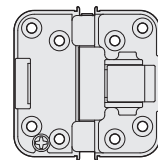
- 掘込用上部レール



HD-37

- 間仕切折戸用丁番

木口面掘込み。
折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。
キャッチが効いているため閉時に戸がふらつきません。
さらに表からでもドライバー1つで、閉時の戸の蛇行修正が可能な丁番です。



※丁番はHD-37以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。

HR-110

- 掘込用下部レール



または

HD-07

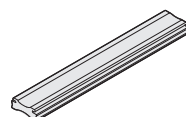
- 直付用下部レール



HD-76

- 走行安定用スペーサー

戸の開閉方法がフリーオープンタイプの場合で、戸の開き角度50°で仮ストップする機構を持たない丁番(HD-37など)を使用する場合に必要になります。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	走行安定用スペーサー	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	HR-150	HR-110	HD-07	HR-220	HR-421	HR-300	HD-74	HD-76	HD-37	レールはアンバーを 丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	900mm*	—	2ヶ	2ヶ	2ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥22,880
	900mm*	—	900mm*	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥23,220
2組	1,800mm	1,800mm	—	4ヶ	4ヶ	4ヶ	—	2ヶ	6ヶ	¥37,260
	1,800mm	—	1,820mm	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥37,640

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具


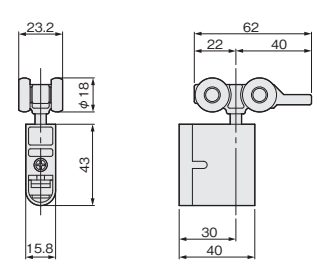

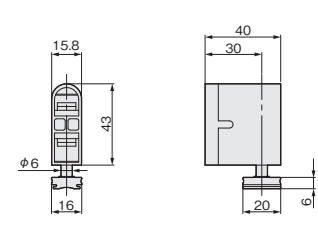

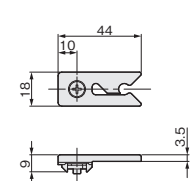
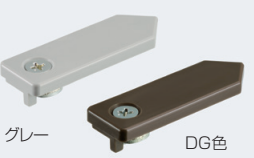
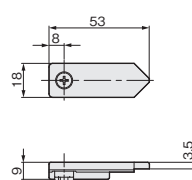

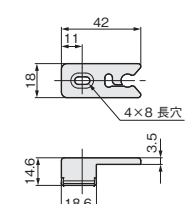
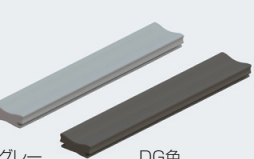
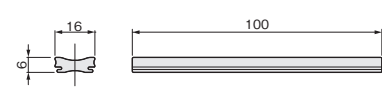
13

設計
施工
ガイド

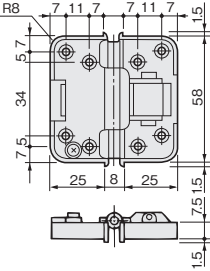
会社案内

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ建具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

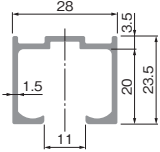
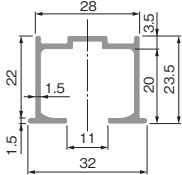
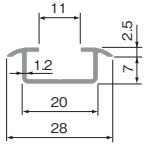
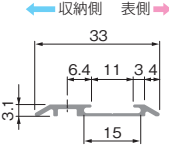
■金具仕様表 ※上部吊り車・下部ガイドの木口加工用 ルータービット16mm を423ページに掲載しています。

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-220	 ホワイト DG色	 [ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体: PA66、PBT、銅 カップ: 亜鉛合金 車輪: POM、銅 [仕上げ] DG色、ホワイト [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×30 3本	DG色 ¥3,100 注文コード 078950 ホワイト ¥3,200 注文コード 080648	10ヶ
HR-421	 ホワイト DG色	 [材 質] 本体: PBT、銅 カップ: 亜鉛合金 スライダー: POM [仕上げ] DG色、ホワイト [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×30 3本	DG色 ¥1,200 注文コード 245913 ホワイト ¥1,300 注文コード 245914	20ヶ
HR-300	 グレー DG色	 [材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥340 注文コード 078954 グレー ¥340 注文コード 245905	100ヶ
HR-360	 グレー DG色	 ●吊元完全固定用ストッパー 吊元を完全に固定したいとき、上部吊り車・下部ガイドの軸をHR-300と双方から挟み込んで固定します。 レールに後付けできます。 ※HD-74とはご使用になれません。	DG色 ¥340 注文コード 654921 グレー ¥340 注文コード 245906	100ヶ
HD-74	 グレー DG色	 [材 質] POM、銅 [仕上げ] DG色、グレー [添付品] +セルフドリリングねじ 3.5×25 1本	DG色 ¥380 注文コード 000113 グレー ¥380 注文コード 245907	100ヶ
HD-76	 グレー DG色	 [材 質] POM [仕上げ] DG色、グレー	DG色 ¥300 注文コード 245908 グレー ¥300 注文コード 245909	100ヶ

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-37		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上り] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,600 注文コード 079370 アイボリー ¥1,600 注文コード 079371	24ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425～426ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150 	HR-130 
HR-110 	HD-07 

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計・施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:26mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

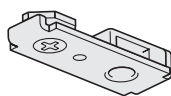
- HR SYSTEM軸吊りハンガータイプは、吊元側の戸にはピボット金具、開き側の戸には上吊式吊り車を取付けます。
本ページ紹介はバリアフリー対応の「下部レールなし」タイプです。

■金具の使用場所

HR-11

●上部ピボット受け金具

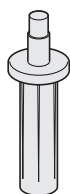
レールに差込み、ドライバーで締め付けて取付けます。レール取付け後に挿入、固定できます。



HD-14

●上部ピボット

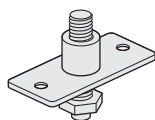
HR-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。軸は内蔵のスプリングにより上下し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-16

●下部ピボット

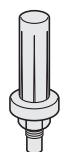
HD-15NLの受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。六角部分を回して戸の上下調整ができます。



または

HD-13

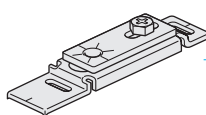
●下部ピボット



HD-15NL

●下部ピボット受け金具

床に取付けます。戸の左右調整ができます。



HR-150

●上部レール



または

HR-130

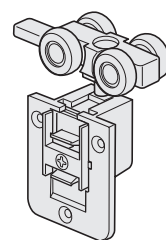
●掘込用上部レール



HR-200

●上部吊り車

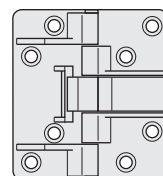
戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下調整ができます。



HD-35

●収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。キャッチが効いているため開閉時に戸がふたつきません。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。

■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	上部吊り車	上部 ピボット受け	上部ピボット	下部ピボット	下部 ピボット受け	丁番	価格(税抜)
	HR-150	HR-200	HR-11	HD-14	HD-16	HD-15NL	HD-35	
折戸の形式								レールはアンバーを 丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥13,610
2組	1,800mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥22,120

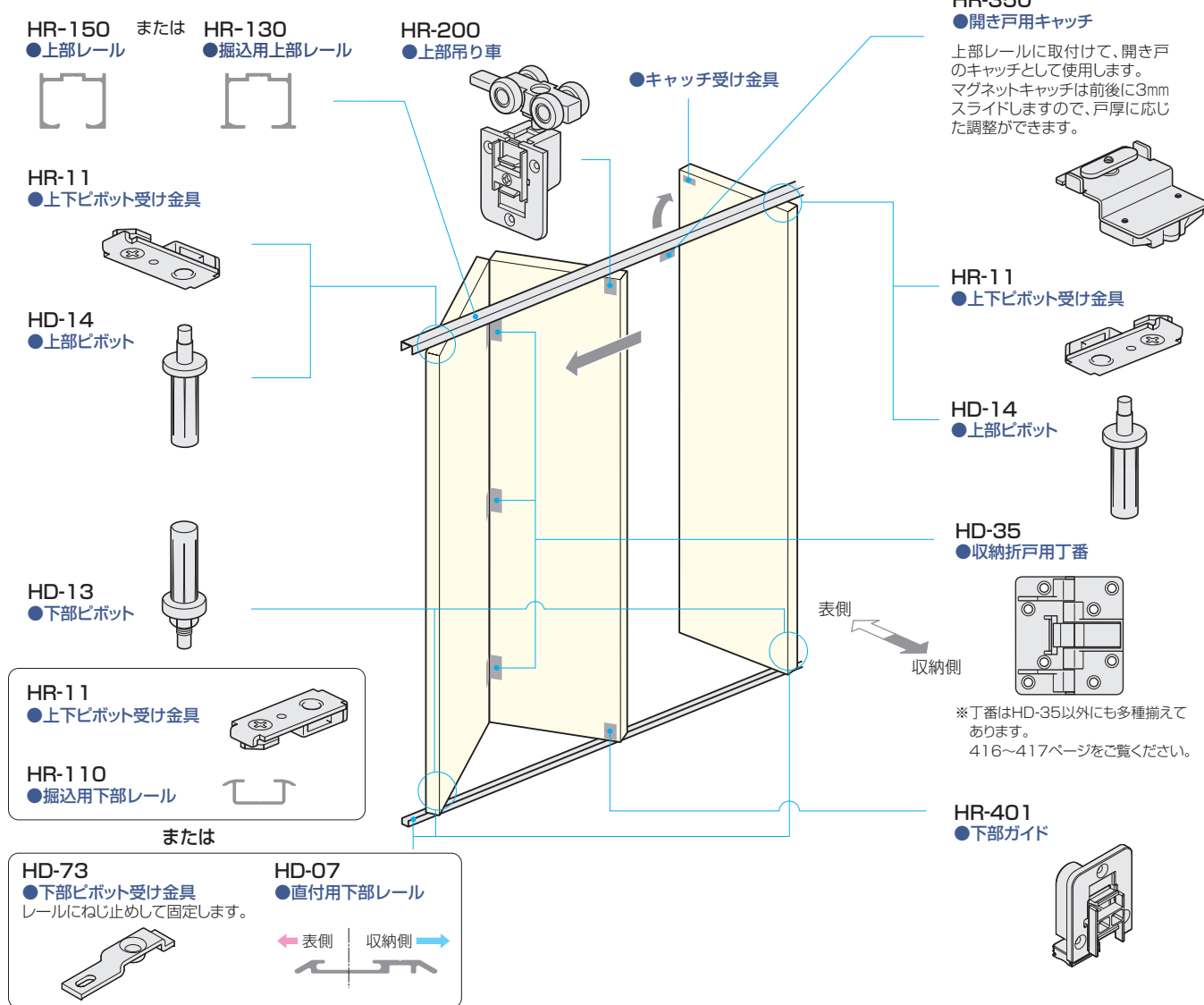
*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:29mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上の連結はできません。

- HR SYSTEM軸吊りハンガータイプは、吊元側の戸にはピボット金具、開き側の戸には上吊式吊り車を取付けます。
- 折戸+開き戸タイプは、折戸1組では開口部の幅寸法に足りず、2組では大き過ぎてしまう1,200mm程度の開口部にご利用になると便利です。

■金具の使用場所



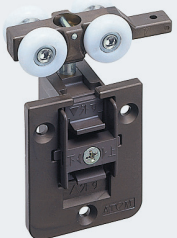
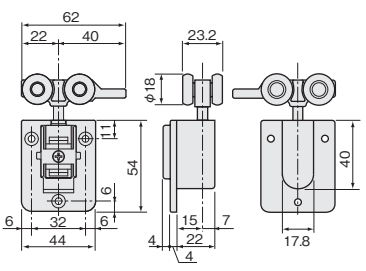

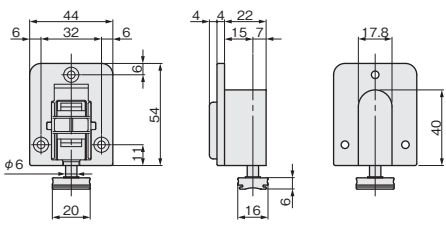

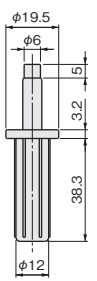

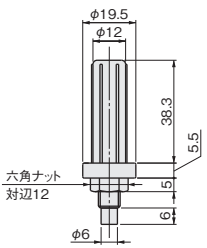
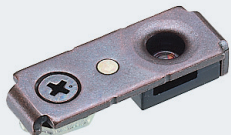
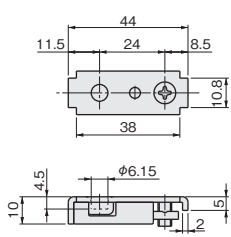
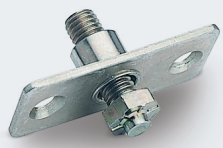
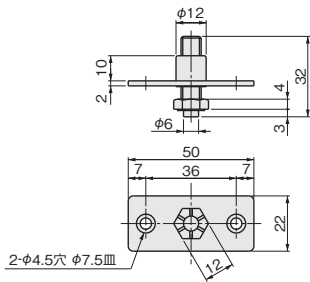
■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	上部ピボット	下部ピボット	ピボット受け金具	丁番	キャッチ	価格(税抜)
折戸の形式	HR-150	HR-110	HR-200	HR-401	HD-14	HD-13	HR-11	HD-35	HR-350	レールはアンバーを 丁番はGB色を使用の場合
1組折戸	900mm*	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ	—	¥20,040
2組折戸	1,800mm	1,800mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	6ヶ	—	¥31,580
1組折戸+開き戸	1,200~1,350mm*	1,200~1,350mm*	1ヶ	1ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	3ヶ	1ヶ	¥23,880


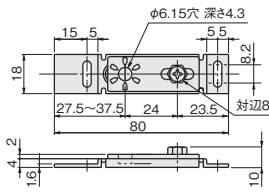

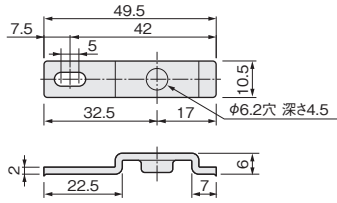

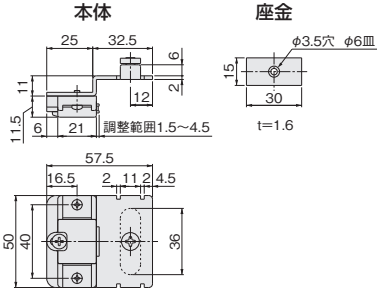
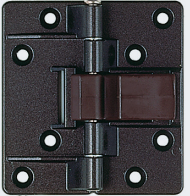
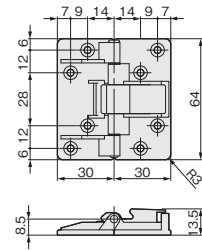
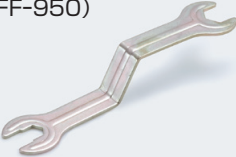
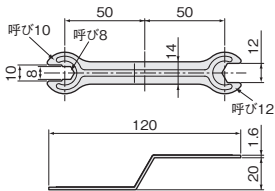
*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

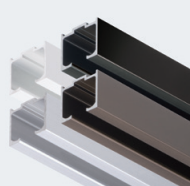
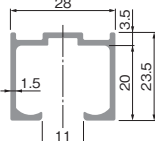
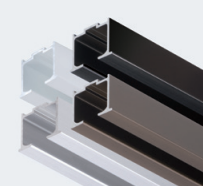
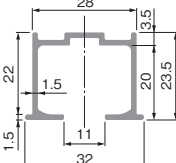
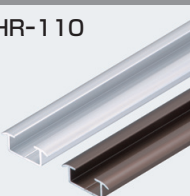
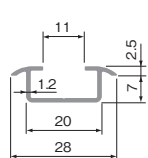

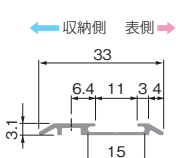
■金具仕様表

品番	製品寸法図	材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-200 		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体：PA66、PBT、銅 カップ：PA6 車輪：POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 3本	¥3,000	10ヶ
HR-401 		[材 質] 本体：PBT、銅 カップ：PA6 スライダー：POM [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 3本	¥1,100	10ヶ
HD-14 		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥330	50ヶ
HD-13 		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥350	50ヶ
HR-11 		[材 質] 銅 [仕上げ] GB色メッキ	¥630	100ヶ
HD-16 		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 2本	¥380	50ヶ

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-15NL	 	[材質] 鋼 [仕上げ] クロメート [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×20 2本	¥570 注文コード 080115	50ヶ
HD-73	 	[材質] 鋼 [仕上げ] クロメート [添付品] ドリルタッピングねじ 3.5×19 1本	¥230 注文コード 000112	100ヶ
HR-350	 	[材質] 鋼、ABS [仕上げ] GB色塗装、茶 [添付品] +皿木ねじ 2.4×13 1本	¥1,900 注文コード 652432	20ヶ
HD-35	 	[材質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ
スパナ-950 (FF-950)	 	●専用スパナ HD-13、HD-15NL、HD-16の上下左右調整をするための工具です。 [材質] 鋼 [仕上げ] クロメート	¥180 注文コード 080612	100ヶ

■**レール仕様表** ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425～426ページをご参照ください。

<div data-bbox="118 1541 341 1814"> <p>品番・製品寸法図</p> <p>HR-150</p>  </div> <div data-bbox="341 1541 767 1814">  </div>	<div data-bbox="767 1541 1037 1814"> <p>品番・製品寸法図</p> <p>HR-130</p>  </div> <div data-bbox="1037 1541 1442 1814">  </div>
<div data-bbox="118 1814 341 2087"> <p>品番・製品寸法図</p> <p>HR-110</p>  </div> <div data-bbox="341 1814 767 2087">  </div>	<div data-bbox="767 1814 1037 2087"> <p>品番・製品寸法図</p> <p>HD-07</p>  </div> <div data-bbox="1037 1814 1442 2087">  <p>← 収納側 表側 →</p> </div>

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm~26mm ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

- 下部レールなしの「薄扉用」折戸金具システムです。
- 軸吊りハンガー式で薄い折戸の設計が可能です。

■金具の使用場所

HR-250-SL

●上部吊元固定ブロック

HR-150

●上部レール

または

HR-130

●掘込用上部レール

HR-200-SL

●開き側吊り車

戸を吊ったままの状態、
ドライバーで戸の上下調
整ができます。

HD-35

●収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。
折戸の開き角度 0°の時と、165°
~180°の範囲でキャッチが効い
て自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉
時に戸がふたつきません。

HR-450-SL

●下部吊元固定金具


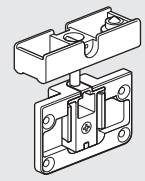
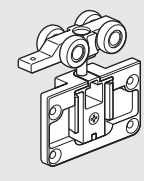
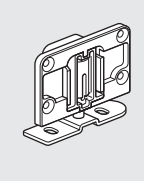
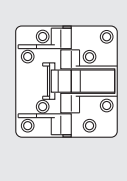
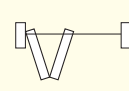
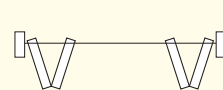
戸を吊ったままの状態
+ドライバーにより戸の
上下調整をすることがで
きます。

表側

収納側


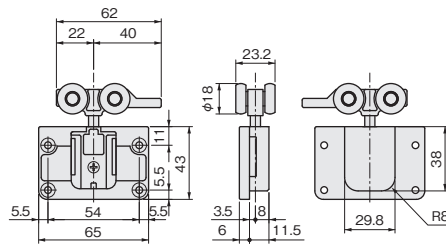

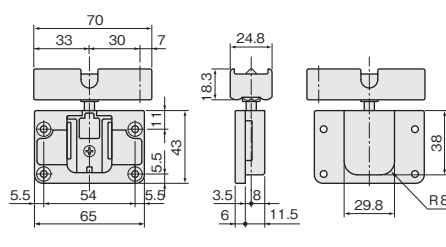

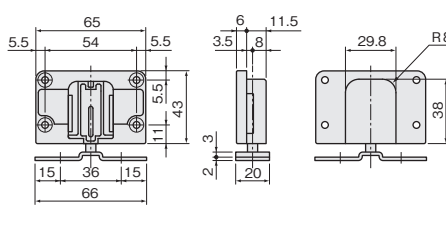
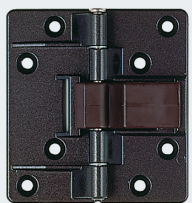
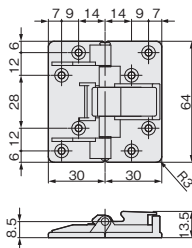
※丁番はHD-35以外にも多種揃えて
あります。
416~417ページをご覧ください。

■使用金具例

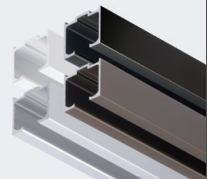
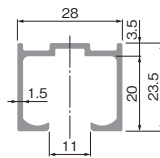
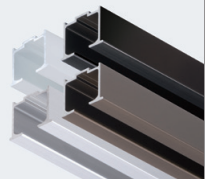
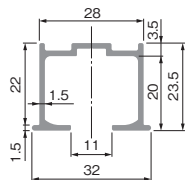
使用金具の種類	上部レール	上部吊元 固定ブロック	上部開き側 吊り車	下部吊元 固定金具	丁番	価格(税抜)
	HR-150	HR-250-SL	HR-200-SL	HR-450-SL	HD-35	
折戸の形式						レールは アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
1組 	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥15,100
2組 	1,800mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥25,100

*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-200-SL 		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体：PA66、PBT、銅 カップ：PBT 車輪：POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×16 4本	¥3,100 注文コード 071855	20ヶ
HR-250-SL 		[材 質] 本体：PBT、銅 カップ：PBT ブロック：PA66 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×16 4本	¥1,750 注文コード 071848	20ヶ
HR-450-SL 		[材 質] 本体：PBT、銅 カップ：PBT プレート：銅 [仕上げ] DG色、GB色メッキ [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×10 2本 +皿タッピンねじ 3.5×16 4本	¥1,550 注文コード 071847	20ヶ
HD-35 		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150  	HR-130  

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ
金具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
レール
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

HR SYSTEM 引込み折戸 HR-200 間仕切／軸吊ハンガー式／吊元固定

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上
◇折戸1組の戸幅:900~1,200mm、吊元側折戸の戸幅:300~400mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

ご注意

下記をお読みのうえ、正しくお使いください。

●戸は、レバーハンドルを持って静かに開閉してください。勢いよく開閉すると、部品が破損する原因となります。

- 戸を開いた時の通路側のデッドスペースを開き戸に比べ1/3にできる、省スペース設計の引込み折戸金具です。
狭い廊下や戸が対向し合うスペース・トイレ・納戸などの戸に適したシステム金具です。
- 戸の開閉操作もスムーズです。

■金具の使用場所

HR-150 または HR-130

●上部レール

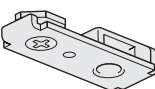
●掘込用上部レール



HR-11

●上部ピボット受け金具

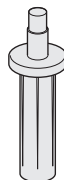
レールに差込み、ドライバーで締め付けて取付けます。レール取付け後に挿入、固定できます。戸の左右調整ができます。



HD-14

●上部ピボット

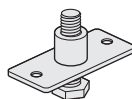
HR-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。軸は内蔵のスプリングにより上下し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-16

●下部ピボット

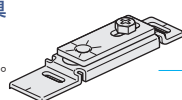
HD-15NLの受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。六角部分を回して戸の上下調整ができます。



HD-15NL

●下部ピボット受け金具

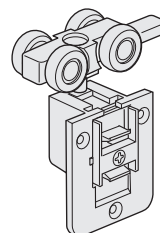
床に取付けます。戸の左右調整ができます。



HR-200

●上部吊り車

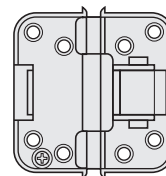
HR-200は個室側より取付けます。



HD-37

●間仕切折戸用丁番

木口面掘込み。
折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。キャッチが効いているため閉時に戸がふらつきません。さらに表からでもドライバーで、閉時の戸の蛇行修正が可能な丁番です。



※丁番はHD-37以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。


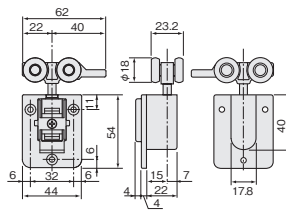

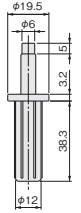

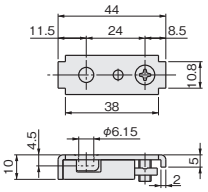

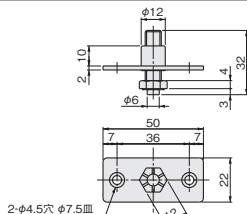

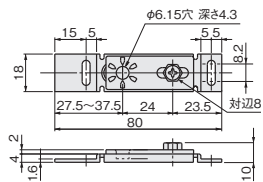

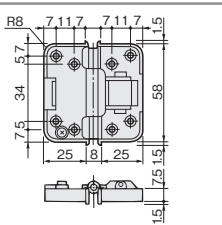

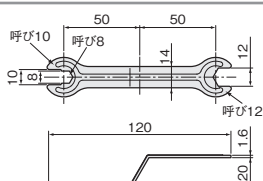
取手は開き戸と同様、レバー錠をご使用ください。

■使用金具例

使用金具の種類	上部 レール	上部 吊り車	上部 ピボット	下部 ピボット	下部 ピボット受け	上部 ピボット受け	丁番	価格(税抜)
	HR-150	HR-200	HD-14	HD-16	HD-15NL	HR-11	HD-37	
								レールはアンバー色 丁番はGB色を使用の場合
折戸の形式								
	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥14,810
	1,800mm	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥14,810

*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-200 		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体：PA66、PBT、銅 カップ：PA6 車輪：POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 3本	¥3,000 注文コード 078952	10ヶ
HD-14 		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥330 注文コード 079114	50ヶ
HR-11 		[材 質] 銅 [仕上げ] GB色メッキ	¥630 注文コード 096021	100ヶ
HD-16 		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 2本	¥380 注文コード 079116	50ヶ
HD-15NL 		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×20 2本	¥570 注文コード 080115	50ヶ
HD-37 		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,600 注文コード 079370 アイボリー ¥1,600 注文コード 079371	24ヶ
スパナ-950 (FF-950) 		●専用スパナ HD-15NL、HD-16の上下左右調整をするための工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥180 注文コード 080612	100ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150  	HR-130  

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ
金具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
レール
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

HR SYSTEM 引込み折戸 HR-240 間仕切／軸吊ハンガー式／吊元固定

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上
◇折戸1組の戸幅:900~1,200mm、吊元側折戸の戸幅:300~400mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

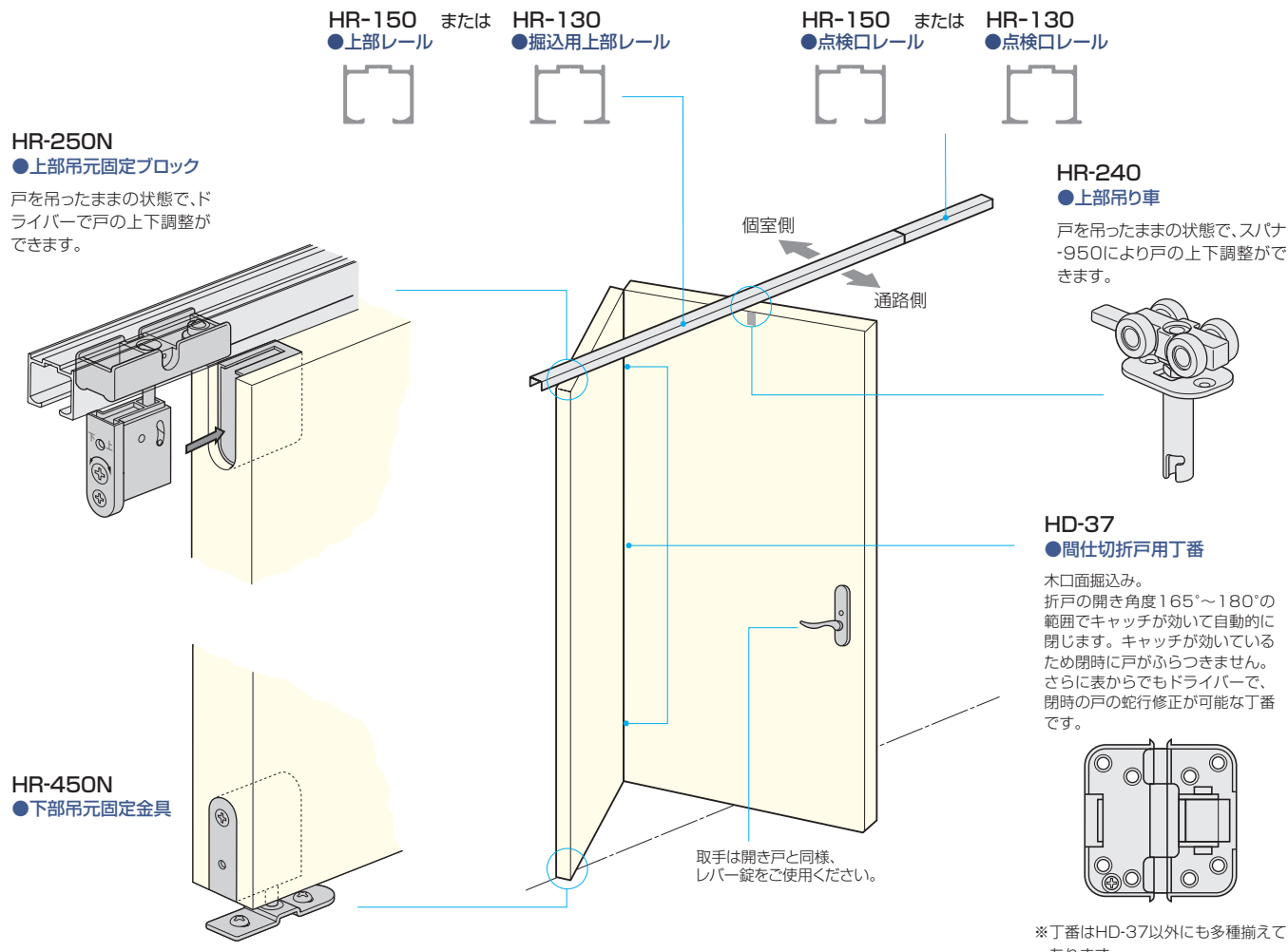
ご注意

下記をお読みのうえ、正しくお使いください。

●戸は、レバーハンドルを持って静かに開閉してください。勢いよく開閉すると、部品が破損する原因となります。

- 戸を開いた時の通路側のデッドスペースを開き戸に比べ約1/3にできる、省スペース設計の引込み折戸金具です。狭い廊下や戸が対向し合うスペース・トイレ・納戸などの戸に適したシステム金具です。戸の開閉操作もスムーズです。
- HR-240タイプは、すべての金具(戸に付ける上部吊り車、下部ガイドおよび丁番)が戸の木口面に付くタイプのため、戸を閉めた状態においてどちら側からも金具が見えません。

■金具の使用場所



※丁番はHD-37以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。

■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	点検口レール	上部吊元固定ブロック	下部吊元固定金具	上部吊り車	埋込みピン	丁番	価格(税抜)
	HR-150	HR-150	HR-250N	HR-450N	HR-240	埋込みピン 25mm	HD-37	
折戸の形式								レールはアンバーを丁番はGB色を使用の場合
	900mm*	200mm	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥21,830
	1,800mm	200mm	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥21,830

*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表 ※上部吊り車・下部ガイドの木口加工用 ルータービット16mm を423ページに掲載しています。

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HR-240		[ベアリング] 樹脂ベアリング [材 質] 本体：PA66複合材、銅 車輪：POM、銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 2本	¥2,700	15ヶ
埋込ピン 25mm		●埋込ピン HR-240に差込み、戸の脱落を防止するためのピンです。 [材 質] 銅 [仕上げ] 黒	¥280	1000ヶ
HR-250N		[材 質] 本体：PBT、銅 カップ：亜鉛合金 プレート：PA66 [仕上げ] DG色 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×30 3本	¥4,550	10ヶ
HR-450N		[材 質] 本体：PBT、銅 カップ：亜鉛合金 プレート：銅 [仕上げ] DG色 [添付品] +なべタッピンねじ 3.5×10 2本 +なべタッピンねじ 3.5×30 3本	¥3,000	20ヶ
HD-37		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,600 アイボリー ¥1,600	24ヶ
スパナ-950 (FF-950)		●専用スパナ HR-240の上下調整をするための工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥180	100ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は425ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HR-150点検口レール HR-150 	HR-130点検口レール HR-130

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

開き戸金具
1
引戸金具
2
上吊式引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動間仕切金具
5
室内用アルミ建具
6
折戸金具
7
取手・引手
8
スライド丁番
9
スライドレールワイヤーバスケット
10
収納・吊金具
11
その他の家具金物
12
物干金具・諸金具
13
設計施工ガイド
会社案内

使用条件

- ◇折戸1組の総質量:40kg以下
- ◇戸の厚さ:(収納用の場合)25mm以上、(間仕切用の場合)30mm以上
- ◇折戸1組の戸幅:600~900mm
- ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

- (折戸1組で)30kgを超すような重い折戸には、SDシステム金具をご使用ください。
- 潤滑油入りの車輪を使用のため、走行は滑らかです。
- 収納折戸と間仕切折戸のどちらにも使用できます。

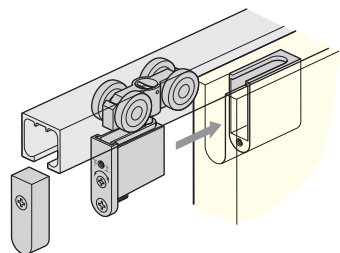
■金具の使用場所

SD-1100
●上部レール

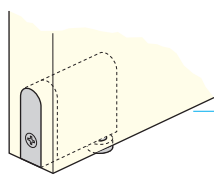


SD-7000
●上部吊り車

戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下調整ができます。



SD-4200
●下部ガイド



AFD-110
●掘込用下部レール

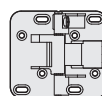


SD-3000
●キャッチ



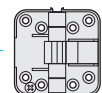
レール内に挿入します。吊元固定タイプにする場合は、吊元にしたい側の吊り車を、両サイドから挟んで固定します。

HD-50
●収納折戸用丁番
(50°仮ストップ機構付き)



裏面付け。
フリーオープンタイプ折戸専用の丁番です。折戸を折った状態で左右にスムーズに移動できるように、戸の開き角度50°で仮ストップします。
※吊元固定タイプにする場合はHD-35またはHD-38をご使用ください。

HD-47
●間仕切折戸用丁番
(50°仮ストップ機構付き)



木口面掘込み。
フリーオープンタイプ折戸に適した丁番です。折戸を折った状態で左右にスムーズに移動できるように、戸の開き角度50°で仮ストップします。
※吊元固定タイプにする場合はHD-37をご使用ください。

AFD-320
●下部ストッパー



使用方法はSD-3000キャッチと同様です。

※丁番はHD-50、HD-47以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。

■使用金具例(収納／フリーオープンタイプの場合)

使用金具の種類	上部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	キャッチ	下部ストッパー	丁番	価格(税抜)
	SD-1100	AFD-110	SD-7000	SD-4200	SD-3000	AFD-320	HD-50	レールはアンバーを金具は茶系を使用の場合
折戸の形式								
1組	900mm*	900mm*	2ヶ	2ヶ	2ヶ 吊元固定タイプも2ヶになります。	2ヶ 吊元固定タイプも2ヶになります。	3ヶ	¥38,590
2組	1,800mm*	1,800mm	4ヶ	4ヶ	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	6ヶ	¥58,140
3組	2,700mm*	2,700mm	6ヶ	6ヶ	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	9ヶ	¥86,640
4組	3,600mm*	3,600mm	8ヶ	8ヶ	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	2ヶ 吊元固定タイプは4ヶになります。	12ヶ	¥115,140

※レール(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

■金具仕様表 ※上部吊り車・下部ガイドの木口加工用 ルータービット18mm を423ページに掲載しています。

品 番	製品寸法図	材質・仕上	価格(税抜)	入数
SD-7000		[材 質] 本体: PA66、鋼 カップ: 亜鉛合金 車輪: POM、鋼 カバー: ABS [仕上げ] ダークブラウン、ホワイト [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×30 3本	ダーク ブラウン ¥5,600 注文コード 072286	10ヶ
SD-3000		[材 質] POM、鋼 [仕上げ] ダークブラウン	SD-7000に添付 されています。 [SD-3000のみを 単品でご注文の場 合は下記のコード でご注文ください] ¥420 注文コード 552139	-
SD-4200		[材 質] 本体: PA66、鋼 カップ: 亜鉛合金 コロ: PA6 カバー: ABS [仕上げ] 本体: ダークブラウン カバー: ダークブラウン ホワイト(カバーのみの販売) [結合ねじ] +皿小ねじ 4×20 1本 [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×30 3本	ダークブラウン (本体+カバー) ¥1,700 注文コード 080109 ホワイト (カバーのみ) ¥280 注文コード 135592	20ヶ 50ヶ
AFD-320		[材 質] PA6、鋼 [仕上げ] 茶、グレー	茶 ¥570 注文コード 080690 グレー ¥570 注文コード 220970	100ヶ
HD-50		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,650 注文コード 080695 アイボリー ¥1,650 注文コード 080696	18ヶ
HD-47		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥2,050 注文コード 080491 アイボリー ¥2,050 注文コード 080492	18ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は424～425ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
SD-1100 	AFD-110

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。
※HD-16を下部ピボットに使用の場合は、戸の厚さ=22mm以上となります。

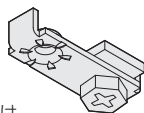
●「軸吊式」は、ピボット金具により折戸を支持・開閉するタイプです。

■金具の使用場所

HD-11

●ピボット受け金具
(上下共通)

レールに差込み、スパナで締め付けて取付けます。
戸の左右調整ができます。



HD-001 または
●掘込用レール
(上下共通)

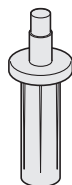
HD-002
●直付用レール
(上下共通)



HD-14

●上部ピボット

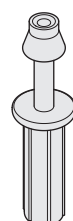
HD-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-21E

●案内ランナー
(上下共通)

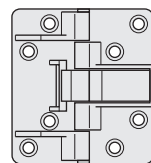
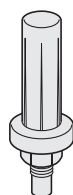
レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。戸に掘込んで取付けます。当社従来品に比べ、走行性が良くなり、走行音が静かになりました。



HD-13

●下部ピボット

HD-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。六角部分を回して戸の上下調整ができます。戸と床とのすきまを少なく設計したい場合には、HD-16(816ページ)をご使用ください。HD-13より5mm少なく設計できます。

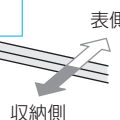


HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。キャッチが効いているため開閉時に戸がふたつきません。

※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。
416~417ページをご覧ください。



■使用金具例

使用金具の種類 折戸の形式	レール		ピボット 受け金具	下部 ピボット	上部 ピボット	案内 ランナー	丁番	価格(税抜)
	HD-001	HD-002	HD-11	HD-13 ※	HD-14	HD-21E	HD-35	レールを アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
1組A1タイプ	910mm* 2本	—	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ	¥9,640
1組B1タイプ	—	910mm* 2本	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ	¥10,740
1組C1タイプ	910mm*	910mm*	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ	¥14,440
2組A1タイプ	1,820mm 2本	—	4ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	6ヶ	¥19,280
2組B1タイプ	—	1,820mm 2本	4ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	6ヶ	¥21,480
2組C1タイプ	1,820mm	1,820mm	4ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	6ヶ	¥20,380

※下部ピボットには、上例のパーツ以外にも戸と床とのすきまが少ないHD-16も用意しています。用途に合わせてお選びください。

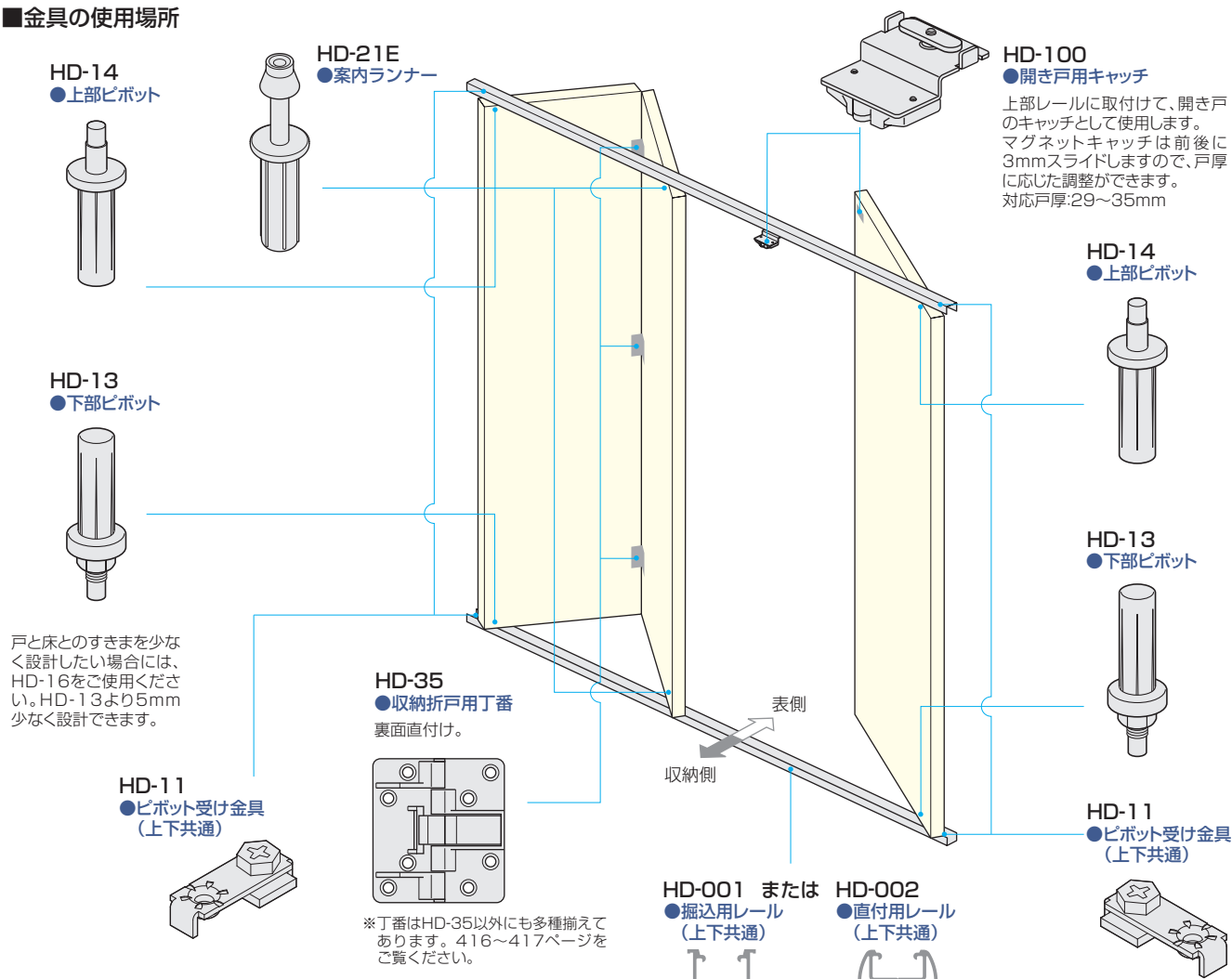
※レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

使用条件

- ◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇開き戸1枚の総質量:12kg以下
- ◇戸の厚さ:20mm以上(開き戸用キャッチHD-100を使用の場合は29~35mm)
- ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
- ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上の連結はできません。
- ※HD-16を下部ピボットに使用の場合は、戸の厚さ:22mm以上となります。

●「軸吊式折戸+開き戸」タイプは、折戸1組では開口部の幅寸法に足りず、2組では大き過ぎてしまう1,200mm程度の開口部にご利用ください。
折戸と開き戸の金具およびレールが共通のため、施工も極めて簡単です。

■金具の使用場所



■使用金具例

使用金具の種類	レール		ピボット受け金具	下部ピボット	上部ピボット	案内ランナー	丁番	開き戸用キャッチ	価格(税抜)
	HD-001	HD-002	HD-11	HD-13 ※	HD-14	HD-21E	HD-35	HD-100	
折戸の形式									レールはアンバーを丁番はGB色を使用の場合
折戸+開き戸	1,200~1,350mm 2本	—	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ	1ヶ	¥16,630
折戸+開き戸	1,200~1,350mm ※	1,200~1,350mm ※	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ	1ヶ	¥17,730

※下部ピボットには、上例のパーツ以外にも戸と床とのすきまが少ないHD-16も用意しています。用途に合わせてお選びください。
※レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

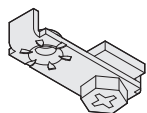
- HD SYSTEMの「直付け下レール」タイプです。
- 床面にレールを直付けしますので、下部の施工が容易です。
- 直付けレール専用のスライダー・ピボットによりスムーズな走行が可能です。

金具の使用場所

HD-11

●上部ピボット受け金具

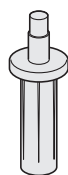
レールに差し込み、スパナで締め付けて取付けます。
戸の左右調整ができます。



HD-14

●上部ピボット

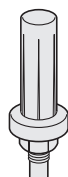
HD-11の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-13

●下部ピボット

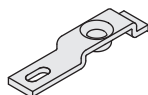
HD-73の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
六角部分を回して戸の上下調整ができます。



HD-73

●下部ピボット受け金具

レールにねじ止めして固定します。



HD-001 または ●掘込用上部レール



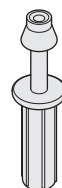
HD-002 ●直付用上部レール



HD-21E

●上部案内ランナー

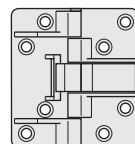
レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
戸に掘込んで取付けます。
当社従来品に比べ、走行性が良くなり、走行音が静かになりました。



HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がふらつきません。

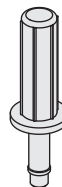


※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。

HD-71

●下部スライダー用ピボット

HD-72の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



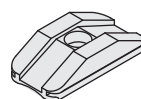
HD-07 ●直付用下部レール



HD-72

●下部スライダー

レールに差し込みます。
レール内を左右に滑走します。
※吊元固定納まり専用の金具です。



使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	上部ピボット受け金具	下部ピボット受け金具	上部ピボット	下部ピボット	上部案内ランナー	下部スライダー用ピボット	下部スライダー	丁番	価格(税抜)
	HD-001	HD-07	HD-11	HD-73	HD-14	HD-13	HD-21E	HD-71	HD-72	HD-35	
折戸の形式											レールはアンバーを使用の場合
1組	910mm*	910mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥13,345
2組	1,820mm	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥19,290

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

使用条件

◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
 ◇戸の厚さ:(1組A3タイプおよび1組C3タイプの場合)20mm以上、(1組B3タイプおよび1組D3タイプの場合)22mm以上
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限り、3枚以上は連結できません。

- 「軸吊式下部レールなし」タイプは、ピボット金具により折戸を支持・開閉し、かつ、下にはレールを使用しないタイプです。比較的軽くて小さめの折戸にご利用ください。

■金具の使用場所

HD-11

●ピボット受け金具

レールに差し込み、スパナで締め付けて取付けます。
 戸の左右調整ができます。

HD-14

●上部ピボット

HD-11の受坪に軸先を挿入します。
 戸に掘込んで取付けます。
 軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。

HD-13

●下部ピボット

HD-15の受坪に軸先を挿入します。
 戸に掘込んで取付けます。
 六角部分を回すことにより戸の上下調整ができます。

HD-15

●下部ピボット受け金具

下部レールを使用しない場合に床と柱に取付けます。
 左右の位置調整が可能です。

HD-001 または

●掘込用上部レール

HD-002

●直付用上部レール

HD-21E

●案内ランナー

レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
 戸に掘込んで取付けます。
 当社従来品に比べ、走行性が良くなり、走行音が静かになりました。

HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
 折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
 キャッチが効いているため開閉時に戸がふたつきません。
 ※丁番はHD-35以外にも多種揃っており、416~417ページをご覧ください。

または

HD-16

●下部ピボット

HD-15NLの受坪に軸先を挿入します。
 六角部分を回すことにより戸の上下調整ができます。

HD-15NL

●下部ピボット受け金具

下部レールを使用しない場合に床に取付けます。
 戸の左右調整ができます。

※下部パーツHD-16、HD-15NLの組合せは、HD-13、HD-15の組合せよりも、戸と床とのすきまを7mm少なくできます。

■使用金具例

使用金具の種類 折戸の形式	上部レール		上部ピボット 受け金具	上部 ピボット	案内 ランナー	下部ピボット 受け金具		下部ピボット		丁番	価格(税抜)
	HD-001	HD-002	HD-11	HD-14	HD-21E	HD-15	HD-15NL	HD-13	HD-16	HD-35	レールは アンバーを 丁番は GB色を 使用の場合
1組A3タイプ	910mm※	—	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	—	3ヶ	¥9,450
1組B3タイプ	910mm※	—	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥9,410
1組C3タイプ	—	910mm※	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	—	3ヶ	¥10,550
1組D3タイプ	—	910mm※	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥10,510

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇戸の厚さ:20mm~38mm ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上は連結できません。

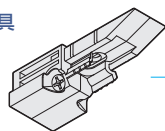
- 「軸吊式下部レールなし」タイプは、ピボット金具により折戸を支持・開閉し、かつ、下にはレールを使用しないタイプです。
- 上部ピボットをレールにスライドさせて受け金具と嵌合させるので、容易に吊込みができます。
- 戸を閉じた状態で、左右吊元ともに、戸の室内側から左右調整ができます。

■金具の使用場所

HD-19

●調整機能付き上部ピボット受け金具

レールに差込んで使用します。
左右吊元ともに、戸の室内側から戸の左右調整ができます。



HD-001

●掘込用上部レール



表側
収納側

HD-71

●上部ピボット

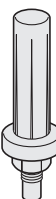
HD-19の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-13

●下部ピボット

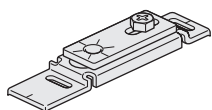
HD-15NLの受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
六角部分を回すことにより戸の上下調整ができます。



HD-15NL

●下部ピボット受け金具

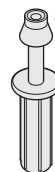
床に取付けます。
戸の左右調整ができます。



HD-21E

●案内ランナー

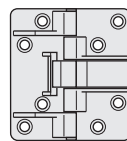
レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
戸に掘込んで取付けます。
当社従来品に比べ、走行性が良くなり、走行音が静かになりました。



HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がふらつきません。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	上部吊元固定 ピボット受け金具	上部 ピボット	上部案内 ランナー	下部ピボット 受け金具	下部ピボット	丁番	価格(税抜)
	HD-001	HD-19	HD-71	HD-21E	HD-15NL	HD-13	HD-35	
								レールは シルバーを 使用の場合
折戸の形式								
1組	910mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥9,470
2組	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥15,840

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

使用条件

◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上は連結できません。

- 「軸吊式下部レールなし」タイプは、ピボット金具により折戸を支持・開閉し、かつ、下にはレールを使用しないタイプです。
- 上部ピボットをレールにスライドさせて受け金具と嵌合させるので、容易に吊込みができます。
- 下部ピボット受け金具の受坪がすりばち状のため、ピボットとの嵌合が容易にできます。
- 上部・下部どちらもピボットと受け金具を完全固定できるので、位置ずれや戸の脱着を防止します。

■金具の使用場所

HD-17

●上部ピボット受け金具

レールに差込んで使用します。

HD-18

●上部吊元完全固定金具

戸を吊込み後、HD-71のピボット軸に引っかけてからレールに取付けます。
戸の左右調整ができます。

HD-71

●上部ピボット

HD-17の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。

HD-13E

●下部ピボット

HD-15Eの受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
六角部分を回して戸の上下調整ができます。
HD-13E用プレートを取付けられます。

HD-15E

●下部ピボット受け金具

床に取付けます。
戸の左右調整ができます。
受坪がすりばち状のため、容易に吊込みができます。

HD-001 または HD-002

●掘込用上部レール

●直付用上部レール

HD-21E

●案内ランナー

レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
戸に掘込んで取付けます。
当社従来品に比べ、走行性が良くなり、走行音が静かになりました。

HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がふたつきません。

※丁番はHD-35以外にも多種揃えがあります。416~417ページをご覧ください。

HD-13E用プレート

●下部吊元完全固定金具

戸を吊込み後、HD-13Eのピボット軸に引っかけてから床に固定します。
戸の左右調整ができます。

■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	上部ピボット受け金具	上部吊元完全固定金具	上部ピボット	上部案内ランナー	下部ピボット受け金具	下部ピボット	下部吊元完全固定金具	丁番	価格(税抜)
	HD-001	HD-17	HD-18	HD-71	HD-21E	HD-15E	HD-13E	HD-13E用プレート	HD-35	
折戸の形式										レールはアンバーを使用の場合
1組	910mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥12,370
2組	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥21,040

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具

1

引戸金具

2

上吊式引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動間仕切り金具

5

室内用アルミ金具

6

折戸金具

7

取手・引手

8

スライド丁番

9

スライドレールワイヤーバスケット

10

収納・吊金具

11

その他の家具金物

12

物干金具・諸金具

13

設計施工ガイド

会社案内

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ建具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-11		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥230	100ヶ
HD-111		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート レール取付け後に挿入、固定できます。 [対応レール] HD-001、HD-002、HD-05	¥230	100ヶ
HD-12		●ゴムストッパー 上下レールの開き先側に差込み、ドライバーで締め付け、固定します。 閉時にHD-21またはHD-22のランナー部分にゴムストッパーを押し当て、戸のふらつきを抑えます。 [材 質] ゴム、銅 [仕上げ] 黒、クロメート [対応レール] HD-001、HD-002、HD-03、HD-05	¥220	100ヶ
HD-12 後付け		●ゴムストッパー レール取付け後に挿入、固定できます。 [材 質] ゴム、銅 [仕上げ] 黒、クロメート [対応レール] HD-001、HD-002、HD-03、HD-05	¥280	100ヶ
HD-13		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥350	50ヶ
HD-13E		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥560	50ヶ

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-13E用プレート		[材 質] 鋼 [仕上げ] クロメート [添付品] +トラスタッピンねじ 3.5×20 2本	¥2,000	50ヶ
HD-14		[材 質] PA6、鋼 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥330	50ヶ
HD-15		[材 質] 鋼 [仕上げ] クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 3本	¥430	20ヶ
HD-15NL		[材 質] 鋼 [仕上げ] クロメート [添付品] +ナベタッピンねじ 3.5×20 2本	¥570	50ヶ
HD-15E		[材 質] 鋼、亜鉛合金 [仕上げ] クロメート [添付品] +トラスタッピンねじ 3.5×20 2本	¥850	50ヶ

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切り金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ建具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-16		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 2本	¥380	50ヶ
HD-17		[材 質] POM [仕上げ] 黒	¥110	20ヶ
HD-18		[材 質] POM、銅 [仕上げ] 黒、クロメート [添付品] ドリルタッピンねじ 3.5×19 1本	¥500	20ヶ
HD-19		[材 質] ABS、亜鉛合金、銅 [仕上げ] グレー	¥800	20ヶ
HD-21		●案内ランナー [材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥440	50ヶ
HD-21E		[材 質] PE、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥600	50ヶ

注文コード 079116

注文コード 208853

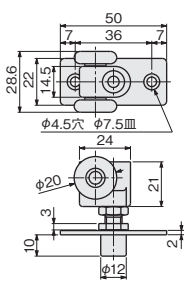
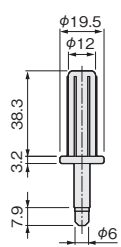
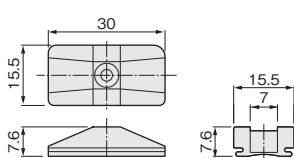
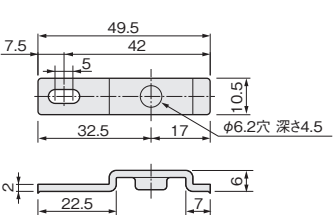
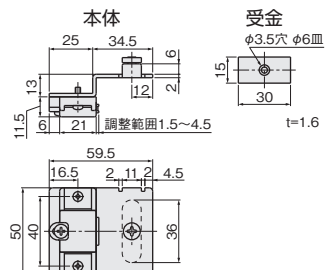
注文コード 208854

注文コード 299030

注文コード 079121

注文コード 219902

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-22		●ガイドランナー 上部レールHD-03専用の上部ガイドです。 吊り車としては使用できません。 [材 質] POM、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×25 2本	¥850	20ヶ
HD-71		[材 質] POM、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥450	50ヶ
HD-72		[材 質] POM [仕上げ] 乳白	¥155	100ヶ
HD-73		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] ドリルタッピンねじ 3.5×19 1本	¥230	100ヶ
HD-100		[材 質] 銅、ABS [仕上げ] GB色塗装、茶 アイボリー塗装、白 [添付品] +皿木ねじ 2.4×13 1本	GB色 ¥2,150 アイボリー ¥2,150	20ヶ

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸

金具

1

引戸

金具

2

上吊式

引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動

間仕切

金具

5

室内用

アルミ建具

6

折戸

金具

7

取手・

引手

8

スライド

丁番

9

スライドレール

ワイヤー

バスケット

10

収納・

吊金具

11

その他の

家具金物

12

物干金具・

諸金具

13

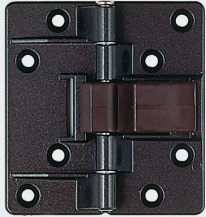
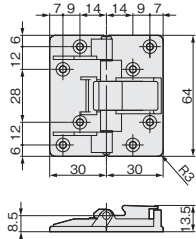
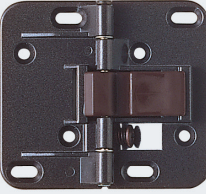
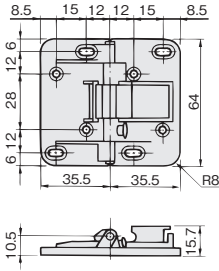

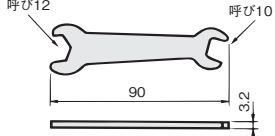
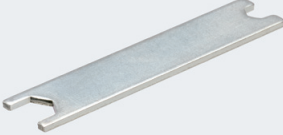
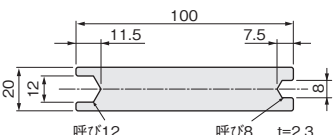

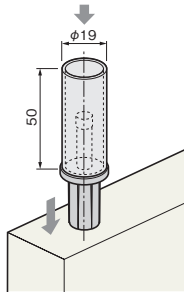
設計

施工

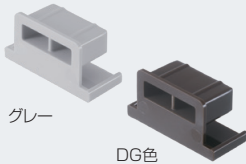
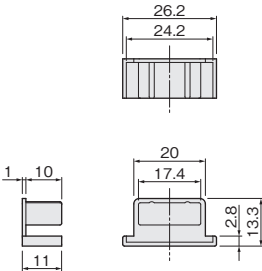
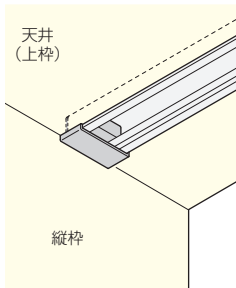
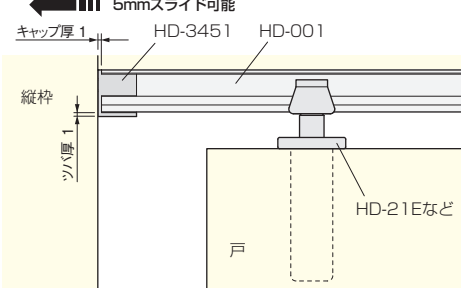
ガイド

会社案内

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-35 		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タップピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ
HD-38 		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タップピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,650 注文コード 079145 アイボリー ¥1,650 注文コード 079146	18ヶ
HD-61 		●専用スパナ HR-240/HD-11/HD-13/HD-13E/ HD-16/HD-22/HD-111/HDS-13/ HD-15に対応。 上下左右調整をするための工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] ユニクロ	¥250 注文コード 079155	100ヶ
HDS-60 		●専用スパナ HR-240/HD-11/HD-13/HD-13E/ HD-16/HD-22/HD-111/HDS-13/ HD15NL/HD15E/HD-18/HDS-11 に対応。 上下左右調整をするための工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] ユニクロ	¥160 注文コード 079202	100ヶ
HD-63 (ランナー・ピボット打込みパイプ) 		●専用工具 HD-13、HD-13E、HD-14 HD-21、HD-21E、HD-71に対応。 ピボットを傷つけずに戸に打ち込むための 工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥270 注文コード 079163	30ヶ

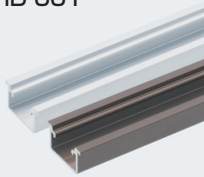

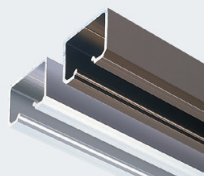
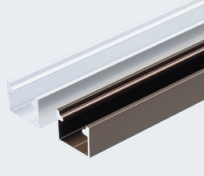

■金具仕様表

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-3451 NEW  グレー DG色		●HD-001用キャップ HD-001を上枠や下枠に埋め込んだ際に、レール内の端部を隠すキャップです。キャップは5mmスライドするので、レールを枠より短めにカットした際に生じる隙間も隠すことができます。レールへの穴加工は不要です。 [材質] ABS [仕上げ] グレー、DG色 [対応レール] HD-001	DG色 ¥250	40ヶ
■レール装着状態 	■金具の納まり参考図 	5mmスライド可能 HD-3451 HD-001 HD-21Eなど	グレー ¥250	40ヶ

●注意

●キャッチは併用できません。

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は426ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HD-001  24 11 12 10.5 20 t=1.2	HD-002  11 11 28 t=1.2
HD-03  24.5 25.5 11 36 t=2	HD-05  11 15 20 t=1.2
HD-07  33 6.4 11 3.4 15 3.1	

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

HDS SYSTEM 直付レール HD-07 収納／軸吊式／吊元固定

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

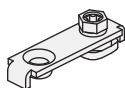
- HDS SYSTEMは、HD SYSTEMを施工方法はそのままにスリム化した商品です。
- 下レールは床面に直付け可能で、立ち上がりは5mm以下ですので、段差を低く施工できます。
- 面付けレール専用スライダとピボットの組み合わせによりスムーズな走行が可能です。

■金具の使用場所

HDS-11

●ピボット受け金具

レールに差込み、スナバで締め付けて取付けます。
戸の左右調整ができます。



HDS-02

●掘込用レール (上下共通)



HD-14

●上部ピボット

HDS-11の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-13

●下部ピボット

HD-73の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
六角部分を回して戸の上下調整ができます。



HD-73

●下部ピボット受け金具

レールにねじ止めして固定します。



HDS-21

●案内ランナー

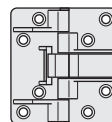
レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
戸に掘込んで取付けます。



HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がふたつきません。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。

HD-71

●下部スライダ用ピボット

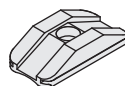
HD-72の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-72

●下部スライダ

レールに差込みます。
レール内を左右に滑走します。
※吊元固定納まり専用の金具です。



HD-07

●直付用下部レール



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	上部ピボット受け金具	下部ピボット受け金具	上部ピボット	下部ピボット	上部案内ランナー	下部スライダ用ピボット	下部スライダ	丁番	価格(税抜)
	HDS-02	HD-07	HDS-11	HD-73	HD-14	HD-13	HDS-21	HD-71	HD-72	HD-35	
折戸の形式											レールはアンバーを使用の場合
1組	910mm*	910mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥12,475
2組	1,820mm	1,820mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥18,250

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

HDS SYSTEM 標準 収納／軸吊式／吊元固定

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

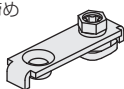
- HDS SYSTEMは、HD SYSTEMを施工方法はそのままにスリム化した商品です。
- レールの掘込加工が小さくなりました。

■金具の使用場所

HDS-11

●ピボット受け金具(上下共通)

レールに差込み、スパナで締め付けて取付けます。
戸の左右調整ができます。



HDS-02

●掘込用レール(上下共通)



HD-14

●上部ピボット

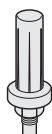
HDS-11の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



HD-13

●下部ピボット

HDS-11の受坪に軸先を挿入します。
戸に掘込んで取付けます。
六角部分を回して戸の上下調整ができます。



HDS-21

●案内ランナー(上下共通)

レール内を走行し、軸は内蔵のスプリングにより上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。
戸に掘込んで取付けます。

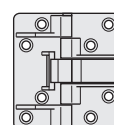


HD-35

●収納折戸用丁番

裏面直付け。
折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。
キャッチが効いているため開閉時に戸がぶらつきません。

※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。



表側

収納側

■使用金具例

使用金具の種類	レール	ピボット受け金具	上部ピボット	下部ピボット	案内ランナー	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	HDS-02 	HDS-11 	HD-14 	HD-13 	HDS-21 	HD-35 	レールはアンバーを使用の場合
1組 	910mm* 2本	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ	¥8,600
2組 	1,820mm 2本	4ヶ	2ヶ	2ヶ	4ヶ	6ヶ	¥17,200

*レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12


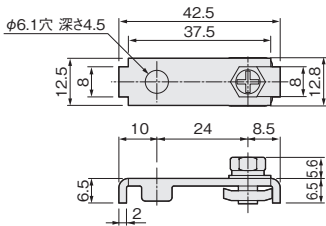

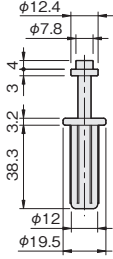

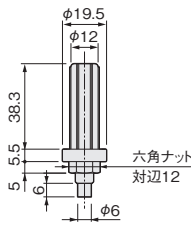

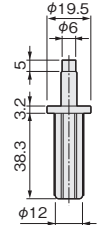

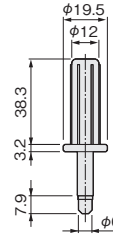

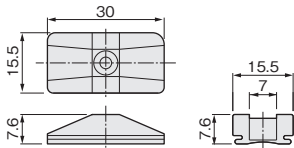
物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HDS-11 		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥230	100ヶ
HDS-21 		[材 質] POM、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥430	50ヶ
HD-13 		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥350	50ヶ
HD-14 		[材 質] PA6、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥330	50ヶ
HD-71 		[材 質] POM、銅 [仕上げ] 乳白、クロメート	¥450	50ヶ
HD-72 		[材 質] POM [仕上げ] 乳白	¥155	100ヶ

注文コード 079200

注文コード 079201

注文コード 079113

注文コード 079114

注文コード 000110

注文コード 000111

開き戸
金具
1
引戸
金具
2
上吊式
引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動
間仕切
金具
5
室内用
アルミ建具
6
折戸
金具
7
取手・
引手
8
スライド
丁番
9
スライド
ワイヤー
バスケット
10
収納・
吊金具
11
その他の
家具金物
12
物干金具・
諸金具
13
設計
施工
ガイド
会社案内

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-73		[材 質] 銅 [仕上げ] クロメート [添付品] ドリルタッピングねじ 3.5×19 1本	¥230	100ヶ
HD-35		[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装 アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 アイボリー ¥1,200	18ヶ
HDS-60		●専用スパナ HDS-11、HD-13に対応。 上下左右調整をするための工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] ユニクロ	¥160	100ヶ
HD-63 (ランナー・ピボット打込みパイプ)		●専用工具 HDS-21、HD-13、HD-14、HD-71に対応。 ピボットを傷つけずに戸に打ち込むための 工具です。 [材 質] 銅 [仕上げ] クロメート	¥270	30ヶ

■レール仕様表 ※価格や注文コードなど、仕様の詳細は426ページをご参照ください。

品番・製品寸法図	品番・製品寸法図
HDS-02 	HD-07

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計 施工 ガイド	
会社案内	

OFD-3N SYSTEM

アウトセット 標準

収納／上吊式／フリーオープンタイプ

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

●OFD-3N SYSTEM金具は、アウトセット収納折戸専用の金具です。OFD-4N(414~415ページ)より一回りコンパクトで使いやすい軽量タイプです。フリーオープンタイプ他、吊元固定タイプとしてもご利用いただけます。

■金具の使用場所

AFD-1500 または AFD-1300

●上部レール

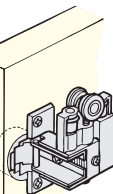
●掘込用上部レール



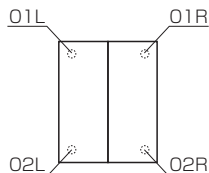
OFD-3N-01R-(K)

●右用上部吊り車

戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。

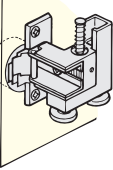


表側から見た図



OFD-3N-02R

●右用下部ガイド



表側

収納側

AFD-110 または AFD-120

●掘込用下部レール

●直付用下部レール



AFD-380

(CD-1600N)

オプション

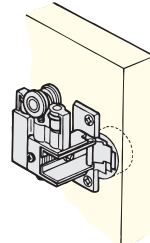
●吊元固定用上部ストッパー

吊元を固定する場合に使用します。

OFD-3N-01L-(K)

●左用上部吊り車

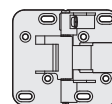
戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。



HD-50

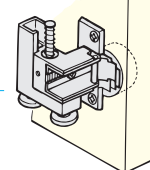
●収納折戸用丁番

折戸を折った状態で左右に戸をスムーズに移動できるように、戸の開き角度50°で仮ストップします。蛇行修正、キャッチ付きです。



OFD-3N-02L

●左用下部ガイド



AFD-320

オプション

●吊元固定用下部ストッパー

吊元を固定する場合に使用します。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	右用上部吊り車	左用上部吊り車	右用下部ガイド	左用下部ガイド	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	AFD-1300 または AFD-1500	AFD-110 または AFD-120	OFD-3N-01R-(K)	OFD-3N-01L-(K)	OFD-3N-02R	OFD-3N-02L	HD-50	レールはAFD-1300またはAFD-1500とAFD-110のアンバーを使用の場合
1組	900mm*	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥27,350
2組	1,820mm	1,800mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥47,500
3組	2,730mm	2,700mm	3ヶ	3ヶ	3ヶ	3ヶ	9ヶ	¥71,250
4組	3,640mm	3,600mm	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	12ヶ	¥95,000

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸金具

1

引戸金具

2

上吊式引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動間仕切金具

5

室内用アルミ建具

6

折戸金具

7

取手・引手

8

スライド丁番

9

スライドワイヤーバスケット

10

収納・吊金具

11

その他の家具金物

12

物干金具・諸金具

13

設計施工ガイド

会社案内

会社案内

OFD-3N SYSTEM

アウトセット 下部レールなし

収納／上吊式／吊元固定

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

●OFD-3N SYSTEMの、下部レールなし吊元固定タイプです。

■金具の使用場所

AFD-1500 または AFD-1300

●上部レール

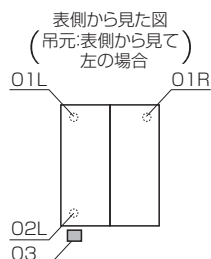
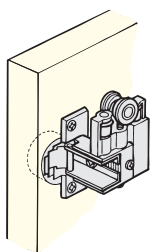
●掘込用上部レール



OFD-3N-01R-(K)

●右用上部吊り車

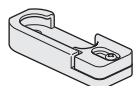
開く側から向って右の戸に取付けます。
戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。



OFD-3N-03

●下部吊元固定金具

下部ガイドを固定して吊元にします。



AFD-380

(CD-1600N)

●吊元固定用上部ストッパー

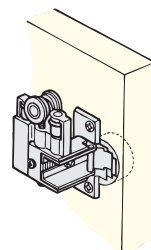
上部吊り車を固定します。



OFD-3N-01L-(K)

●左用上部吊り車

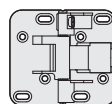
開く側から向って左の戸に取付けます。
戸を吊ったままの状態、ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。



HD-50

●収納折戸用丁番

戸の開き角度50°で仮ストップします。蛇行修正、キャッチ付きです。



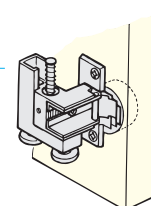
OFD-3N-02L

または

OFD-3N-02R

●左用または右用下部ガイド

吊元となる戸の下部に取付けます。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	右用上部吊り車	左用上部吊り車	右用下部ガイド	左用下部ガイド	吊元固定用ストッパー	下部吊元固定金具	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	AFD-1300 または AFD-1500	OFD-3N-01R-(K)	OFD-3N-01L-(K)	OFD-3N-02R	OFD-3N-02L	AFD-380 (CD-1600N)	OFD-3N-03	HD-50	レールはアンバーを 丁番はGB色を使用の場合
1組	910mm※	1ヶ	1ヶ	どちらか 1ヶ		1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥22,350
2組	1,820mm	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥41,400

※レール1,820mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

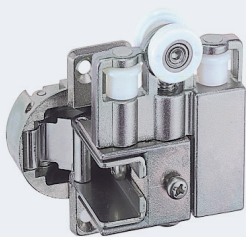
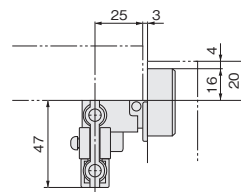
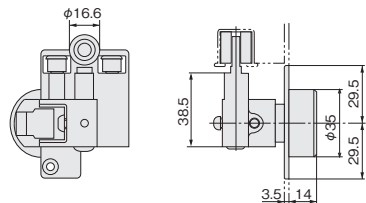
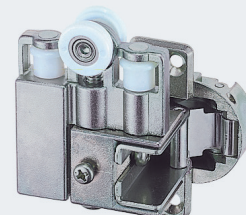
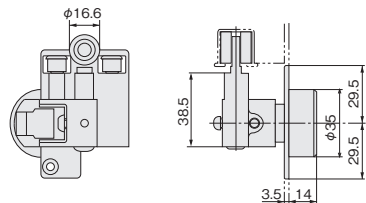
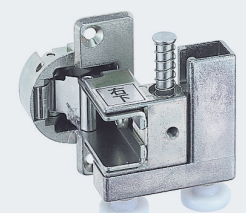
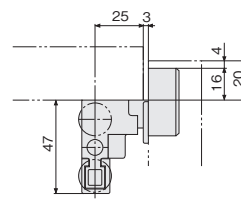
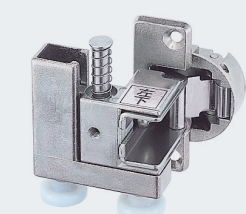
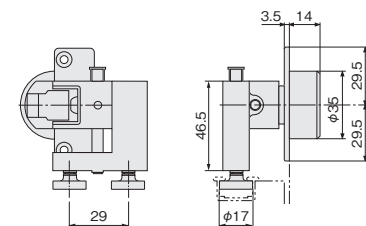

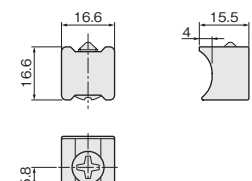
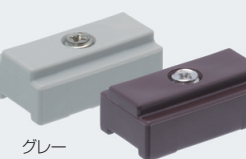
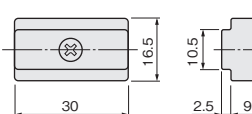
物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

■金具仕様表

品 番	製品寸法図	材質・仕上	価格(税抜)	入数
OFD-3N-01R-(K)	   ※図はOFD-3N-01R	[ベアリング] 金属ベアリング [材 質] POM、亜鉛合金 [仕上げ] 白、クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 4×20 2本	¥4,400 注文コード 231724	6ヶ
OFD-3N-01L-(K)	  ※図はOFD-3N-01R		¥4,400 注文コード 231725	6ヶ
OFD-3N-02R	  ※図はOFD-3N-02R	[材 質] POM、亜鉛合金 [仕上げ] 白、クロメート [添付品] +皿タッピンねじ 4×20 2本	¥3,200 注文コード 095098	6ヶ
OFD-3N-02L	  ※図はOFD-3N-02R		¥3,200 注文コード 095099	6ヶ
AFD-380 (CD-1600N)	 グレー 茶  5.8	[材 質] PA6、鋼 [仕上げ] 茶、グレー	茶 ¥300 注文コード 096068 グレー ¥300 注文コード 096069	100ヶ
AFD-320	 グレー 茶  2.5 9	[材 質] PA6、鋼 [仕上げ] 茶、グレー	茶 ¥570 注文コード 080690 グレー ¥570 注文コード 220970	100ヶ

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕
合目

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・引手

8

スライド
下番

9

スライトレール
ワイヤー
バフカット

10

收納·
品全具

11

その他の
家目全物

12

物干金具・
諸全目

13

設計

施工
ガイド

会社案内

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

OFD-4N SYSTEM

アウトセット 標準

収納／上吊式／フリーオープンタイプ

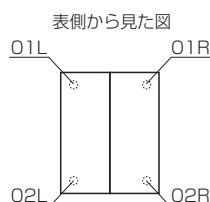
使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

●OFD-4N SYSTEM金具は、アウトセット収納折戸専用の金具です。OFD-3N(410~413ページ)よりも重い戸に対応できるタイプです。

■金具の使用場所



HR-130 または HR-150
●掘込用上部レール ●上部レール



HR-380

オプション

●吊元固定用上部ストッパー

吊元を固定する場合に使用します。

OFD-4N-01L

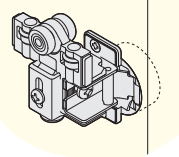
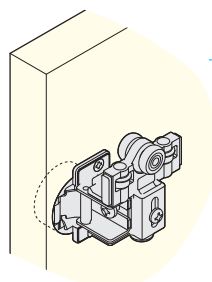
●左用上部吊り車

戸を吊ったままの状態です。ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。

OFD-4N-01R

●右用上部吊り車

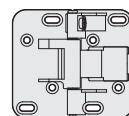
戸を吊ったままの状態です。ドライバーで戸の上下前後の位置調整ができます。



HD-50

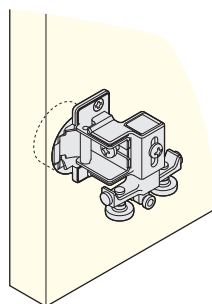
●収納折戸用丁番

折戸を折った状態で左右に戸をスムーズに移動できるように、戸の開き角度50°で仮ストップします。蛇行修正、キャッチ付きです。



OFD-2N-02R

●右用下部ガイド

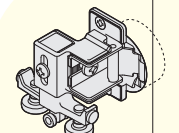


表側

収納側

OFD-2N-02L

●左用下部ガイド



AFD-110 または

●掘込用下部レール

AFD-120

●直付用下部レール



AFD-320

オプション

●吊元固定用下部ストッパー

吊元を固定する場合に使用します。

■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	右用上部吊り車	左用上部吊り車	右用下部ガイド	左用下部ガイド	丁番	価格(税抜)
折戸の形式	HR-130 または HR-150	AFD-110 または AFD-120	OFD-4N-01R	OFD-4N-01L	OFD-2N-02R	OFD-2N-02L	HD-50	レールはHR-130とAFD-110のアンバーを、丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	900mm*	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥34,050
2組	1,800mm	1,800mm	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥58,000
3組	2,700mm	2,700mm	3ヶ	3ヶ	3ヶ	3ヶ	9ヶ	¥87,000
4組	3,600mm	3,600mm	4ヶ	4ヶ	4ヶ	4ヶ	12ヶ	¥116,000

*レール1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。

このページの設計・施工ガイドは

834~835 ページ

開き戸金具

1

引戸金具

2

上吊式引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動間仕切金具

5

室内用アルミ建具

6

折戸金具

7

取手・引手

8

スライド丁番

9

スライドレールワイヤーバスケット

10

収納・吊金具

11

その他の家具金物

12

物干金具・諸金具

13

設計施工ガイド

会社案内

折戸用丁番

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

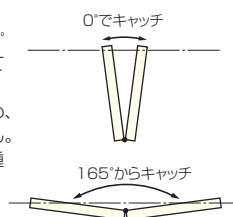
13

設計
施工
ガイド

会社案内

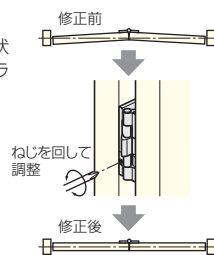
●キャッチ付き

折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。キャッチが効いているため、閉時に戸がふらつきません。0°でもキャッチが効く機種もあります。



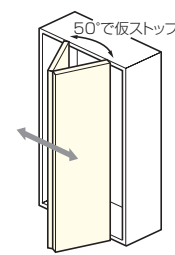
●蛇行修正機能付き

閉めた時に折戸が蛇行状態になっている場合、ドライバーで修正できます。



●50°仮ストップ機能付き

フリーオープンタイプ折戸に適した機能で、折戸が開き角度50°で仮ストップするため、この状態で戸を左右にスムーズに移動させることができます。



収納折戸用丁番 戸の裏面に直付け(あるいは掘込み加工)をして使用する丁番です。クローゼットなどの折戸に適しています。

品番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-35		●キャッチ付き 折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。 [材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,200 注文コード 079133 アイボリー ¥1,200 注文コード 079134	18ヶ
HD-38		●キャッチ付き 折戸の開き角度0°の時と、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。 ●蛇行修正機能付き [材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,650 注文コード 079145 アイボリー ¥1,650 注文コード 079146	18ヶ
HD-50		●キャッチ付き 折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●50°仮ストップ機能付き ●蛇行修正機能付き [材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,650 注文コード 080695 アイボリー ¥1,650 注文コード 080696	18ヶ
HD-55		●キャッチ付き 折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●50°仮ストップ機能付き [材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本	GB色 ¥1,350 注文コード 079156 アイボリー ¥1,350 注文コード 079157	18ヶ
HD-96	■掘込加工参考図 	●キャッチ付き 折戸の開き角度165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●50°仮ストップ機能付き [材 質] 銅、POM、PA66 [仕上げ] 黒塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 8本	黒 ¥1,000 注文コード 247341	12ヶ

間仕切折戸用丁番 戸の木口に掘込み加工をして使用する丁番です。戸を閉めた際に、どちら側からも丁番が見えない間仕切折戸用丁番です。

品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入数
HD-37		<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチ付き 折戸の開き角度165°～180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●蛇行修正機能付き <p>[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3×20 8本</p>	GB色 ¥1,600 アイボリー ¥1,600	24ヶ
HD-47		<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチ付き 折戸の開き角度165°～180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●50° 仮ストップ機能付き ●蛇行修正機能付き <p>[材 質] 亜鉛合金、PA66 [仕上げ] GB色塗装、アイボリー塗装 [添付品] +皿タッピンねじ 3.5×20 8本</p>	GB色 ¥2,050 アイボリー ¥2,050	18ヶ
AFD-900 上下ズレ調整機能なし		<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチ付き 折戸の開き角度165°～180°の範囲でキャッチが効いて自動的に閉じます。 ●50° 仮ストップ機能付き ●蛇行修正機能付き <p>[材 質] 亜鉛合金、PA66(茶) [仕上げ] ニッケルメッキ [添付品] +皿木ねじ 3.8×30 4本</p>	¥3,100	6ヶ
AFD-920 上下ズレ調整機能あり		<p>※上下のズレ調整ねじ AFD-900: なし AFD-920: 両ハネにあり 調整範囲=3mm</p> <p>図はAFD-920</p> <p>戸の裏面=折戸を手前に引いて閉める側 戸の表面=折戸を手前に引いて開ける側</p> <p>戸厚:28以上 R6 R10 64 100 20 14 11 33 対応戸厚:28mm以上</p> <p>戸の裏面</p> <p>戸の表面</p>	¥4,400	6ヶ

ご注意

取付け穴センターは、戸の厚さに関わらず戸の裏面から14mmの位置になります。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

折戸用下部振止

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

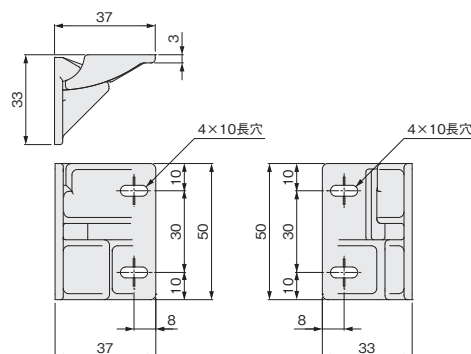
設計
施工
ガイド

会社案内

HD-340(片折用)



- 折戸を閉じた際の戸先の振れを抑える事ができます。
- 吊元固定下レール無しタイプに使用する振止めです。
- 左右勝手はありません。

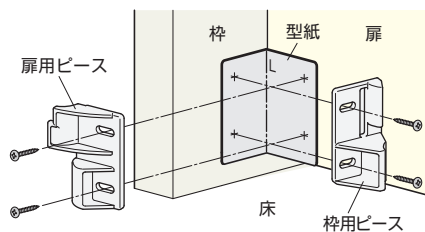


[材 質] POM
[仕上げ] DG色
[添付品] +トラスタッピンねじ 3.5×25 4本

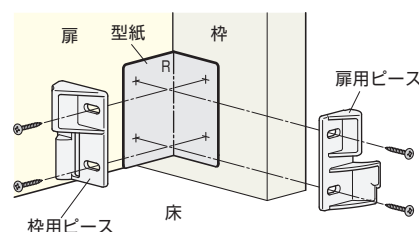
価格(税抜)	¥920
注文コード	000101
小 箱	20セット

取付け方法

収納内部から見て戸先が左のとき



収納内部から見て戸先が右のとき

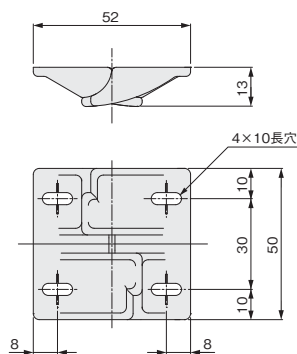


- ①扉全体を調整します。
- ②型紙を使って下穴をあけます。
- ③それぞれのピースを図に示す向きに添付ねじ(+トラスタッピンねじ 3.5×25)で取付けます。

HD-341(両折用)



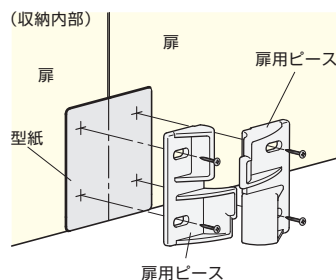
- 折戸を閉じた際の戸先の振れを抑える事ができます。
- 吊元固定下レール無しタイプに使用する振止めです。



[材 質] POM
[仕上げ] DG色
[添付品] +トラスタッピンねじ 3.5×25 4本

価格(税抜)	¥920
注文コード	000102
小 箱	20セット

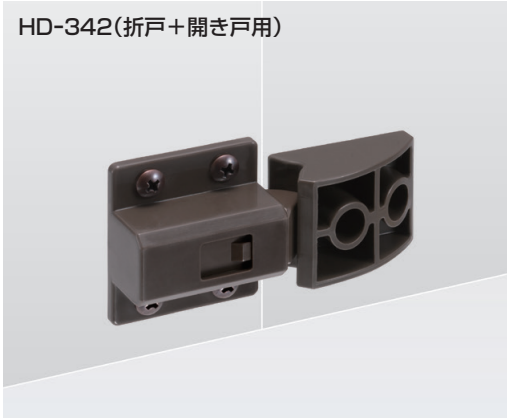
取付け方法



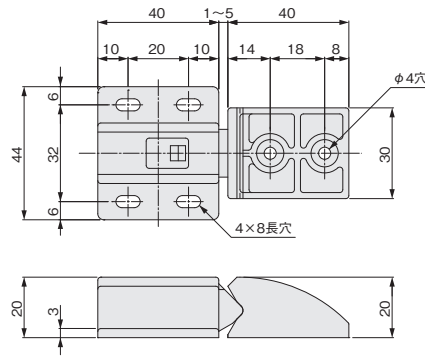
- ①扉全体を調整します。
- ②型紙を使って下穴をあけます。
- ③それぞれのピースを図に示す向きに添付ねじ(+トラスタッピンねじ 3.5×25)で取付けます。

折戸用下部振止／折戸用ロック

HD-342(折戸＋開き戸用)



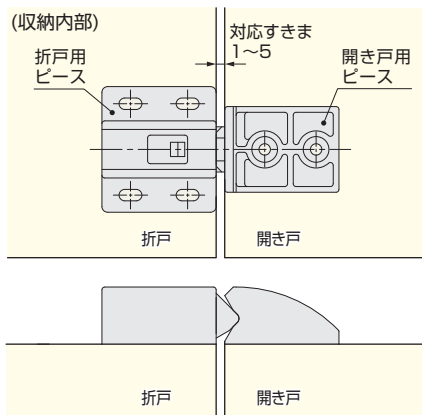
- 折戸または開き戸を閉じた際の、戸先の振れを抑える事ができます。
- 吊元固定下レール無しタイプに使用する振止めです。



[材 質] PA66、POM
[仕上げ] DG色
[添付品] +トラスタッピンねじ 3.5×20 6本

価格(税抜)	¥1,350
注文コード	178854
小 箱	20セット

取付け方法



- ①扉全体を調整します。
- ②折戸用ピースを、端部を木口面にそろえて添付ねじで取付けます。
- ③開き戸用ピースを、折戸用ピースの高さにあわせて位置決めし、端部を木口面にそろえて取付けます。

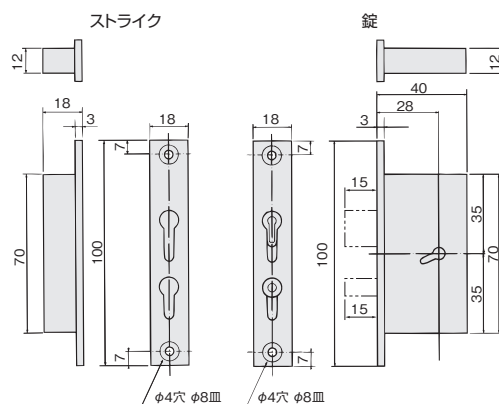
FD-LOCK(ロック)



使用条件

◇対応戸厚:27~40mm

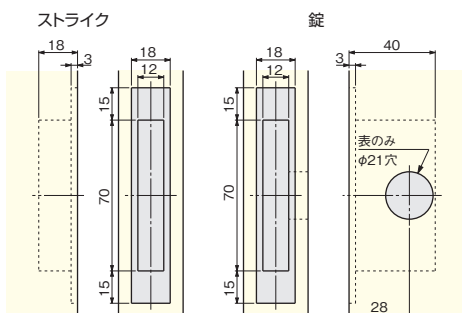
- 2枚の戸の合わせ付近に取付けて、戸が折れないように施錠する折戸専用の錠前です。
- 施錠すると鍵が抜けて鍵の保管ができ、解錠すると鍵が抜けずツマミの機能を果たすようになっています。



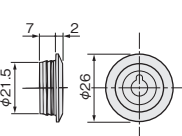
ご注意

- キーによる施錠の場合、非常解錠はありません。
- キーに鍵違いはありません。

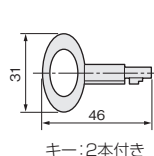
■掘込み加工参考図



エスカッションリング



キー



[材 質] 亜鉛合金
[仕上げ] 錠、ストライク：クロームメッキ(梨地)
エスカッションリング、キー：WBメッキ
[添付品] +皿木ねじ 3.5×20 4本

価格(税抜)	¥12,500(1セット)
注文コード	264453
小 箱 入 数	5セット

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

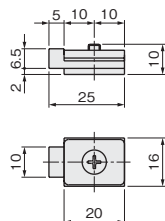
会社案内

HD-12



使用条件 ◇対応レール:HD-001、HD-002、HD-03、HD-05

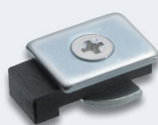
- アーム(HD-350)の角度調整に使用できるゴムストッパーです。
- HD-12をレールに差し込んでから、レールを取付けます。



[材 質] ゴム、銅
[仕上げ] 黒、クロメート

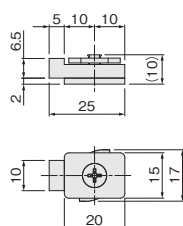
価格(税抜)	¥220
注文コード	079112
小箱入数	100ヶ

HD-12 後付け



使用条件 ◇対応レール:HD-001、HD-002、HD-03、HD-05

- アーム(HD-350)の角度調整に使用できるゴムストッパーです。
- レール取付け後に挿入、固定できます。



[材 質] ゴム、銅
[仕上げ] 黒、クロメート

価格(税抜)	¥280
注文コード	552614
小箱入数	100ヶ

警告ステッカー



- 折戸の開閉時に、折戸連結部に指をはさまないように注意をうながすステッカーです。
- 折戸連結部の木口面に貼付けると、外観を損ねません。



価格(税抜)	¥80(1ヶ)
注文コード	265306
1シート	10ヶ

※この商品のご注文は、シート(10ヶ)単位でお願い致します。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

折戸用ダンパー FC-790

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇対応折戸システム:HDシステム(394~405ページ参照)
◇対応折戸用丁番:HD-35・HD-38・HD-50・HD-55・HD-96
※折戸1組の総質量・戸の厚さ・戸幅は対応折戸システムの使用条件に準じます。
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

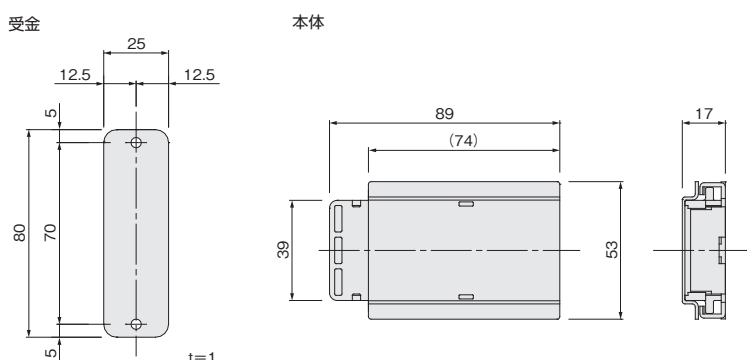
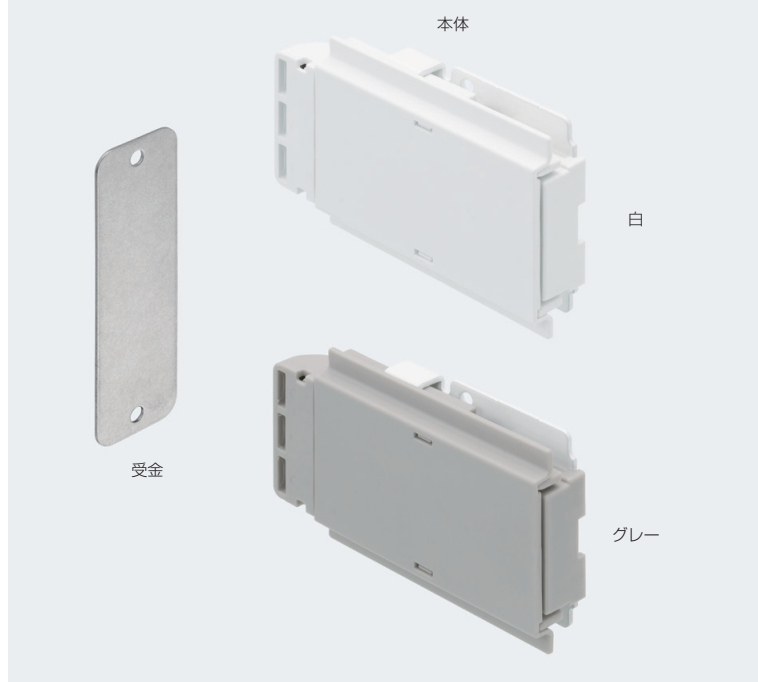
- 吊元固定折戸に使用する折戸用ダンパーです。
- 折戸が閉じる際の、ばたつきを抑える事ができます。
- 折戸の施工条件に合わせて、制動力の調整ができます。
- 折戸全開時に折戸に干渉しません。
- 縦枠に受金を付ける事で、傷を防ぎます。

ご注意

正しく安全にお使い頂くために、以下の事にご注意ください。

- 折戸用ダンパーは、折戸を構成する金具・使用する環境・室温・操作方法などにより閉じる速度にばらつきが生じます。
- 必ず使用条件をお守りください。使用条件外で使用する、異常な動作・故障や事故発生の原因になります。
- 金具の取付け面に、丈夫な下地がある事を事前にご確認ください。

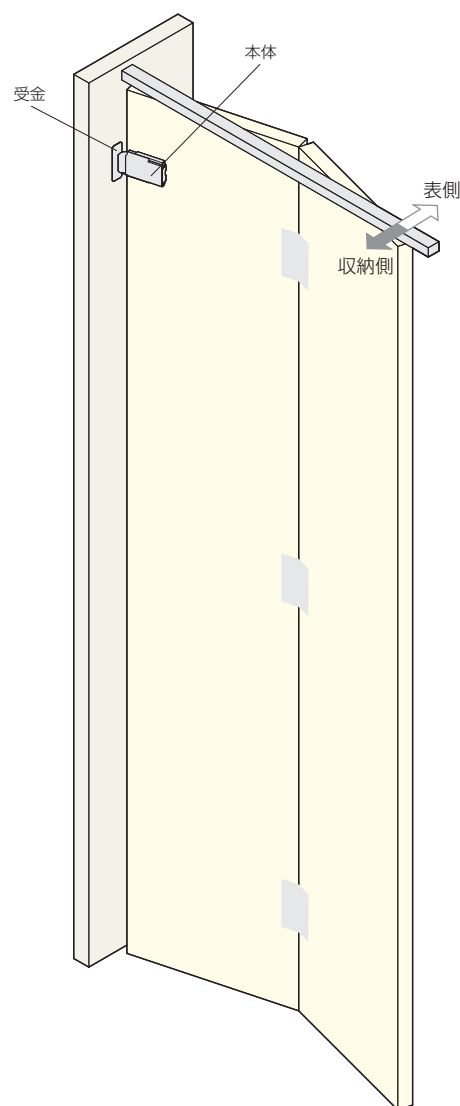
FC-790



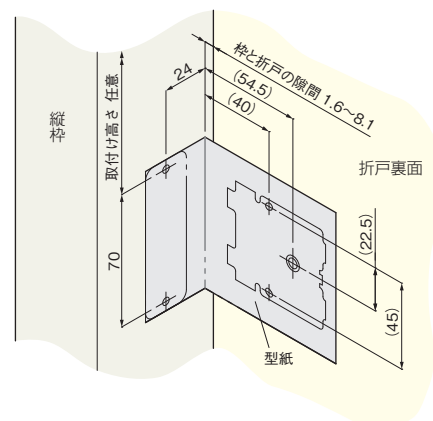
[材 質] 本体:鉄・POM
受金:SUS430
[仕上げ] 本体:白、グレー
[添付品] 本体:＋皿タッピンねじ 3.5×16 1本
＋なべタッピンねじ 3×16 2本
受金:＋なべタッピンねじ 3×16 2本

白	価格(税抜)	¥2,650
	注文コード	223150
グレー	価格(税抜)	¥2,650
	注文コード	219885
小 箱 入 数	10セット	

金具の使用場所



取付け参考図



折戸用工具

スパイラルビット

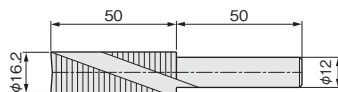
NEW

別途運賃



使用条件 ◇対応システム: AFDシステム、HRシステム

- 超硬無垢製の本体とスパイラル状の刃先形状により、仕上げ面のバリを抑え美しく仕上げます。

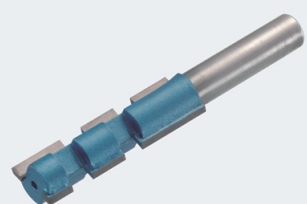


[材 質] 超硬合金無垢

サ イ ズ	φ 16.2mm
価格 (税抜)	¥82,000
注文コード	317873
入 数	1本

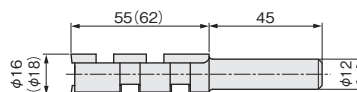
※取寄品のため、別途運賃がかかります。
納期は弊社までご確認ください。

ルータービット



使用条件 ◇対応システム: φ16mm: AFDシステム、HRシステム
φ18mm: SDシステム、SWシステム

- アトム上吊式引戸、折戸金具の取付け作業に大変便利なルータービットです。



()内寸法は、ルータービットφ18mmの寸法

[材 質] 本体: 機械構造用炭素鋼鋼材
刃: 超硬合金

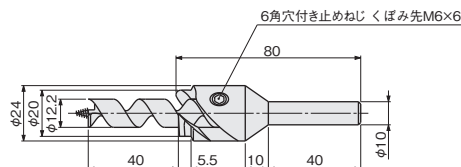
サ イ ズ	φ 16mm	φ 18mm
価格 (税抜)	¥28,000	¥40,500
注文コード	223475	223476
入 数	1本	

HD折戸用2段錐



使用条件 ◇対応パーツ: HD-13、HD-13E、HD-14、HD-16、HD-21、HD-21E、HD-22、HD-71、HDS-21

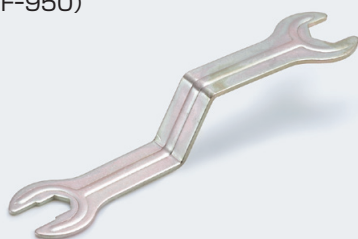
- ピボット取付け用の2段掘りキリです。
ピボットのツバ部分まで掘込み加工に納める事ができますので、戸とレールの隙間をより小さくする事ができます。



[材 質] 鋼

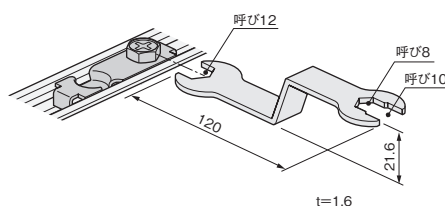
価格 (税抜)	¥18,000
注文コード	080260
小箱入数	1ヶ

スパナ-950 (FF-950)



使用条件 ◇対応パーツ: HR-240、HD-11、HD-13、HD-13E、HD-16、HD-22、HD-111、HDS-13、HD-15、HD-15NL、HD-15E、HD-18、HDS-11

- 金具の固定および戸の上下調整用スパナです。



[材 質] 鋼
[仕上げ] クロメート

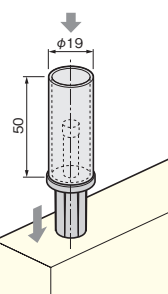
価格 (税抜)	¥180
注文コード	080612
小箱入数	100ヶ

HD-63 (ランナー・ピボット打込みパイプ)



使用条件 ◇対応パーツ: HD-13、HD-13E、HD-14、HD-21、HD-21E、HD-71、HDS-21

- ピボットを傷つけずに戸に打ち込みます。



[材 質] 鋼
[仕上げ] クロメート

価格 (税抜)	¥270
注文コード	079163
小箱入数	30ヶ

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

■レール仕様表

品番	色	価格(税抜)				入数	製品寸法図	材質・仕上
AFD-1500 ブラック NEW	サイズ(mm)	シルバー	アンバー	ホワイト	ブラック(つやあり)			[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー、ホワイト、ブラック(つやあり) [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照
	1,820 注文コード	¥3,100 167939	¥3,300 167942	¥4,400 070245	—	30本		
	2,730 注文コード	¥4,650 167940	¥4,950 167943	¥6,600 070246	—	20本		
	3,640 注文コード	¥6,200 167941	¥6,600 167944	¥8,800 070247	—	15本		
	2,000 注文コード	¥3,400 070233	¥3,600 070236	—	¥7,000 318000	20本		
	3,000 注文コード	¥5,100 070234	¥5,400 070237	—	—	15本		
	4,000 注文コード	¥6,800 070235	¥7,200 070238	—	¥12,700 318001	15本		

品番	色	価格(税抜)				入数	製品寸法図	材質・仕上
AFD-1300 ブラック NEW	サイズ(mm)	シルバー	アンバー	ホワイト	ブラック(つやあり)			[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー、ホワイト、ブラック(つやあり) [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照
	1,820 注文コード	¥3,100 179664	¥3,300 179667	¥4,900 264397	—	30本		
	2,730 注文コード	¥4,650 179665	¥4,950 179668	¥7,350 264398	—	20本		
	3,640 注文コード	¥6,200 179666	¥6,600 179669	¥9,800 264399	—	15本		
	2,000 注文コード	¥3,400 070221	¥3,600 070224	—	¥7,000 318002	20本		
	3,000 注文コード	¥5,100 070222	¥5,400 070225	—	—	15本		
	4,000 注文コード	¥6,800 070223	¥7,200 070226	—	¥12,700 318003	15本		

品番・製品寸法図	色	価格(税抜)		入数	品番・製品寸法図	色	価格(税抜)		入数
AFD-110 	サイズ(mm)	シルバー	アンバー		AFD-120 	サイズ(mm)	シルバー	アンバー	
	1,800 注文コード	¥3,700 080652	¥3,900 080655	30本		1,800 注文コード	¥4,600 080821*	¥5,300 080826*	30本
	2,700 注文コード	¥5,550 080653	¥5,850 080656	20本		2,700 注文コード	—	¥7,950 080827*	20本
	3,600 注文コード	¥7,400 080654	¥7,800 080657	20本		3,600 注文コード	¥9,200 080823	¥10,600 080828	20本
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照					[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5穴 φ8皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照				

*は在庫がなくなり次第販売を終了させていただきます。

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

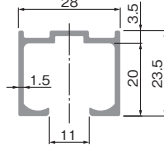
物干金具・
諸金具

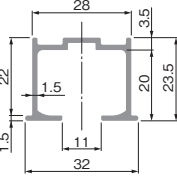
13

設計
施工
ガイド

会社案内

■レール仕様表

品 番		価 格(税抜)				入数	製品寸法図	材質・仕上		
HR-150	ブラック	色	シルバー	アンバー	ホワイ	ブラック (つやあり)		[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー、ホワイ、ブラック(つやあり) [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照		
	NEW	サイズ(mm)	1,800	¥4,900	¥5,100	¥6,200			—	20本
		注文コード	072711	072714	072730	—			—	
		2,700	¥7,350	¥7,650	¥9,300	—			—	10本
		注文コード	072712	072715	072731	—			—	
		3,600	¥9,800	¥10,200	¥12,400	—			—	10本
		注文コード	072713	072716	072732	—			—	
		2,000	¥5,400	¥5,700	—	¥8,600			—	20本
		注文コード	070248	070251	—	318004			—	
		3,000	¥8,100	¥8,550	—	—			—	10本
注文コード		070249	070252	—	—	—				
	4,000	¥10,800	¥11,400	—	¥15,500	—	10本			
	注文コード	070250	070253	—	318005	—				

品 番		価 格(税抜)				入数	製品寸法図	材質・仕上		
HR-130	ブラック	色	シルバー	アンバー	ホワイ	ブラック (つやあり)		[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー、ホワイ、ブラック(つやあり) [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照		
	NEW	サイズ(mm)	1,800	¥6,000	¥6,200	¥7,400			—	20本
	注文コード	219450	219453	264400	—	—			10本	
	2,700	¥9,000	¥9,300	¥11,100	—	—			10本	
	注文コード	219451	219454	264401	—	—			10本	
	3,600	¥12,000	¥12,400	¥14,800	—	—			20本	
	注文コード	219452	219455	264402	—	—			10本	
	2,000	¥6,400	¥6,800	—	¥8,600	—			10本	
注文コード	264329	264332	—	318006	—	10本				
3,000	¥9,600	¥10,200	—	—	—	10本				
注文コード	264330	264333	—	—	—	10本				
4,000	¥12,800	¥13,600	—	¥15,500	—	10本				
注文コード	264331	264334	—	318007	—	10本				

品番	色	価格(税抜)	入数
HR-150点検口レール	200	¥1,300	¥1,400
	注文コード	223321	223322
[材質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] $\phi 5.5$ 穴 $\phi 7.5$ 皿 [ねじ穴間隔] 穴数2 両端より60mm			
※ホワイ、ブラックの場合は、定尺品をカットしてください。 ※製品寸法図はHR-150をご参照ください。			

品番	色	価格(税抜)	入数
HR-130点検口レール	200	¥1,500	¥1,600
	注文コード	223467	223468
[材質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] $\phi 5.5$ 穴 $\phi 7.5$ 皿 [ねじ穴間隔] 穴数2 両端より60mm			
※ホワイ、ブラックの場合は、定尺品をカットしてください。 ※製品寸法図はHR-130をご参照ください。			

品番・製品寸法図	色	価格(税抜)	入数
HR-110 	1,800	¥3,300	¥3,400
	注文コード	072686	072689
	2,700	¥4,950	¥5,100
	注文コード	072687	072690
SD-1100 NEW 	3,600	¥6,600	¥6,800
	注文コード	072688	072691
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] $\phi 5.5$ 穴 $\phi 7.5$ 皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照			

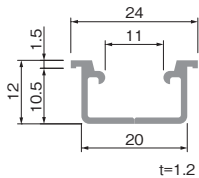
品番・製品寸法図	色	価格(税抜)	入数
SD-1100 NEW 	2,000	¥11,500	¥14,000
	注文コード	313212	313215
	3,000	¥17,250	¥21,000
	注文コード	313213	313216
SD-1100 NEW 	4,000	¥23,000	¥28,000
	注文コード	313214	313217
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] $\phi 5.5$ 穴 $\phi 7.5$ 皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照 ※取付けねじは3.5×30以上を推奨いたします。			
受注生産 ホワイ、ブラックは受注生産となります。			

※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

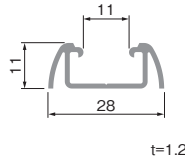
開き戸 金具	1
引戸 金具	2
上吊式 引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動 間仕切 金具	5
室内用 アルミ 金具	6
折戸 金具	7
取手・ 引手	8
スライド 丁番	9
スライド レール ワイヤー バスケット	10
収納・ 吊金具	11
その他の 家具金物	12
物干金具・ 諸金具	13
設計 施工 ガイド	
会社案内	

■レール仕様表

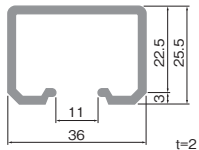
品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HD-001	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	1,820	¥3,100	¥3,700
	注文コード	079015	079018
	2,730	¥4,650	¥5,550
3,640	注文コード	079016	079019
	注文コード	079017	079020
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照			



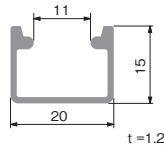
品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HD-002	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	1,820	¥4,000	¥4,800
	注文コード	079025	079028
	2,730	¥6,000	¥7,200
3,640	注文コード	079026	079029
	注文コード	079027	079030
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照			



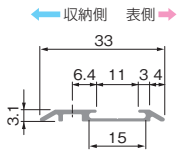
品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HD-03	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	3,640	¥16,800	¥22,900
	注文コード	079024	079048
	ガイドランナーHD-22専用の上部レールです。 [材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5穴 φ8皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照		



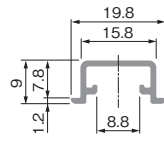
品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HD-05	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	1,820	¥2,900	—
	注文コード	079064	—
	3,640	¥5,800	¥6,000
注文コード	079066	079069	
●上下共通レール [材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5穴 φ8皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照			



品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HD-07	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	1,820	¥3,500	¥3,700
	注文コード	072223	072226
	2,730	¥5,250	¥5,550
3,640	注文コード	072224	072227
	注文コード	072225	072228
[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照			



品番・製品寸法図	色	価 格(税抜)	入数
HDS-02	サイズ(mm)	シルバー	アンバー
	1,820	¥2,500	¥3,000
	注文コード	079301	079304
	[材 質] アルミ押出し材 [仕上げ] シルバー、アンバー [ねじ穴] φ5.5穴 φ7.5皿 [ねじ穴間隔] 427ページ参照		



※「折戸オプション金具」では、折戸用丁番、折戸用ロック、折戸用補助部材、専用工具、専用治具などを紹介していますので、ご参照ください。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

電動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

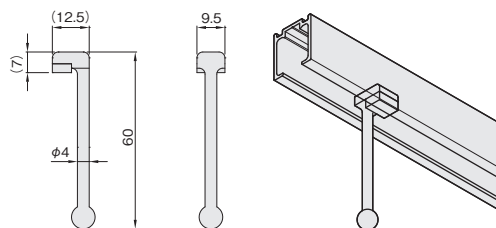
会社案内

レールクリーナー／レールの仕様／スパナ対応表

レールクリーナー No.3



- レール内部のゴミやホコリなどを簡易的に掃除できます。
- 戸の走行性を維持するために、こまめにレール内を掃除してください。



[材 質] ABS 他

価格(税抜)	¥250
注文コード	080002
袋 入 数	1ヶ
梱 入 数	100ヶ

■レール取付け用ねじ穴間隔 および 穴数

ご注意 レール取付け用穴間隔は、製品により差異があります。前もって下穴加工をする際などは、現品にてご確認ください。

レールサイズ (mm)	穴数
900 (910)	4
1800(1820)	7
2000	8
2700(2730)	10
3000	11
3600(3640)	13
4000	14

図1. AFD・HR・SD・HD(HD-07を除く)・HDS

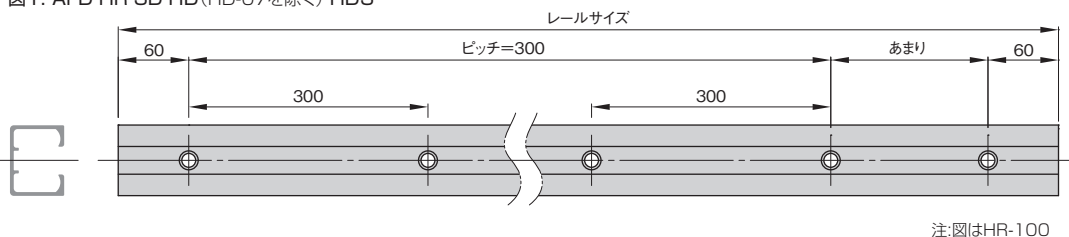
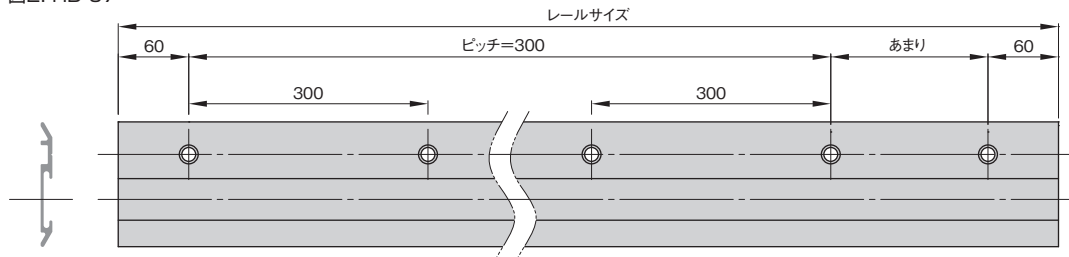


図2. HD-07



■スパナ対応表

スパナ品番	スパナ厚み	呼び	金具品番
AFD-600	3	7	—
		5.5	AFD-2800-K / AFD-2800
スパナ-950	1.6	12	HR-240 / HD-11 / HD-13 / HD-13E / HD-16 / HD-22 / HD-111 / HDS-13
		10	HD-15
		8	HD-15NL / HD-15E / HD-18 / HDS-11
HD-61	3.2	12	HR-240 / HD-11 / HD-13 / HD-13E / HD-16 / HD-22 / HD-111 / HDS-13
		10	HD-15
HDS-60	2.3	12	HR-240 / HD-11 / HD-13 / HD-13E / HD-16 / HD-22 / HD-111 / HDS-13
		8	HD-15NL / HD-15E / HD-18 / HDS-11
SD-610	2.9	12	HR-240 / HD-11 / HD-13 / HD-13E / HD-16 / HD-22 / HD-111 / HDS-13
		7	—

※戸とレールまたは床との隙間によって、使用できるスパナの厚さに違いが出ます。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

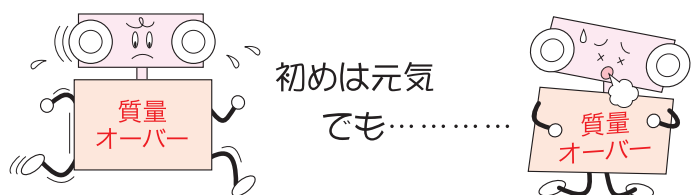
会社案内

折戸金具に関するQ&A

対応範囲について

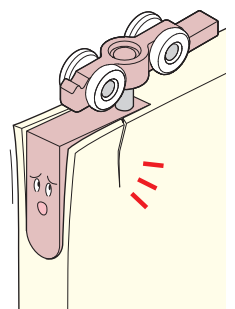
Q1 「折戸1組の総質量」制限を超えた場合は、どうなりますか？

A1 使用条件にある折戸1組の総質量を2、3kgオーバーした程度では折戸の開閉操作で支障を感じる事はありません。
しかし、10kgオーバーともなると、戸の開閉操作が重くなるなどの違いを感じるようになってしまいます。
いずれの場合も、戸を吊り込んだ途端に金具が壊れてしまうという現象は発生しません。しかし、使用条件にある総質量からオーバーする質量が大きくなればなるほど、操作性が悪くなり、金具の劣化が早く進み、寿命が短くなるという現象がおこります。
各システムの使用条件は、金具を長く安心してご使用していただけるように設定されていますので、お守りください。



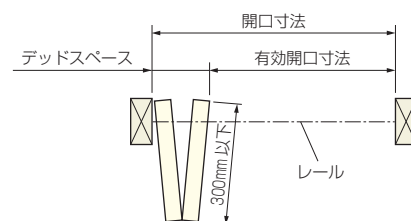
Q2 「戸厚」制限以下の薄い折戸に使用すると、どうなりますか？

A2 戸厚の制限は、取付ける金具自体の寸法・取付ねじの寸法などの条件から設定されています。
そのため、戸厚が使用条件よりも薄い折戸に金具を取付けようとした場合、金具の取付用掘込み加工後の板厚残りが少なくなり、その部分が反ったり割れたりしてしまうことがあります。
また、丁番の取付ねじも短いものに変える必要があるかもしれません。
その場合、取付ねじが短くなった事で丁番を固定する力が弱くなってしまうことがありますので、カタログに記載されている使用条件の範囲内で、ご使用ください。



Q3 折戸1組の最小幅が600mm以上と記載されている機種が多くありますが、600mm未満にすることは可能ですか？

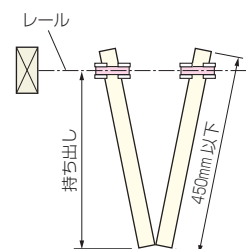
A3 可能です。
ただし、折戸の幅が狭すぎると、開口寸法のわりにデッドスペースが大きく、十分な有効開口寸法がとれなくなります。その他、戸を開閉する際に動きがきゅうくつになり、操作がしづらくなったり、戸を開けた際に丁番のキャッチ機能が働かない角度になることもあるので、その開口に折戸を選択するかの考慮が必要です。



対応範囲について

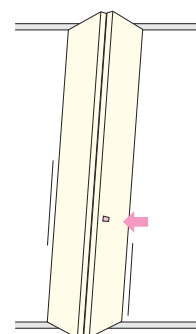
Q4 カタログでは、多くの機種で折戸1組の幅が900mm以下と記載されていますが、どのような理由があるのですか？

A4 折戸の幅が広すぎると戸を折った時(戸を開けた時)にレールからの持ち出しが大きくなり、スムーズな開閉操作ができなくなります。また、金具の劣化が著しくなってくる限界点が1枚あたりの幅が450mm付近であることが分かっています。そのため、使用条件を折戸1枚450mm以下、すなわち1組で900mm以下としています。



Q5 折戸の高さに制限はありますか？

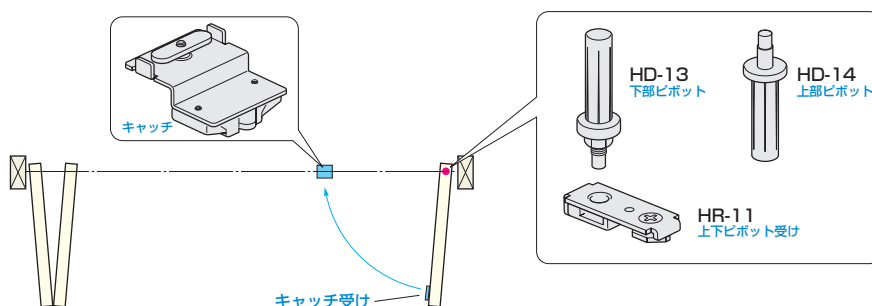
A5 使用条件に戸の高さ制限の記載がないシステムは、特に制限はありません。しかし、使用条件の戸幅・戸厚・総質量の制限を考慮すると、高さは必然的に1,800～2,300mm位に限定されてきます。また、フリーオープンタイプの場合、折戸の高さが高くなりすぎると、相対的に取手の位置が低くなり、折ったままの状態ですぐに戸を動かすときに、折戸が傾き、操作性が悪くなる可能性があります。



金具の選択について

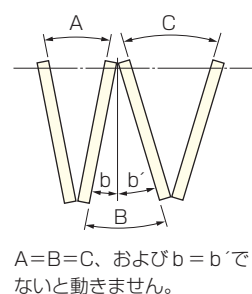
Q1 開口部が1,200mmあるため、折戸1枚の幅が450mmを超えてしまいます。このような場合に使える折戸金具はありますか？

A1 折戸1組で納めたい場合は、SDシステム(392ページ)を使用してください。また、折戸1組と開き戸1枚の組み合わせが使用可能な場合は、「AFDシステムの折戸+開き戸」(369ページ)か「HRシステム 軸吊りハンガー式 折戸+開き戸」(383ページ)か「HDシステムの折戸+開き戸」(395ページ)を使用してください。



Q2 折戸2組を連結して使用することができますか？

A2 使用できません。2組の折戸を連結して使用した場合、2組の折戸が同時に同角度で折れながら開閉する必要がありますが、そのようにはならないため、使用できません。

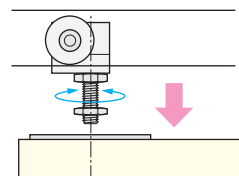


開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

金具の選択について

Q3 HDシステムガイドランナーの吊り車HD-22を2個使い、吊元無しのフリーオープンタイプとして使えますか？

A3 使用できません。
HD-22は吊元固定タイプ専用のガイド部材です。補助的に戸の荷重を受ける吊り車ですので、無理に使用すると、車がスムーズに走行しない、上下調整ボルトが緩んできて戸が傾く、などのトラブルの原因となりますので、絶対に使用しないでください。



Q4 374～391ページのHRシステムで、下部レールはHD-07を使用したいと思っています。下部ガイドとして、HD-71とHD-72を使用することはできますか？

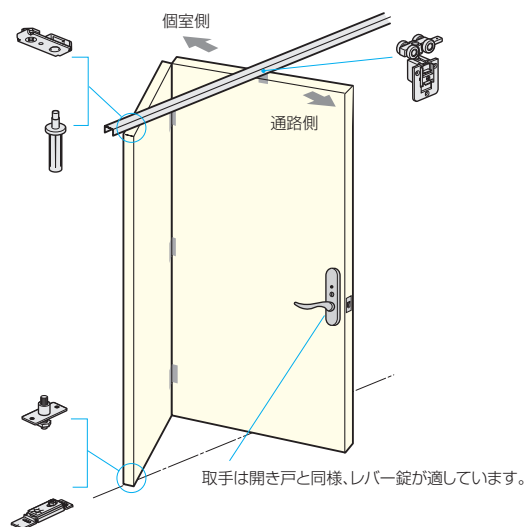
A4 HD-72は吊元固定納まり専用の金具で、吊元仮固定やフリーオープンで使用する、ピボット(HD-71)がスライダー(HD-72)から外れてしまう場合があるため使用できません。383ページの「軸吊ハンガー式」には使用可能です。

Q5 SDシステムのレールSD-1100の中に、異なるシリーズの吊り車HR-220を入れて使用することができますか？

A5 使用できません。
吊り車の車輪の形状とレールの断面形状には密接な関係があり、一番良好な走行状態になるように組み合わせて設計されています。アトム折戸システム金具にはいろいろな種類があり、異なるシステム間のレールと吊り車が、たまたま合うこともありますが、安易にカタログ記載以外の組み合わせで使用されますと、走行不良や故障の原因となります。

Q6 HRシステム引込み折戸(省スペースタイプ)をトイレに使おうと考えていますが、取手は一般的なレバーハンドルの表示錠でも使用可能ですか？

A6 はい、使えます。
引込み折戸の場合は、通常の折戸と違い一般的なレバーハンドル錠の方が適してます。トイレでご使用されるのであれば、レバーハンドルの表示錠が最適です。



取手は開き戸と同様、レバー錠が適しています。



折戸丁番には多くの種類があり、選択に戸惑ってしまうのですが？



折戸の用途や丁番の付加機能から選定します。416ページに、丁番の機能についてのご説明を記載していますので、あわせてご確認ください。

①折戸の使用条件で選択します。

収納折戸で使用する場合

→ 収納折戸用丁番から選択します。

間仕切折戸で使用する場合

→ 間仕切折戸用丁番から選択します。

②吊元固定タイプか、フリーオープンタイプにするかで選択します。

フリーオープンタイプの場合

→ 50°仮ストップ機能付き丁番を選びます。

吊元固定の場合

→ 自由にお選びいただけますが、50°仮ストップ機能がない方が動きがスムーズです。

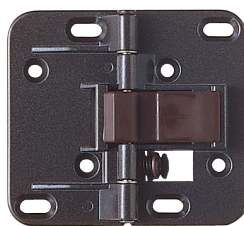
③折戸に掘込み加工をするかしないかにより、丁番を選択します。

掘込み加工タイプの丁番の場合

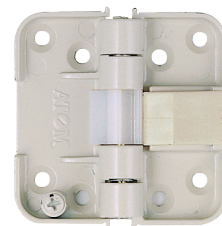
→ あらかじめ工場で掘込み加工を行うことにより、施工現場で丁番の位置決めや取付けがスピーディにできるという効果があります。

掘込み加工を必要としない丁番の場合

→ 掘込み加工の手間がかかりません。そのかわり、丁番の位置決めでは目安がありませんので、位置決めがしにくい場合があります。



収納用裏面直付け丁番
(キャッチ付き、50°仮ストップ付き)



木口掘込付け丁番
(キャッチ付き、50°仮ストップ付き)

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

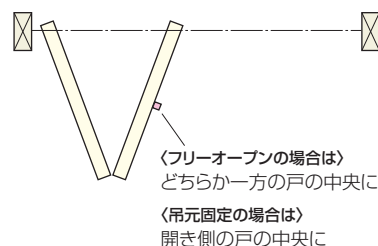
設計
施工
ガイド

会社案内

設計に関して

Q1 折戸の開閉操作がし易い取手の取付け位置を教えてください。

A1 折戸の開閉操作が最も易い取手の取付け位置は、床から900mm～1,000mmの位置で、折戸丁番が取付けられている折戸連結部の近くになります。ただしこの位置に取付けると、折戸を閉める時に指が挟まれる危険性があります。
指挟み防止対策のとられていない一般的な取手やツマミを使用する場合は、多少操作性は犠牲になりますが、床から900mm～1,000mmの位置で、フリーオープンの場合はどちらか一方の折戸の、吊元固定の場合は開き側の折戸の、幅方向中心位置に取付けることが多いようです。



Q2 AFD-2800-Kは、木口から30mmのところを取付けることになっていますが、この位置を短くしたり長くするとどうなりますか？

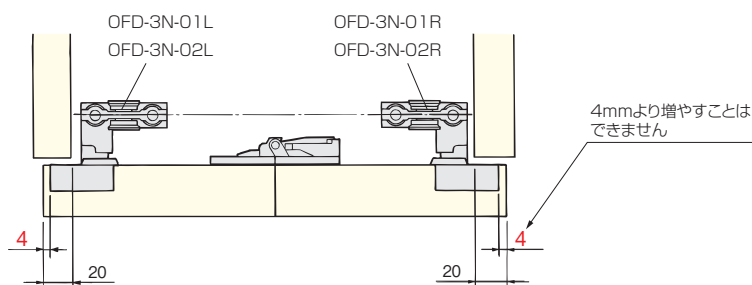
A2 短くすると、吊元仮固定用キャッチ (AFD-3110-HR-300-HD-74) が使用できなくなります。長くすると、レールの反対側に突出する量が多くなり、収納部である場合は、内側に設置してあるものに接触することがあります。

Q3 折戸用丁番をHD-35 (裏面付け) からHD-37 (木口付け) に変更したいのですが、可能ですか？

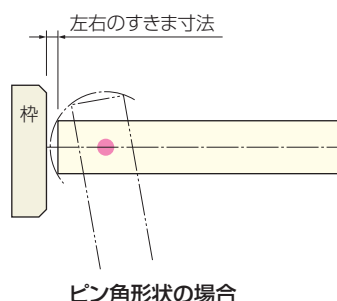
A3 戸厚により対応可能です。
HD-37は木口付けで、戸厚が30mm以上である事が必須条件となります。併せて左右の隙間寸法が変動するため、再度、隙間寸法を計算する必要があります。木口付け丁番の方が、隙間寸法が少なくなるため、裏面付け丁番の隙間寸法を流用しても差し支えはありません。

Q4 OFD-3Nシステム (アウトセット折戸金具) では、上部吊り車や下部ガイドのカップ掘込み位置を戸端より4mmとカタログに記載されていますが、この寸法をもっと大きく、例えば10mmぐらいにすることはできますか？

A4 できません。
戸端よりのカップ掘込み位置を4mmより増やすと、戸を開ける時に枠に戸がぶつかったり、上部吊り車や下ガイドのスライド丁番部分に戸がぶつかったりして、戸を開けることができなくなります。

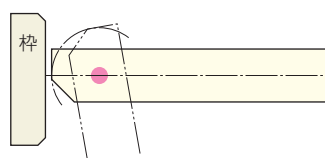


Q5 戸と枠の左右のすきま寸法は、どのように設定すればよいでしょうか？

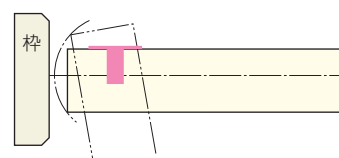


ピン角形状の場合

A5 折戸を開閉させるには、戸が回転する際に枠に当たらないようにするためのすきまが必要になりますが、木口の角の形状や、回転軸となる金具の位置関係によって必要なすきま寸法はさまざまとなります。
当カタログの「設計ガイド」ページ、「左右のすきま設定」に記載の表の値は、折戸の木口形状が「ピン角形状の場合」での参考値となります。左右のすきま寸法を設定する際は、実際の納まりや、枠や戸の反りなどを考慮のうえ、この値に余裕のある寸法をプラスして設定してください。



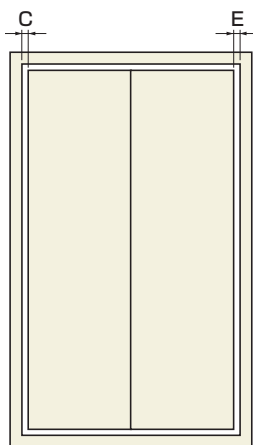
面取り加工・R加工の場合
すきま寸法を小さくできる



裏面付け吊り車の場合
すきま寸法が大きくなる

■表記追加 (25/07/01)

Q6 4組(8枚)の折戸を、両サイドの2組は吊元固定タイプに、中間の2組はフリーオープンタイプにしたいと思っています。このときの隙間寸法の設定方法を教えてください。金具はAFDシステムAFD-2700を考えています。



●左右のすきま設定 (折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E (フリーオープンで吊元固定用キャッチを使用しない場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.8	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

C+E (吊元固定の場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」には、枠や折戸の仕上り寸法精度・現場の水平精度などは考慮されていませんので、この分を設計される際に見込んでいただく必要があります。

A6 ご質問のような組み合わせは、折戸を3組以上使用する場合に、多く見られます。

①両サイド2組の吊元固定タイプに必要な隙間を調べます。

カタログの「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」の表「吊元固定タイプの場合の吊元側すきま寸法」から、戸厚に応じた寸法を選びます。吊元が2ヶ所ありますから、選んだ「吊元側すきま寸法」を2倍したものが、吊元の隙間寸法となります。

【例】戸厚33mmの場合

吊元側すきま寸法=5.0mm、吊元が2ヶ所ありますから
5.0mm×2=10.0mmとなります。

②中間2組のフリーオープンタイプに必要な隙間を調べます。

カタログの「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」の表「C+E(フリーオープンタイプの場合)」から、戸厚と戸幅に応じた寸法を選びます。この寸法がフリーオープンタイプに必要な隙間寸法となります。
フリーオープンタイプの場合、フリーオープンタイプ折戸が何組になっても、一組分の隙間寸法を確保すれば開閉できます。

【例】戸厚33mm・戸幅400mmの場合

C+E(フリーオープンタイプの場合)=4.4mm

③2組分の吊元固定タイプに必要な隙間とフリーオープンタイプに必要な隙間を合算します。これで必要な隙間寸法が求められました。

【例】10.0mm+4.4mm=14.4mm

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2700-K 30kg以下/AFD-2700 20kg以下

◇戸の厚さ:30mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm

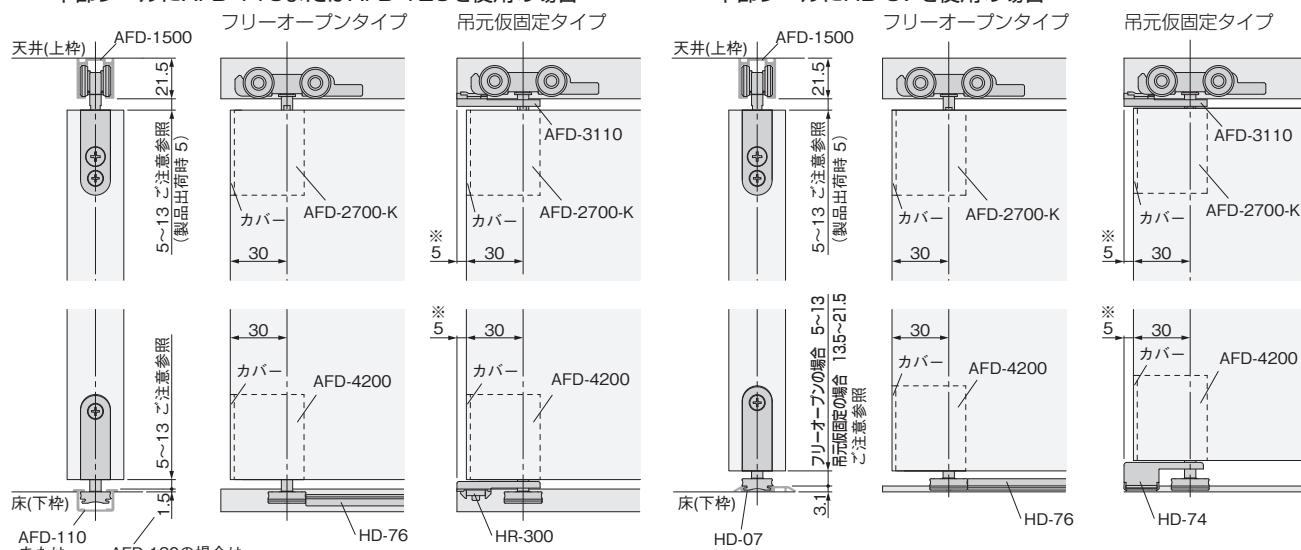
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

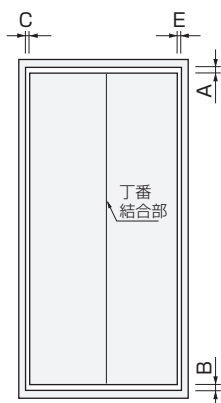
下部レールにAFD-110またはAFD-120を使用の場合

下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5~13

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

AFD-110またはAFD-120の場合=5~13

HD-07でフリーオープンの場合=5~13

HD-07で吊元仮固定の場合=13.5~21.5

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.8	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

C+E(吊元固定の場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法、あるいは最大値どうしを足した寸法に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法 にしていただき、

AFD-110またはAFD-120の場合: 10mm<上下のすきま<26mm

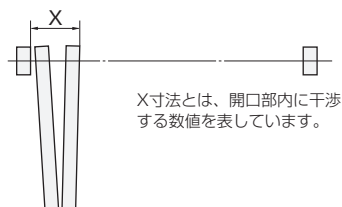
HD-07でフリーオープンの場合: 10mm<上下のすきま<26mm

HD-07で吊元仮固定の場合: 18.5mm<上下のすきま<34.5mm

の範囲で設定してください。

すきま寸法は、枠や床のたわみや戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部に干渉する数値を表しています。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合

$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 114\text{mm}$$

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合

$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 156\text{mm}$$

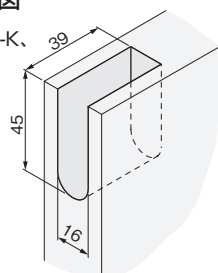
●吊元仮固定タイプの場合

$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 116\text{mm} + \text{吊元すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番HD-37」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

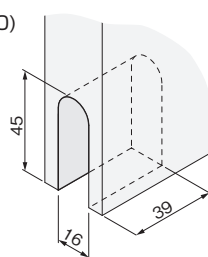
上部吊り車(AFD-2700-K、AFD-2700)の取付け加工寸法



ご注意

本加工図はカバーを含む寸法です。

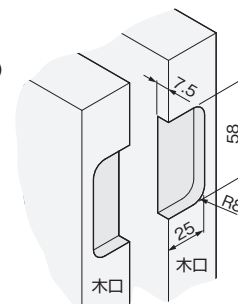
下部ガイド(AFD-4200)の取付け加工寸法



ご注意

本加工図はカバーを含む寸法です。

間仕切用丁番(HD-37)の取付け加工寸法

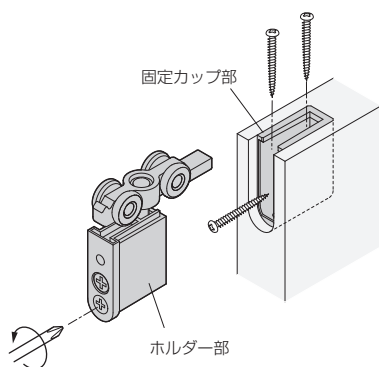


施工ガイド

■金具の取付け方法

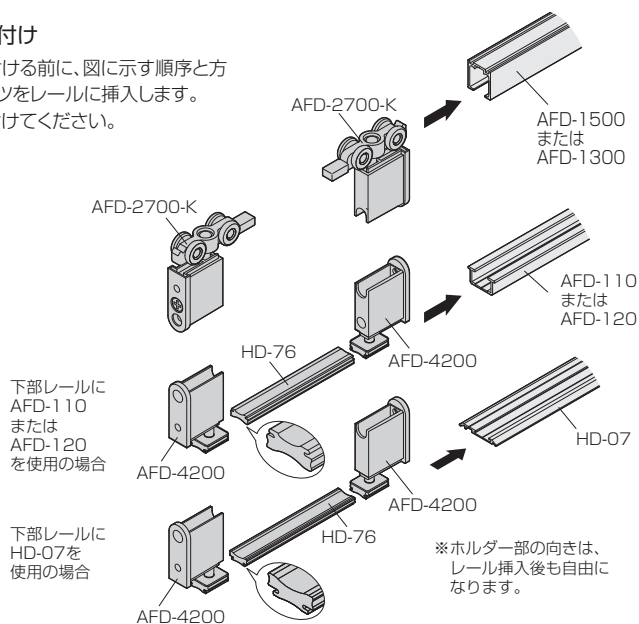
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の木口に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、それぞれの結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の木口加工部に取付けてください。

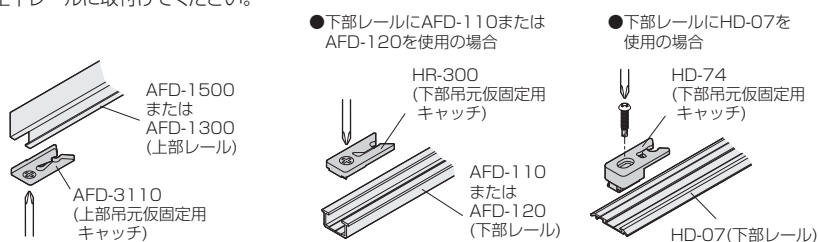


2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す順序と方向で、各パーツをレールに挿入します。
- ② レールを取付けてください。

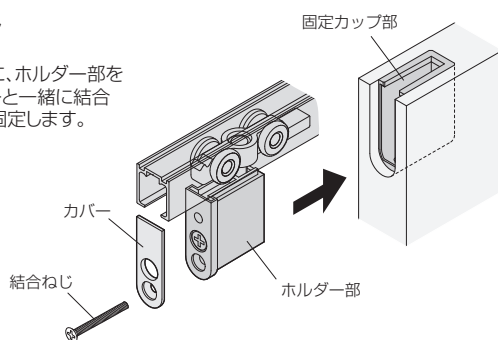


- ③ 吊元仮固定用キャッチを使用する場合は、上下レールに取付けてください。



■戸の吊込み

- ① 固定カップ部に、ホルダー部を差込み、カバーと一緒に結合ねじを締めて固定します。



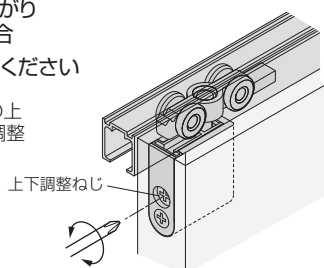
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

➡ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。

※ 調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。



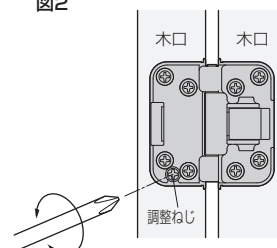
閉時に、戸が[図1]のように蛇行している場合

➡ 丁番で、蛇行修正をしてください

- ① 戸を開けた状態で、[図2]のように丁番に付いている調整ねじを回すと蛇行修正ができます。



図2

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下

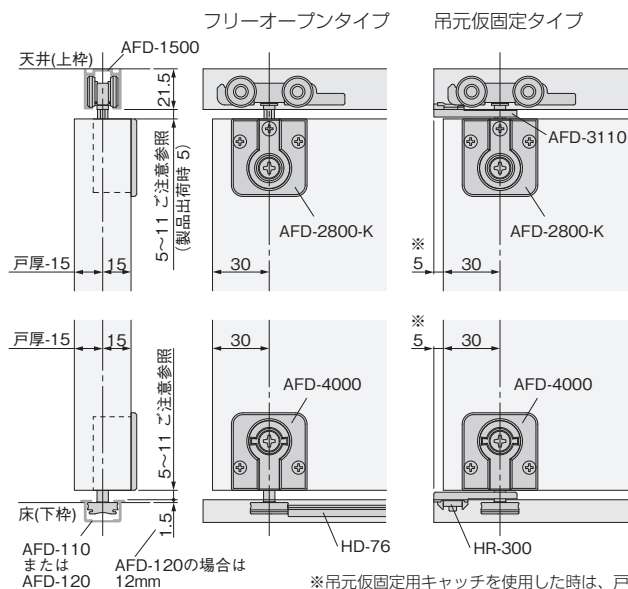
◇戸の厚さ:24mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

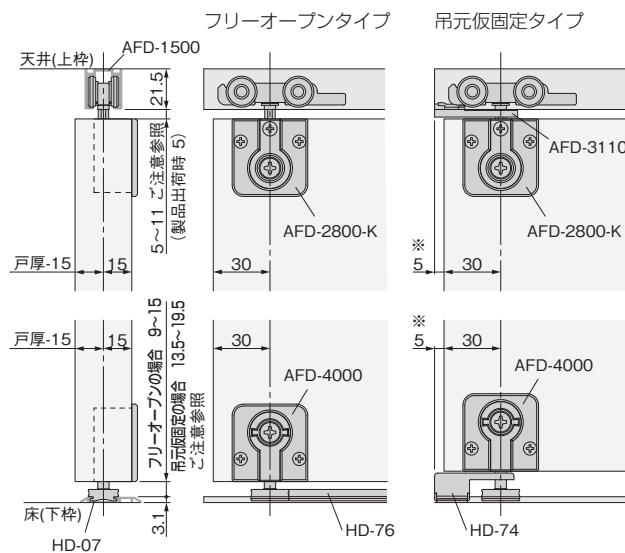
設計ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにAFD-110またはAFD-120を使用の場合

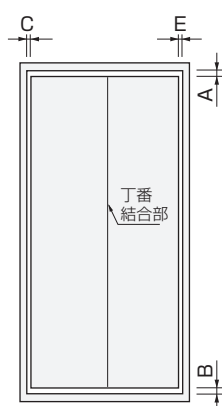


下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～11

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

AFD-110またはAFD-120の場合=5～11

HD-07でフリーオープンの場合=9～15

HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～19.5

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	2.7	2.4
27	3.2	2.8
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法、あるいは最大値どうしを足した寸法に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法 にしていただき、

AFD-110またはAFD-120の場合: 10mm<上下のすきま<22mm

HD-07でフリーオープンの場合: 14mm<上下のすきま<26mm

HD-07で吊元仮固定の場合: 18.5mm<上下のすきま<30.5mm

の範囲で設定してください。

すきま寸法は、枠や床のたわみや戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C+E(吊元固定の場合)

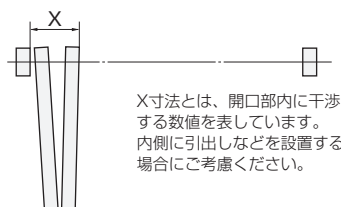
戸厚/戸幅	400	450
24	6.4	6.2
27	6.6	6.4
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚 C(またはE)	
24	5.0
27	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

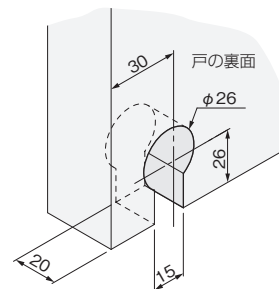
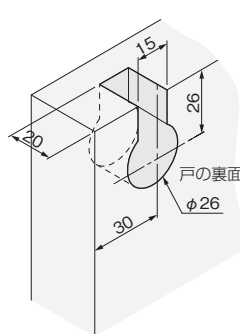
●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合
X=戸厚+98mm●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合
戸厚24～38mmの場合 X=戸厚+140mm
戸厚39～40mmの場合 X=戸厚×2+101mm●吊元仮固定タイプの場合
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け加工寸法

下部ガイド(AFD-4000)の取付け加工寸法

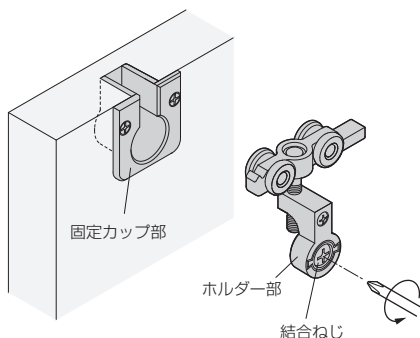


施工ガイド

■金具の取付け方法

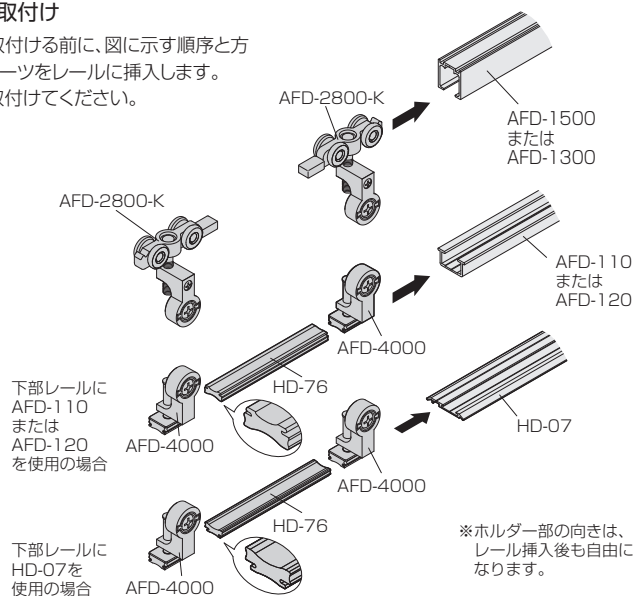
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、それぞれの結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。

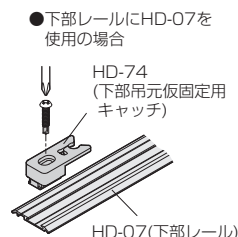
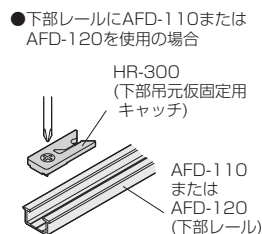
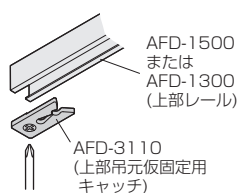


2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す順序と方向で、各パーツをレールに挿入します。
- ② レールを取付けてください。

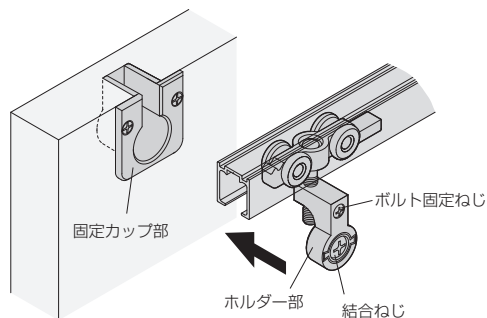


- ③ 吊元板固定用キャッチを使用する場合は、上下レールに取付けてください。



■戸の吊込み

- ① 固定カップ部に、ホルダー部を差込み、結合ねじとボルト固定ねじを締めて固定します。



ご注意

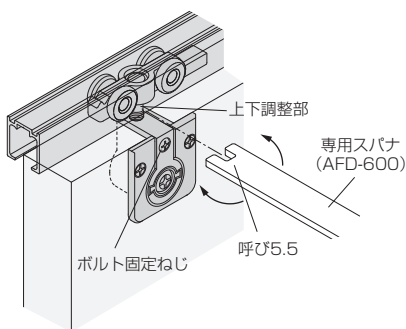
戸の吊込み後は必ずボルト固定ねじを締め付けてください。ボルト固定ねじを締めないと、戸が傾いたり脱落するおそれがあります。

■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったまま、ボルト固定ねじをゆるめてからホルダー部の上下調整部を専用スパナ (AFD-600) で回すと、戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。



ご注意

調整後は必ずボルト固定ねじを締め付けてください。ボルト固定ねじを締めないと、戸が傾いたり脱落するおそれがあります。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

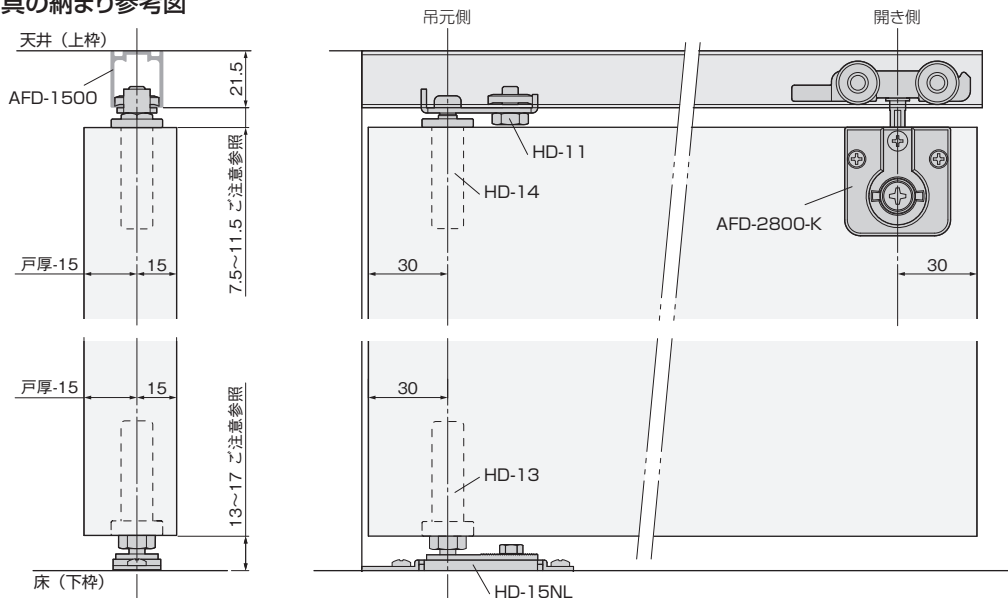
会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下／AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ:29mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

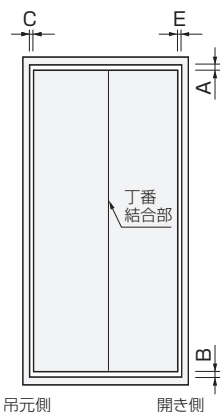
設計ガイド

■金具の納まり参考図



※下部ピボットにHD-16をご使用の場合は、804ページの下部ピボット部をご参照ください(対応戸厚は26mm以上になります)。

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5

B=床と戸の間のすきま寸法=13～17

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E

使用丁番:HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
26	4.9	4.5	4.2	3.9
30	6.9	6.4	6.0	5.7
33	8.7	8.1	7.7	7.4
35	10.0	9.4	9.0	8.7
40	13.6	13	12.5	12.1

C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
26	2.0
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

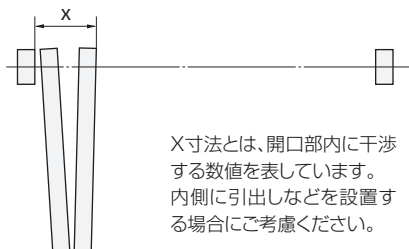
※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=20.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=28.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、20.5mm<上下のすきま<28.5mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



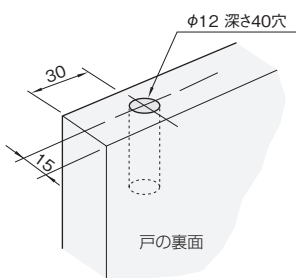
X=91mm+戸厚+吊元側すきま寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

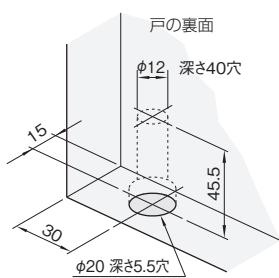
※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

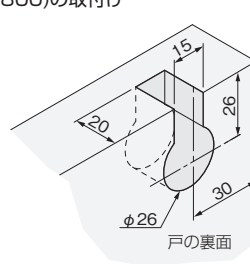
上部ピボット(HD-14)の取付け



下部ピボット(HD-13)の取付け



上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け

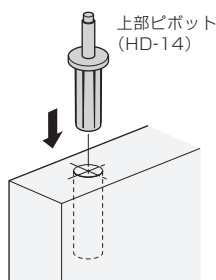


施工ガイド

■金具の取付け方法

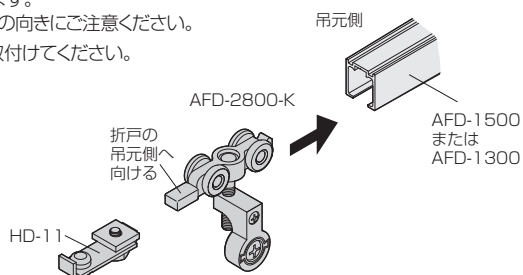
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、下部ピボット(HD-13)、上部ピボット(HD-14)を挿入します。
- ③ 上部吊り車は、結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ④ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。



2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す順序と方向で、各パーツをレールに挿入します。
※上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② レールを取付けてください。



■戸の吊込み

- ① ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15NL)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボット(HD-13)を下部ピボット受け金具(HD-15NL)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボット(HD-14)を上部レール内のピボット受け金具(HD-11)に入れます。
- ④ 戸の開き側に取付けてある固定カップ部に、上部吊り車のホルダー部を差し込み、結合ねじを締めて固定します。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください(図3)。

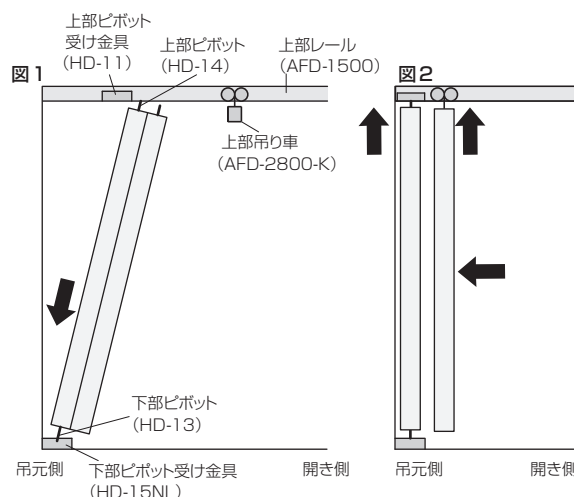
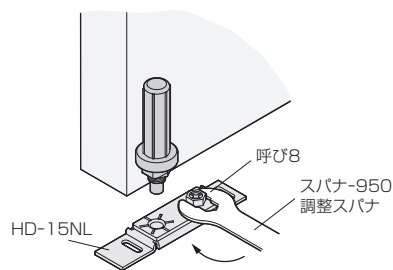


図3

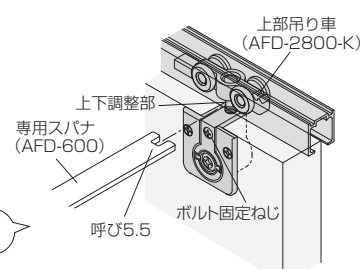
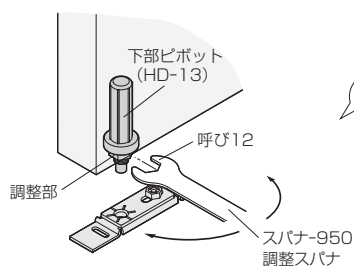
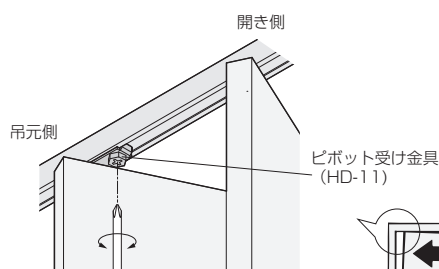


■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→各金具の調整部で、上下・左右の調整をしてください

- ① 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。



- ① 戸を吊ったまま、ボルト固定ねじをゆるめてからホルダー部の上下調整部を専用スパナで回すと、戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。

ご注意

調整後は必ずボルト固定ねじを締め付けてください。ボルト固定ねじを締めないと、戸が傾いたり脱落するおそれがあります。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

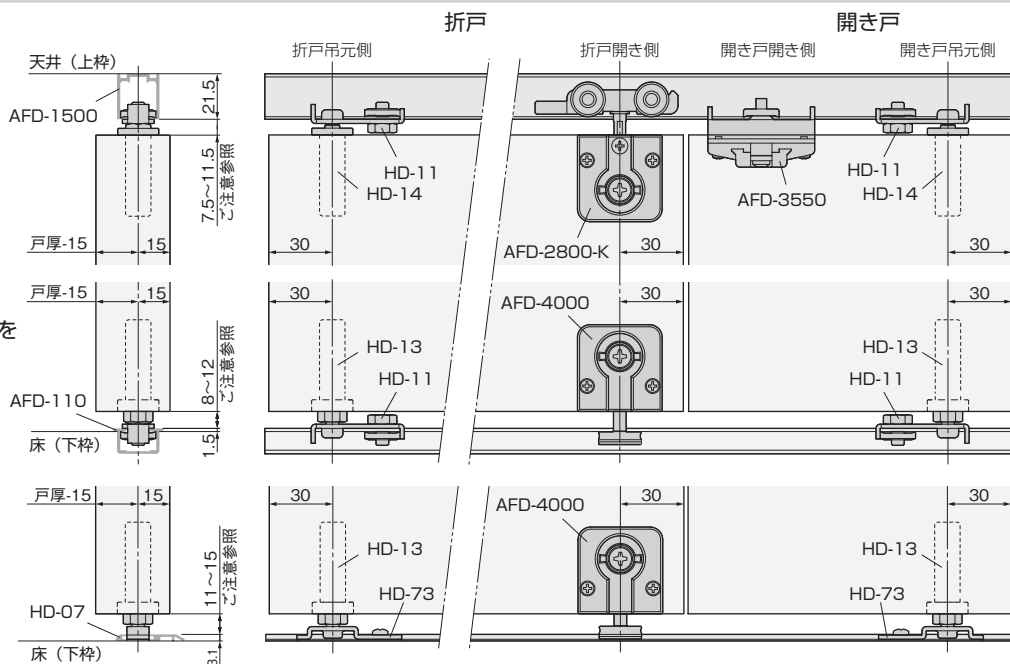
使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ:29mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

※図は折戸+開き戸を示します。

下部レールにAFD-110を
使用の場合下部レールにHD-07を
使用の場合

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

AFD-110またはAFD-120の場合=8～12

HD-07の場合=11～15

●左右のすきま設定(左図の組合せの場合)

※下表は戸が回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E+F

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	10.4	9.9	9.5	9.2
33	13.7	13.1	12.7	12.4
35	16.1	15.5	15.1	14.8
40	22.7	22.1	21.6	21.2

E(折戸と開き戸のすきま寸法)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	3.4	2.9	2.5	2.2
33	3.7	3.1	2.7	2.4
35	3.9	3.3	2.9	2.6
40	4.5	3.9	3.4	3.0

C=F(吊元側すきま寸法)

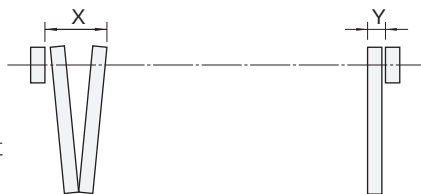
戸厚	C=F
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX・Y寸法

X・Y寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。



X=91mm+戸厚+吊元側すきま寸法

Y=45mm+吊元側すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

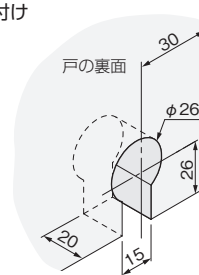
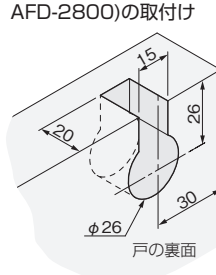
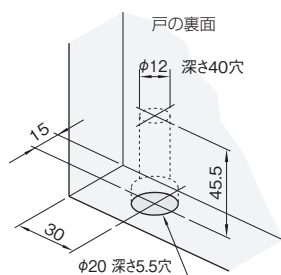
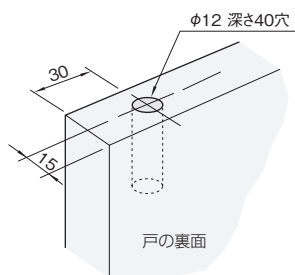
■戸の加工寸法参考図

上部ピボット(HD-14)の取付け

下部ピボット(HD-13)の取付け

上部吊り車(AFD-2800-K、
AFD-2800)の取付け

下部ガイド(AFD-4000)の取付け

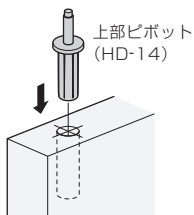


施工ガイド

■金具の取付け方法

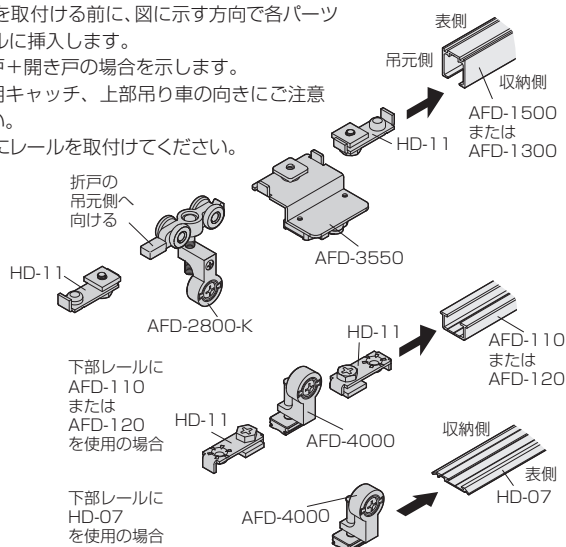
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、下部ピボット (HD-13)、上部ピボット (HD-14) を挿入します。
※ 下部ピボットに HD-13 を使用する場合は、前ページの加工寸法参考図通りの 2 段加工穴が必要となります (専用工具も用意してあります)。
- ③ 上部吊り車は、結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ④ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。



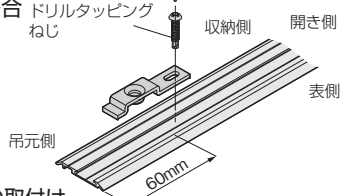
2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で各パーツをレールに挿入します。
※ 図は折戸 + 開き戸の場合を示します。
※ 開き戸用キャッチ、上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② 上下枠にレールを取付けてください。



3. 下部レールに HD-07 を使用の場合 下部ピボット受け金具の取付け

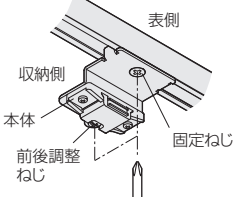
- ① ピボット受け金具 (HD-73) を下部レールに添付ねじで止めます。



4. 開き戸用キャッチ (AFD-3550) の取付け 〔折戸 + 開き戸〕にする場合

- ① ストライクを開き戸の収納側にねじ止めします。
- ② 開き戸用キャッチ本体の固定ねじをドライバーで締め付け、固定します。
- ③ 前後調整ねじにより、戸厚に対する調整をしてください。

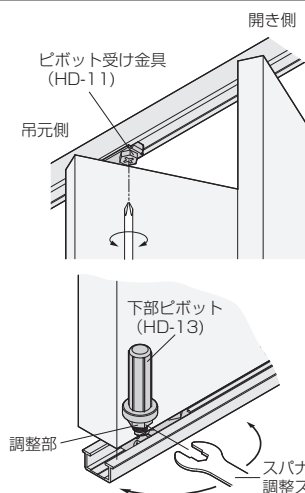
※ 戸の吊込みは、折戸の吊込みに準じてください。
※ レールに後付けはできません。



■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
▶ 各金具の調整部で、上下・左右の調整をしてください

- ① 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
※ 調整時に戸を持ち上げると、調整がしやすい場合があります。



■戸の吊込み

- ① 上部ピボット受け金具はレールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具 (HD-11 または HD-73) よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットを下部ピボット受け金具 (HD-11 または HD-73) に入れます (図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てながら、上部ピボットを上部ピボット受け金具 (HD-11) に入れます。
- ④ 戸の開き側に付けてある固定カップ部に、上部吊り車と下部ガイドのホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定します。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をドライバーでしっかりと固定してください (図3)。

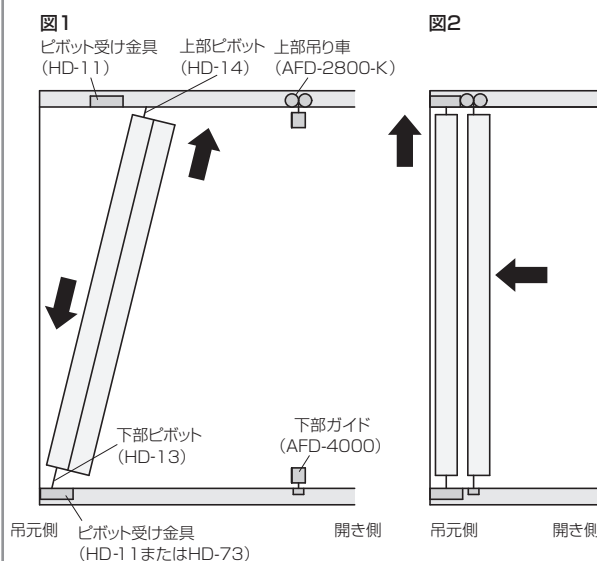
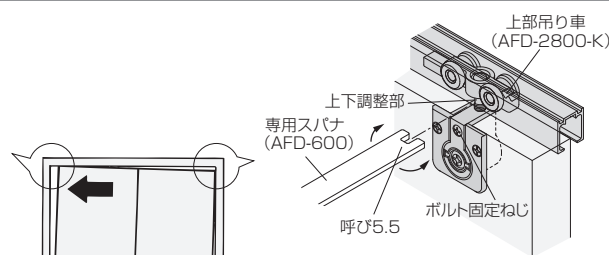
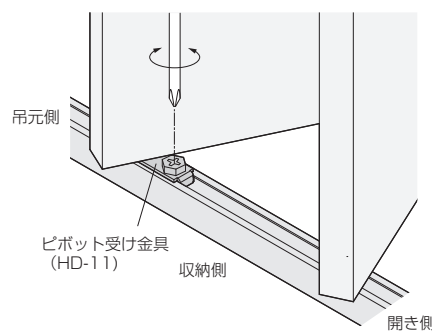


図3



- ① 戸を吊ったまま、ボルト固定ねじをゆるめてからホルダー部の上下調整部を専用スパナで回すと、戸の上下調整ができます。
※ 調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。

ご注意

調整後は必ずボルト固定ねじを締め付けてください。ボルト固定ねじを締めないと、戸が傾いたり脱落するおそれがあります。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:26mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。

折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

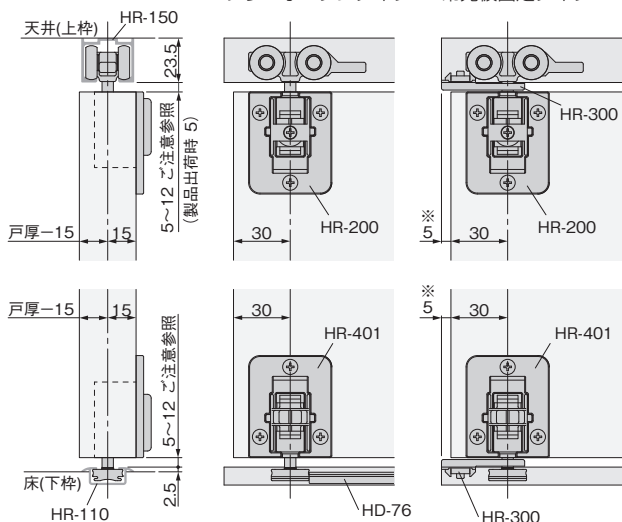
設計ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにHR-110を使用の場合

フリーオープンタイプ

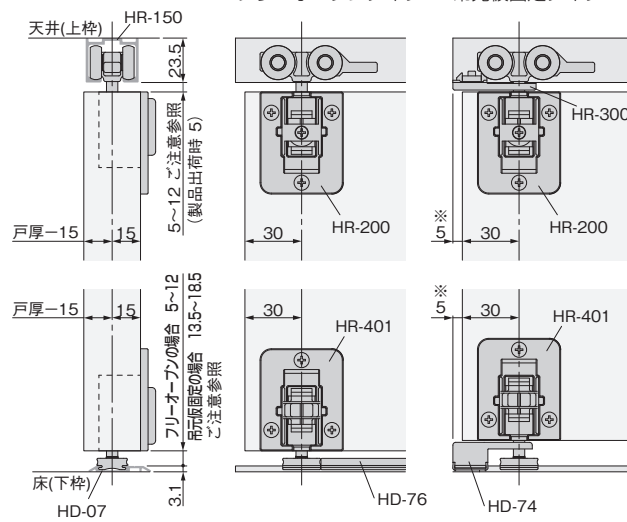
吊元仮固定タイプ



下部レールにHD-07を使用の場合

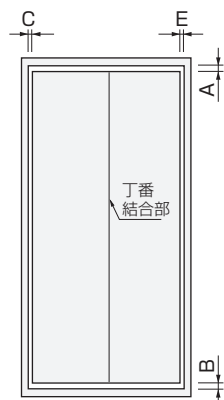
フリーオープンタイプ

吊元仮固定タイプ



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

HR-110の場合=5～12

HD-07でフリーオープンの場合=5～12

HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～18.5

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)

使用丁番:HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	3.0	2.6
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=24mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(ただし、HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合:
10mm<上下のすきま<24mm
HD-07で吊元仮固定の場合:18.5mm<上下のすきま<30.5mm)

すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C+E(吊元固定の場合)

使用丁番:HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	7.2	6.9
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

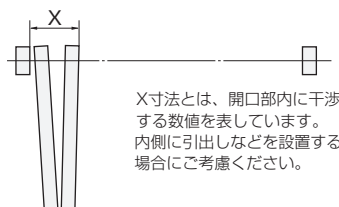
CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
26	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合

戸厚26～35mmの場合 X=戸厚+92mm

戸厚36～40mmの場合 X=戸厚×2+57mm

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合

戸厚26～33mmの場合 X=戸厚+134mm

戸厚34～40mmの場合 X=戸厚×2+101mm

●吊元仮固定タイプの場合

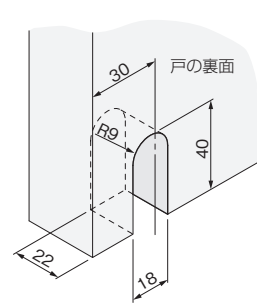
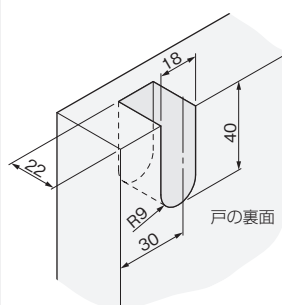
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(HR-200)の取付け加工寸法

下部ガイド(HR-401)の取付け加工寸法

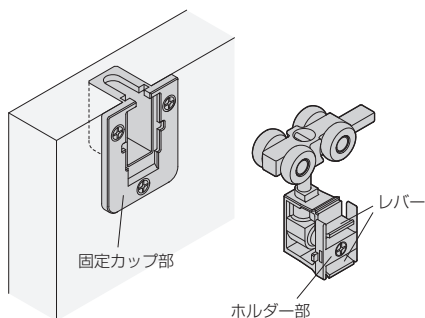


施工ガイド

■金具の取付け方法

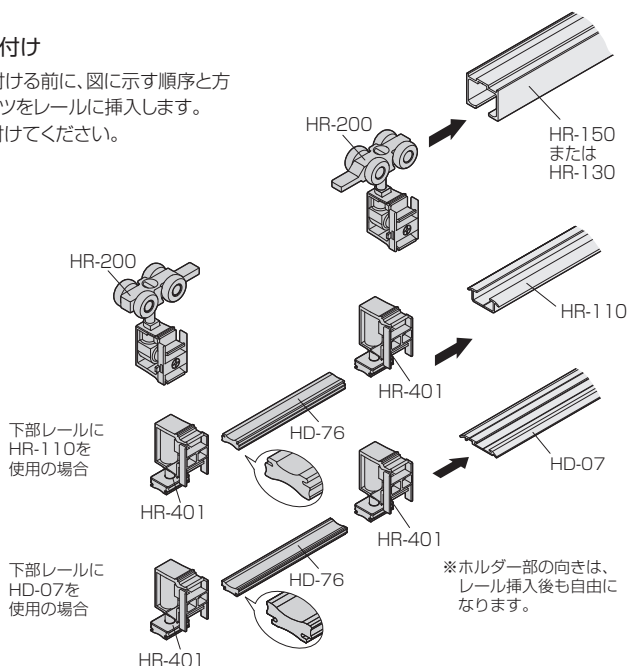
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、ホルダー部のレバーをつまんで引き出し、固定カップ部より分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。

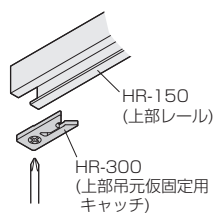


2. レールの取付け

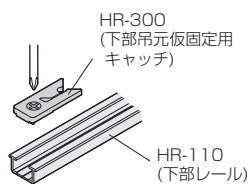
- ① レールを取付ける前に、図に示す順序と方向で、各パーツをレールに挿入します。
- ② レールを取付けてください。



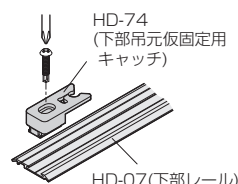
- ③ 吊元仮固定用キャッチを使用する場合は、上下レールに取付けてください。



- 下部レールにHR-110を使用の場合

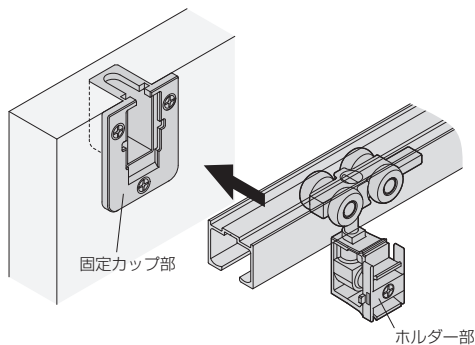


- 下部レールにHD-07を使用の場合



■戸の吊込み

- ① 固定カップ部に、上部吊り車および下部ガイドのホルダー部をしっかりと差込みます。
- ※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。

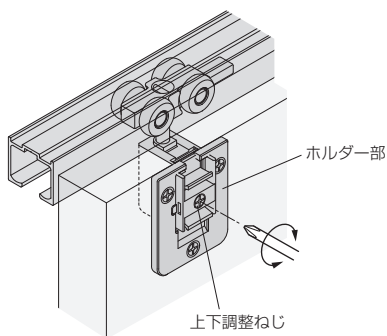


■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

➡ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。



開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
レール
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

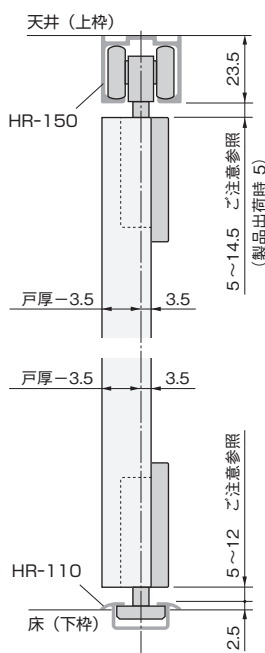
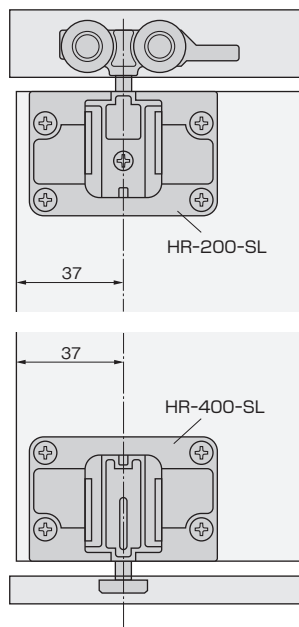
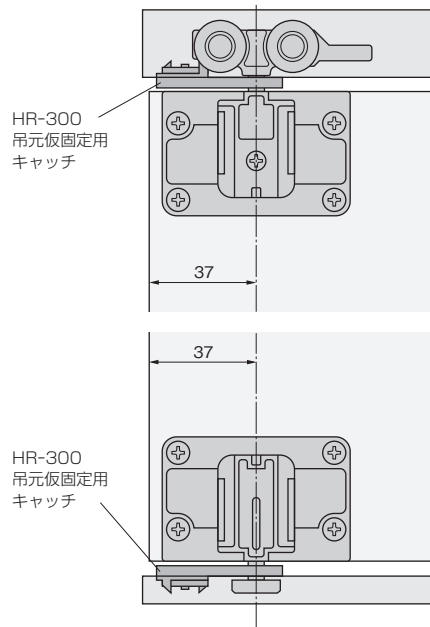
会社案内

使用条件

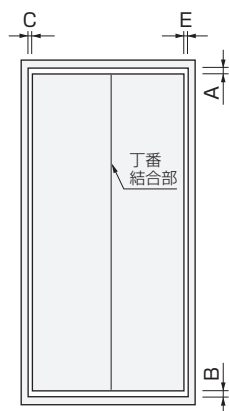
◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm～26mm ◇折戸1組の戸幅:800～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

フリーオープンタイプ
(吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)吊元仮固定タイプ
(吊元仮固定用キャッチを使用する場合)

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～14.5

B=下部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンタイプで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
20	2.0	1.8
23	2.5	2.2
26	3.0	2.6

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から37mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

C+E(吊元固定の場合)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
20	4.6	4.5
23	6.1	5.9
26	7.7	7.6

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

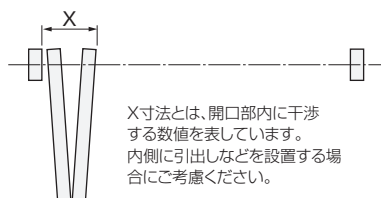
戸厚	C (またはE)
20	3.5
23	4.8
26	6.3

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どしを足した寸法(=10mm)、あるいは最大値どしを足した寸法(=26.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、10mm<上下のすきま<26.5mm)
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご確認ください。

●吊元仮固定用キャッチを使用しない場合

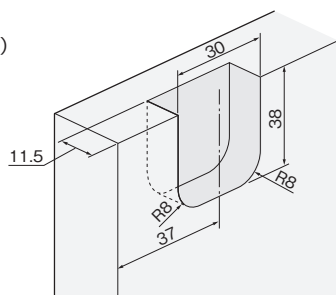
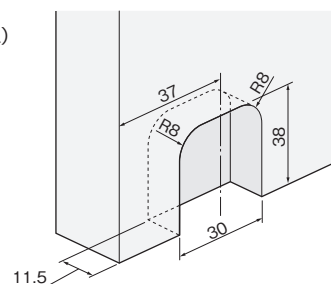
X=戸厚+104mm

●吊元仮固定用キャッチを使用する場合

X=戸厚+118mm+吊元側すきま寸法

※上記計算式は、「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から37mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

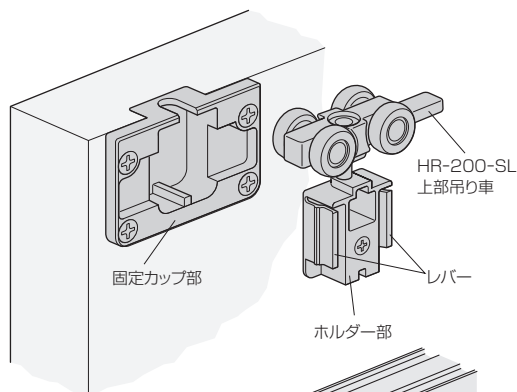
上部吊り車 (HR-200-SL)
の取付け加工寸法下部ガイド (HR-400-SL)
の取付け加工寸法

施工ガイド

■金具の取付け方法

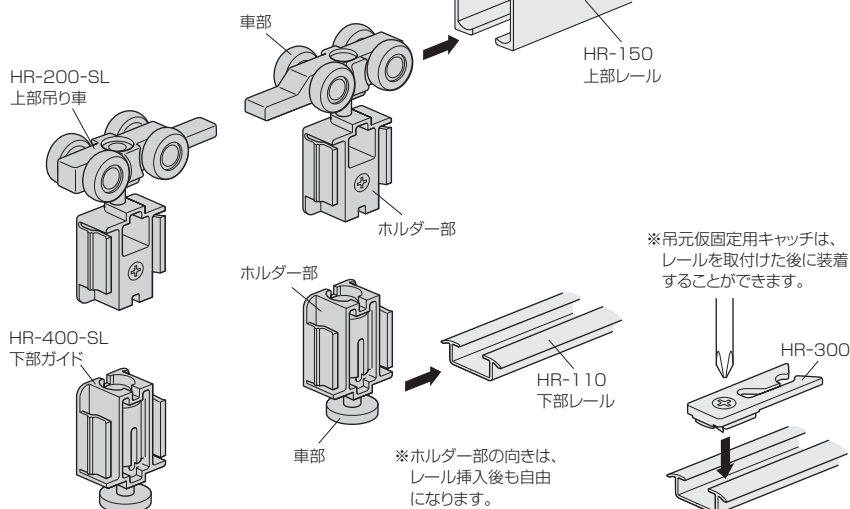
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、ホルダー部のレバーをつまんで引き出し、固定カップ部より分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。



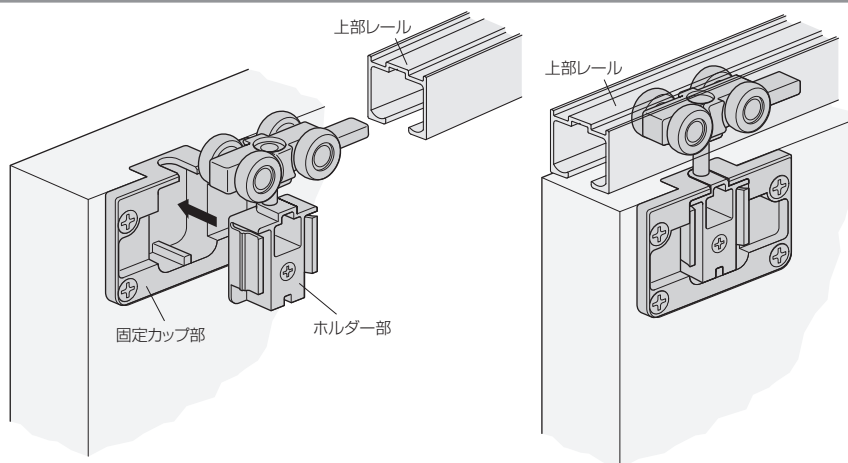
2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車および下部ガイドの車部をレール内に挿入します。
- ② 上下枠にレールを取付けてください。
- ③ 吊元仮固定用キャッチを使用する場合は、上下レールに装着してください。



■戸の吊込み

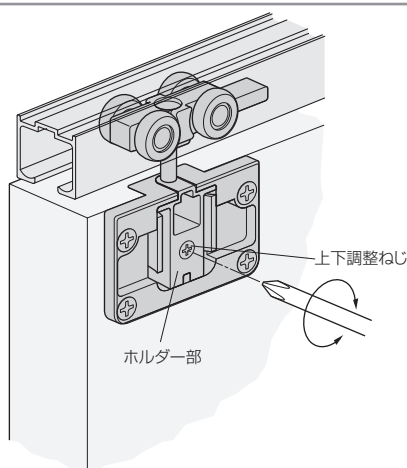
- ① 固定カップ部に、上部吊り車および下部ガイドのホルダー部をしっかりと差込みます。
- ※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
 ➡ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

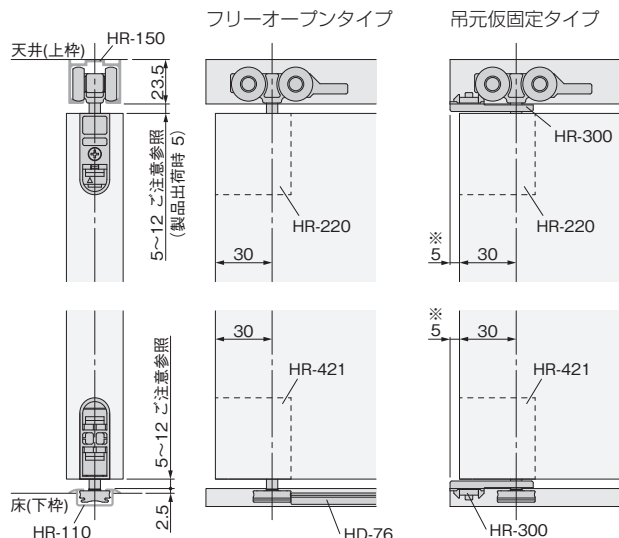
使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

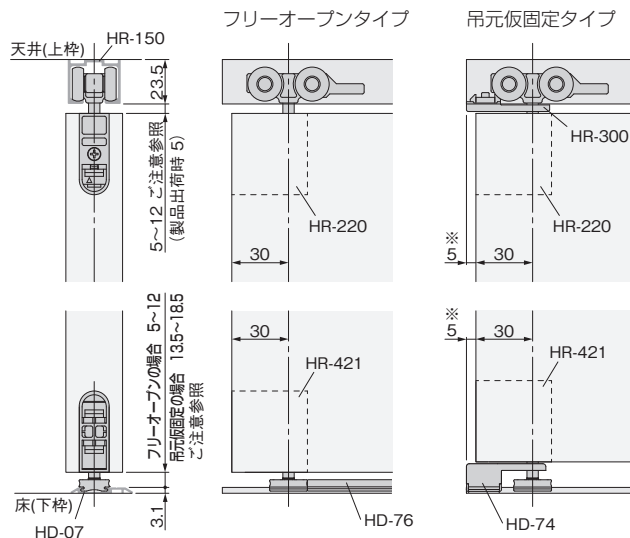
設計ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにHR-110を使用の場合

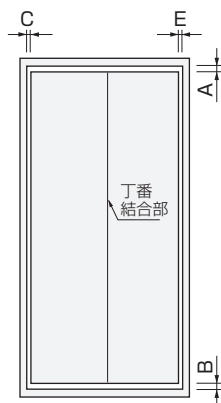


下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

HR-110の場合=5～12

HD-07でフリーオープンの場合=5～12

HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～18.5

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E (フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.8	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

C+E (吊元固定の場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

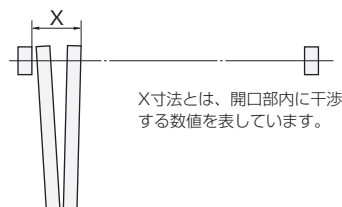
■表記追加 (25/07/01)

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どちらを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どちらを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=24mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(ただし、HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合:
10mm<上下のすきま<24mm
HD-07で吊元仮固定の場合:18.5mm<上下のすきま<30.5mm)
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合

$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 108\text{mm}$$

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合

$$\text{戸厚}30\sim36\text{mmの場合 } X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 150\text{mm}$$

$$\text{戸厚}37\sim40\text{mmの場合 } X = \text{戸厚} + 132\text{mm}$$

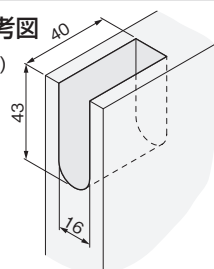
●吊元仮固定タイプの場合

$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 116\text{mm} + \text{吊元すきま寸法}$$

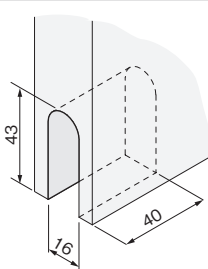
※上記計算式は「使用丁番HD-37」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

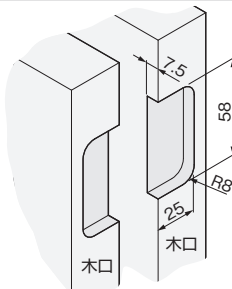
上部吊り車(HR-220)の取付け加工寸法



下部ガイド(HR-421)の取付け加工寸法



間仕切用丁番(HD-37)の取付け加工寸法

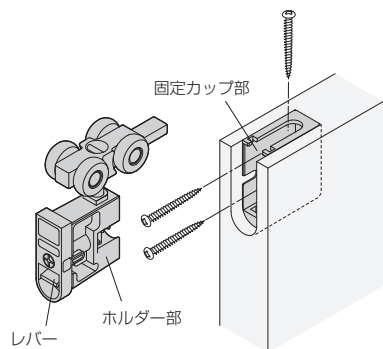


施工ガイド

■金具の取付け方法

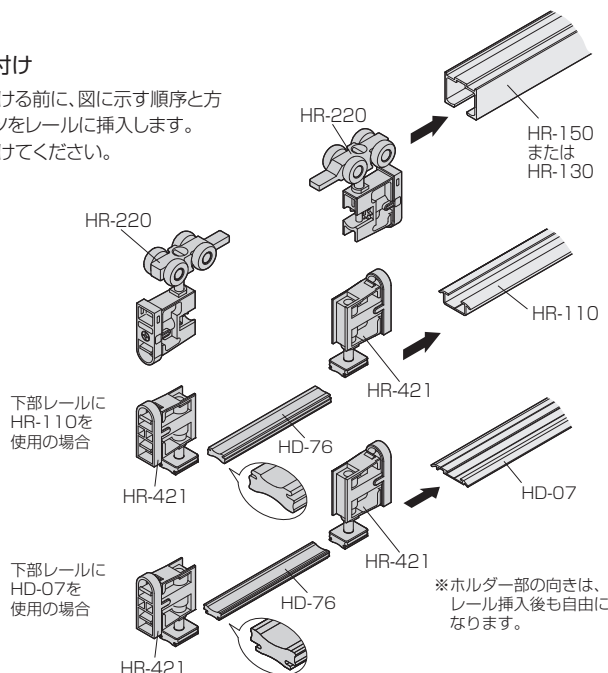
1.戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の木口に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、ホルダー部のレバーをつまんで引き出し、固定カップ部より分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の木口加工部に取付けてください。

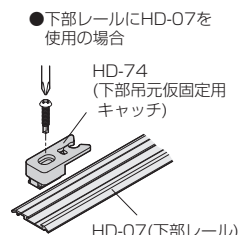
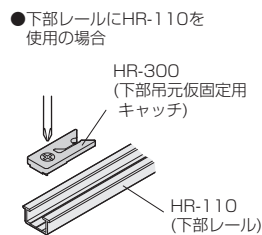
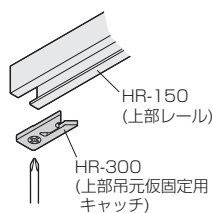


2.レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す順序と方向で、各パーツをレールに挿入します。
- ② レールを取付けてください。

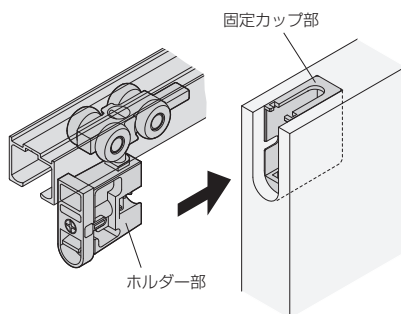


- ③ 吊元仮固定用キャッチを使用する場合は、上下レールに取付けてください。



■戸の吊込み

- ① 固定カップ部に、上部吊り車および下部ガイドのホルダー部をしっかりと差込みます。
- ※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。

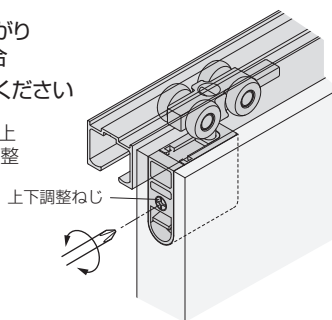


■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。



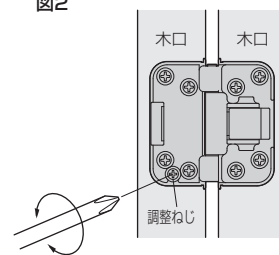
閉時に、戸が[図1]のように蛇行している場合

→ 丁番で、蛇行修正をしてください

- ① 戸を開けた状態で、[図2]のように丁番に付いている調整ねじを回すと蛇行修正ができます。



図2



開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

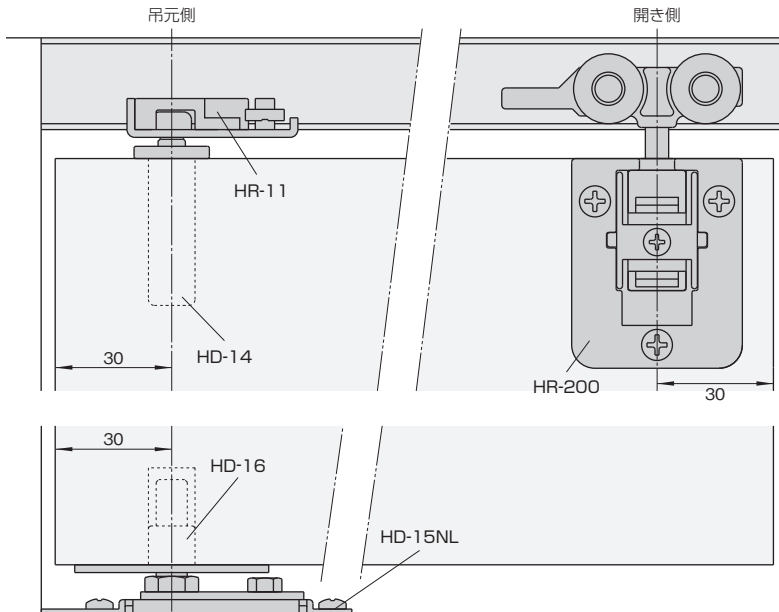
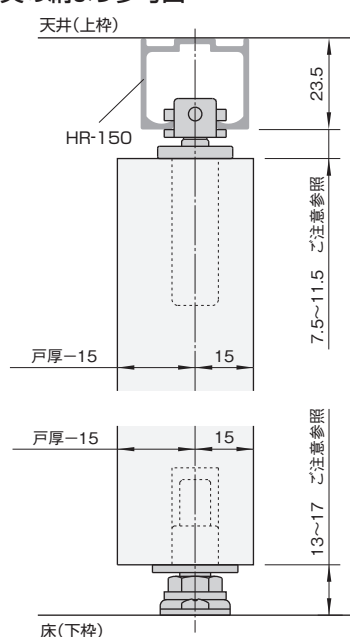
◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:26mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。

折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



※下部ピボットにHD-13をご使用の場合は、794ページの下部ピボット部をご参照ください(その図にあるように2段掘りになると、戸厚は29mm以上必要になります)。

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5

B=床と戸の間のすきま寸法=13～17

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
26	4.9	4.5	4.2	3.9
30	6.9	6.4	6.0	5.7
33	8.7	8.1	7.7	7.4
35	10.0	9.4	9.0	8.7
40	13.6	13	12.5	12.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

C(吊元側すきま寸法)

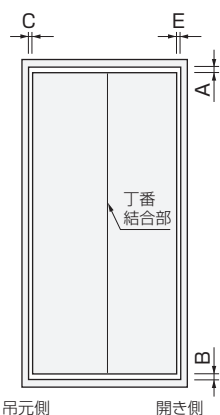
戸厚	C
26	2.0
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

ご注意

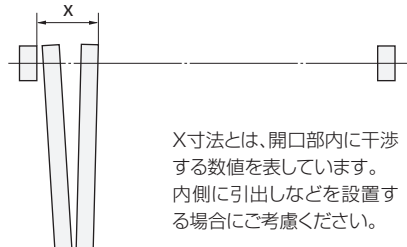
上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=20.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=28.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、20.5mm<上下のすきま<28.5mm)

上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。



■戸を開けた時のX寸法



戸厚26～40mmの場合

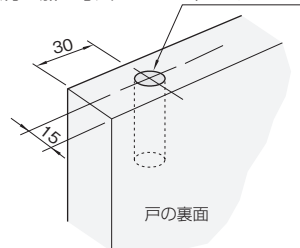
X=92.5mm+戸厚+吊元側すきま寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

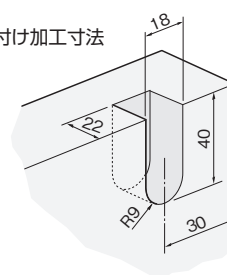
※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

HD-14またはHD-16の取付け加工寸法



上部吊り車(HR-200)の取付け加工寸法

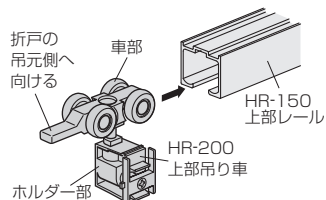
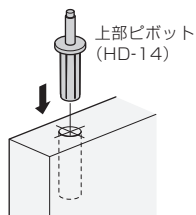


施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、下部ピボット(HD-16)、上部ピボット(HD-14)を取付けます。
- ③ 戸の開き側に使用するHR-200の取付けについては設計・施工ガイド799ページと同手順になります。



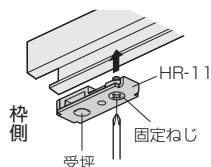
2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で上部吊り車の車部をレール内に挿入します。
※上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② レールを取付けてください。

※ホルダー部の向きは、レール挿入後も自由になります。

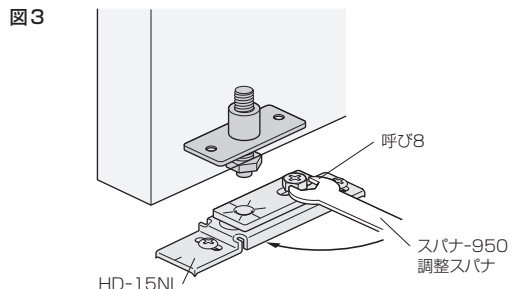
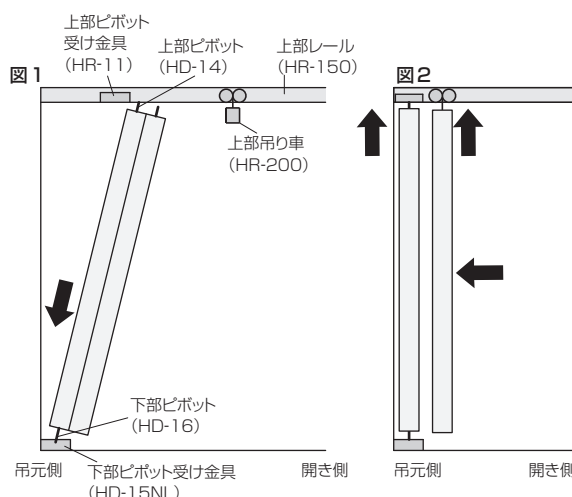
3. ピボット受け金具(HR-11)の取付け

- ① 枠にレールを取付けた後に固定ねじで軽く固定します。
※受坪が枠側に向くようにしてください。



■戸の吊込み

- ① ピボット受け金具(HR-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15NL)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボット(HD-16)を下部ピボット受け金具(HD-15NL)に入れます。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていながら、上部ピボット(HD-14)を上部レール内のピボット受け金具(HR-11)に入れます。
- ④ 戸の開き側に取付けてある固定カップ部に、上部吊り車と下部ガイドのホルダー部をパチンという音がするまで差込みます。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に、上部ピボット受け金具をドライバーで、下部ピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください(図3)。

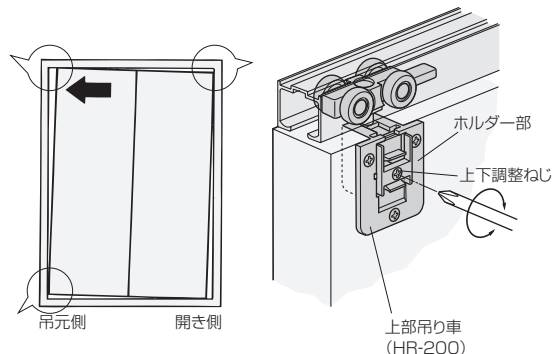
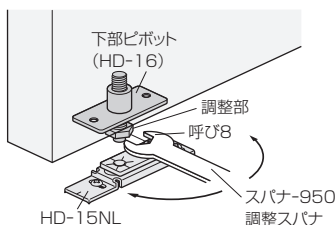
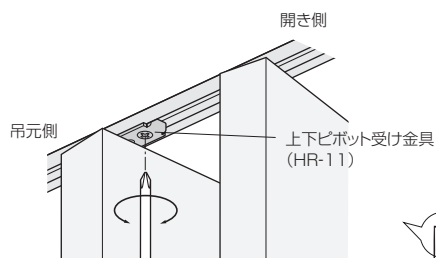


■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→各金具の調整部で、上下・左右の調整をしてください

- ① 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:29mm以上

◇折戸1組の戸幅:600～900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

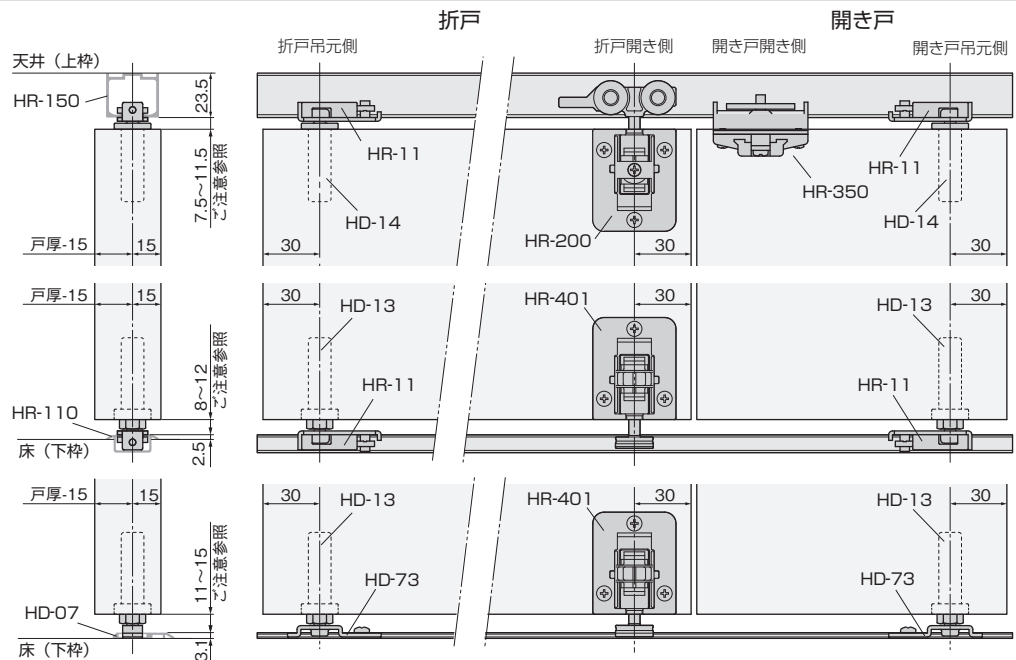
設計ガイド

■金具の納まり参考図

※図は折戸+開き戸を示します。

下部レールにHR-110を
使用の場合

下部レールにHD-07を
使用の場合



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

HR-110の場合=8～12

HD-07の場合=11～15

●左右のすきま設定(左図の組合せの場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E+F

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	10.4	9.9	9.5	9.2
33	13.7	13.1	12.7	12.4
35	16.1	15.5	15.1	14.8
40	22.7	22.1	21.6	21.2

E(折戸と開き戸のすきま寸法)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	3.4	2.9	2.5	2.2
33	3.7	3.1	2.7	2.4
35	3.9	3.3	2.9	2.6
40	4.5	3.9	3.4	3.0

C=F(吊元側すきま寸法)

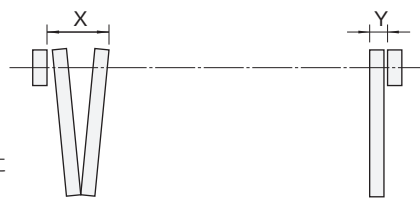
戸厚	C=F
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

■表記追加 (25/07/01)

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX・Y寸法

X・Y寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。



戸厚29～40mmの場合
X=92.5mm+戸厚+吊元側すきま寸法

戸厚30～40mmの場合
Y=45mm+吊元側すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

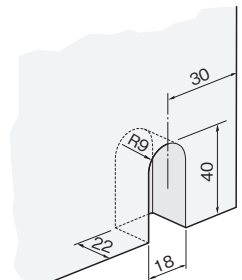
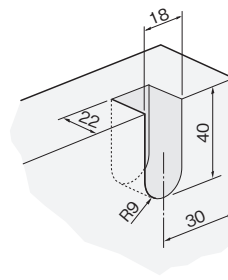
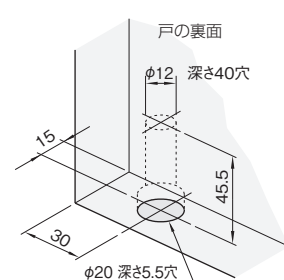
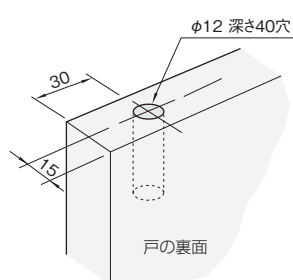
■戸の加工寸法参考図

上部ピボット(HD-14)の取付け

下部ピボット(HD-13)の取付け

上部吊り車(HR-200)の取付け

下部ガイド(HR-401)の取付け

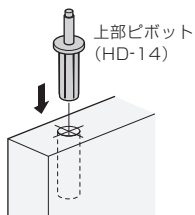


施工ガイド

■金具の取付け方法

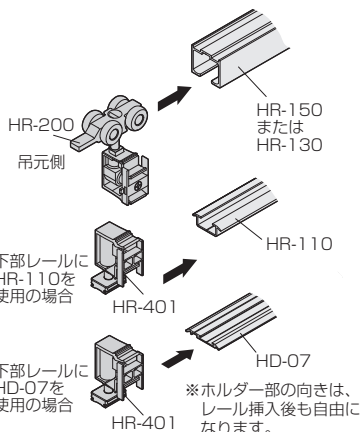
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、下部ピボット (HD-13)、上部ピボット (HD-14) を挿入します。
※ 下部ピボット HD-13 は、前ページの加工寸法参考図通りの2段加工穴にしてください。
※ 専用工具 (423 ページ) も用意してあります。
- ③ 折戸の開き側に使用する HR システム金具の取付けについては設計・施工ガイド 799 ページとお手順になります。



2. レールの取付け

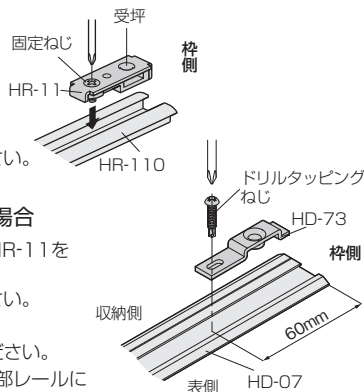
- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で上部吊り車および下部ガイドの車部をレール内に挿入します。
※ 上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② 上下枠にレールを取付けてください。



3. ピボット受け金具の取付け

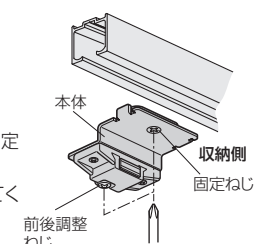
下部レールに HR-110 を使用の場合

- ① 枠にレールを取付けた後に HR-11 を上部レールと下部レールに固定ねじで軽く固定します。
※ 受坪が枠側に向くようにしてください。



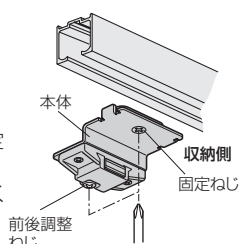
下部レールに HD-07 を使用の場合

- ① 枠に上部レールを取付けた後に HR-11 を固定ねじで軽く固定します。
※ 受坪が枠側に向くようにしてください。
- ② 下部レールを取付けます。
※ 表側、収納側の向きに注意してください。
- ③ ピボット受け金具 (HD-73) を下部レールに添付ねじで止めます。



4. 開き戸用キャッチ (HR-350) の取付け 〔「折戸+開き戸」にする場合〕

- ① ストライクを開き戸の収納側にねじ止めします。
- ② 開き戸用キャッチ本体をレールに差し込み、固定ねじをドライバーで締め付け固定します。
- ③ 前後調整ねじにより、戸厚に対する調整をしてください。
※ 戸の吊込みは、折戸の吊込みに準じてください。



■戸の吊込み

- ① 上部ピボット受け金具はレールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具 (HR-11 または HD-73) よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットを下のピボット受け金具 (HR-11 または HD-73) に入れます (図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てながら、上部ピボットを上部ピボット受け金具 (HR-11) に入れます。
- ④ 戸の開き側に付けてある固定カップ部に、上部吊り車と下部ガイドのホルダー部をパチンという音がするまで差込みます。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をドライバーでしっかりと固定してください (図3)。

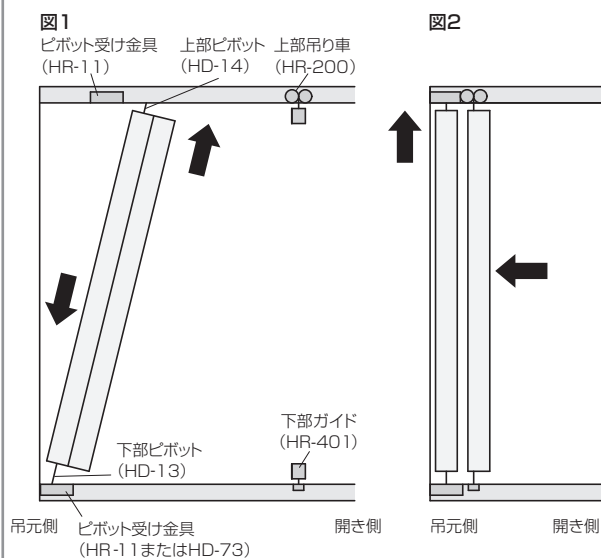
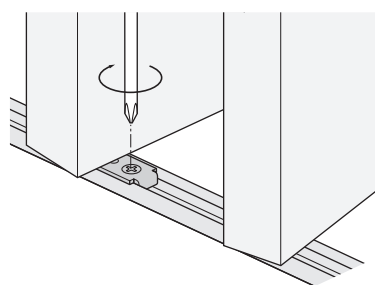


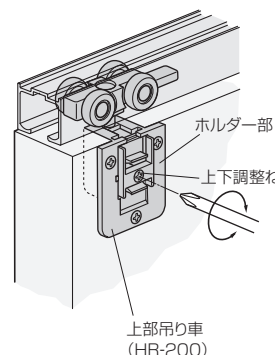
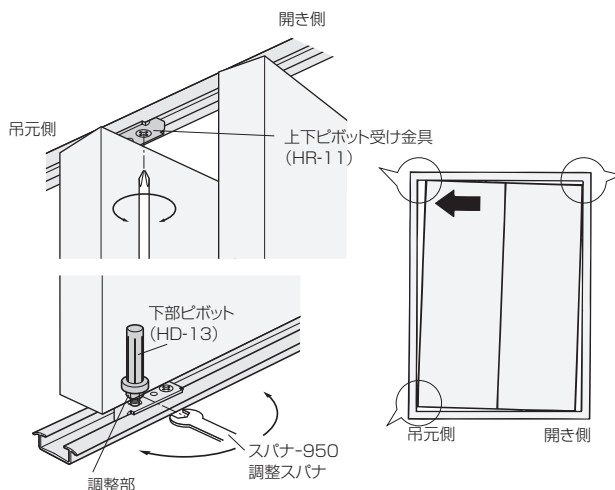
図3



■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
→ 各金具の調整部で、上下・左右の調整をしてください

- ① 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
※ 調整時に戸を持ち上げると、調整がしやすい場合があります。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

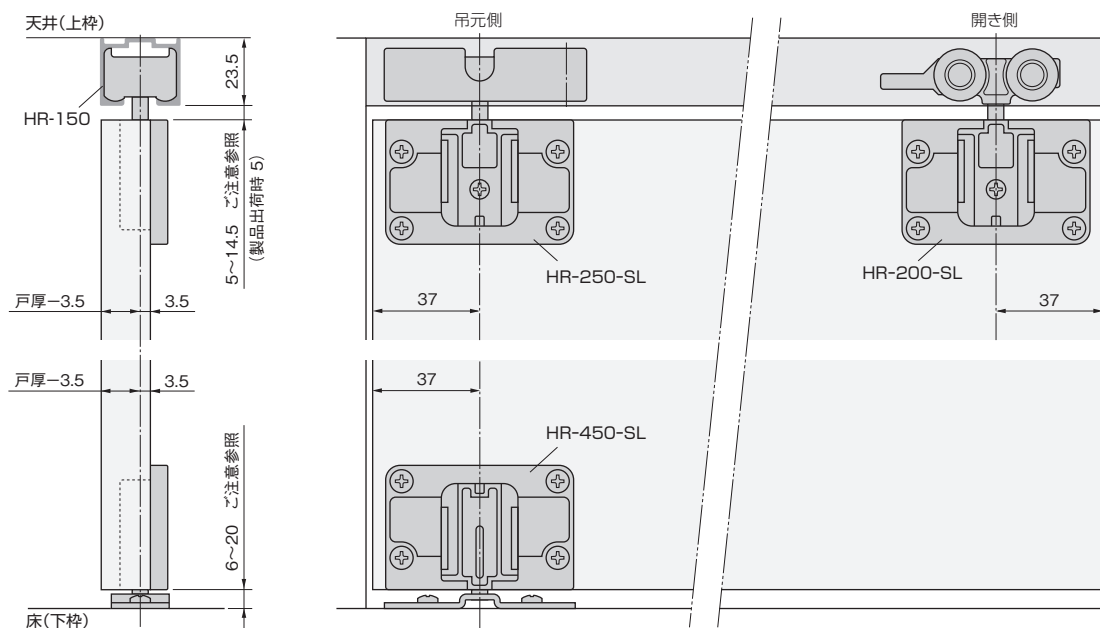
会社案内

使用条件

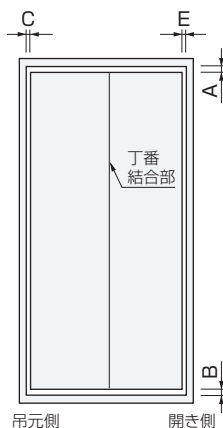
◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm～26mm ◇折戸1組の戸幅:800～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～14.5
B=床と戸の間のすきま寸法=6～20

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
20	4.6	4.5
23	6.1	5.9
26	7.7	7.0

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から37mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

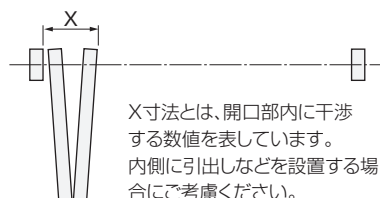
C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
20	3.5
23	4.8
26	6.3

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=11mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=34.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、11mm<上下のすきま<34.5mm)
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

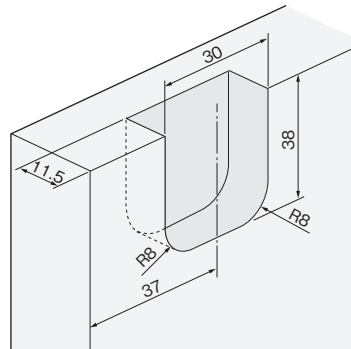
X=戸厚+115mm+吊元側すきま寸法

※上記計算式は、「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から37mm」として算出しています。

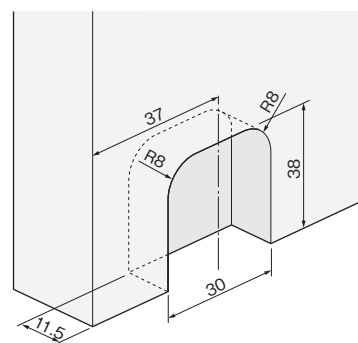
■表記追加 (25/07/01)

■戸の加工寸法参考図

開き側吊り車(HR-200-SL)
および上部吊元固定ブロック
(HR-250-SL)
の取付け加工寸法



下部吊元固定金具
(HR-450-SL)
の取付け加工寸法

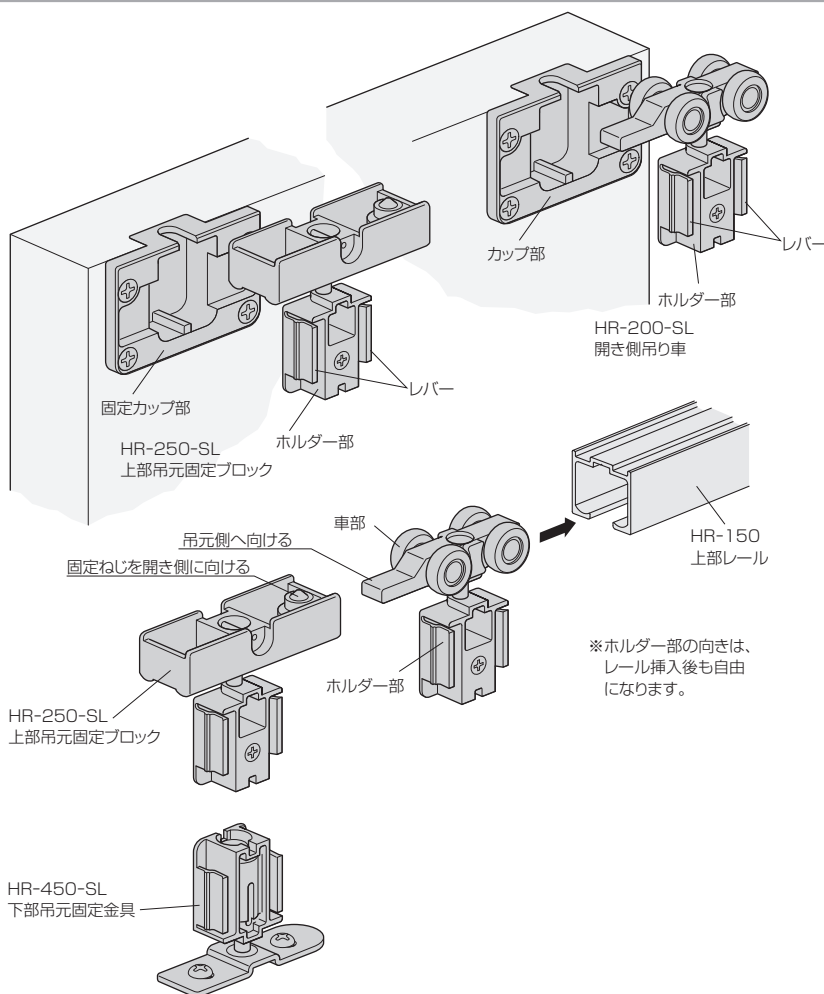


施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊元固定ブロック、開き側吊り車、および下部吊元固定金具は、ホルダー部のレバーをつまんで引き出し、固定カップ部より分離します。
- ③ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。

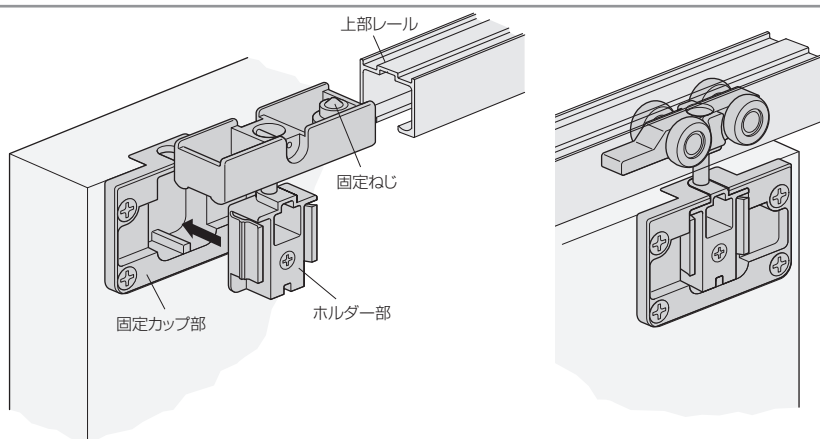


2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊元固定ブロックおよび開き側吊り車のホルダー部をレール内に挿入します。
- ② 上枠にレールを取付けてください。

■戸の吊込み

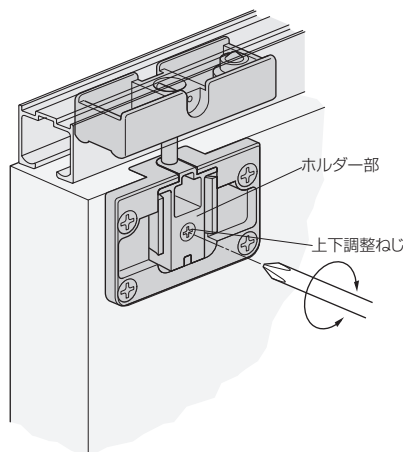
- ① 固定カップ部分に、ホルダー部をしっかりと差込みます。
※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。
- ② 上部吊元固定ブロックの位置を合わせ、固定ねじでレールに固定します。



■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
➡ 上部吊元固定ブロックおよび、開き側吊り車で、上下調整してください

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

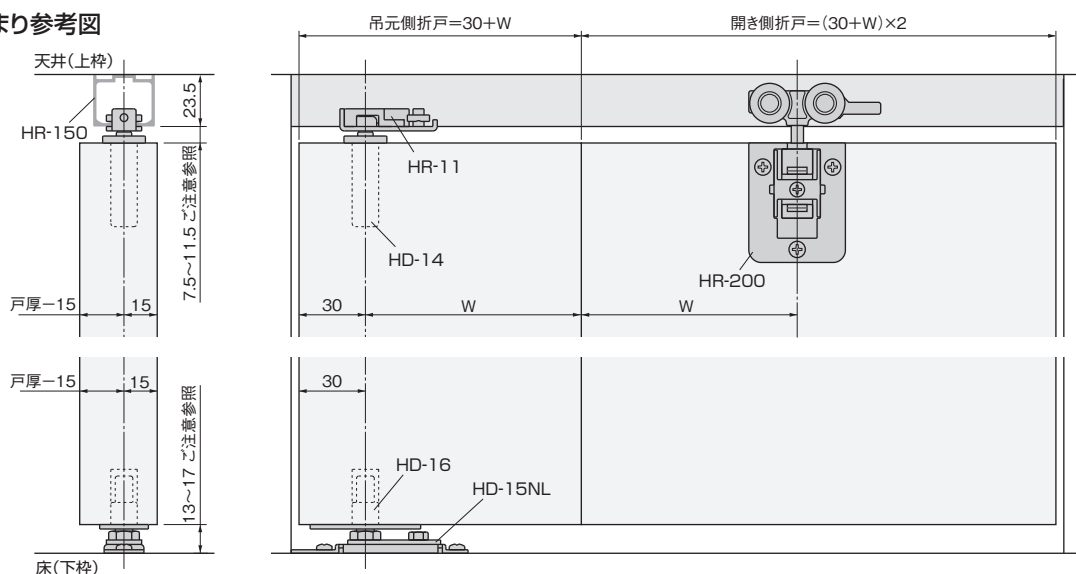
会社案内

使用条件

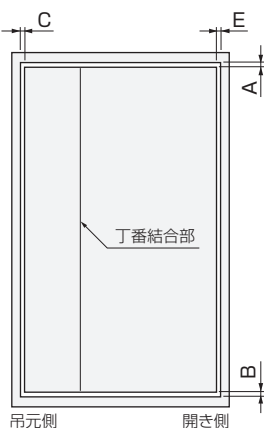
- ◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上
 ◇折戸1組の戸幅:900～1,200mm、吊元側折戸の戸幅:300～400mm
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
 折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

- A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5
 B=床と戸の間のすきま寸法13～17

●左右のすきま設定

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E

使用丁番: HD-37、下表の戸幅は吊元側折戸の寸法です

戸厚/戸幅	300	350	400
30	5.2	4.9	4.7
33	6.8	6.5	6.3
35	8.0	7.7	7.5
40	11.3	11.0	10.7

※上記の参考値は「上下の吊元側金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=20.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=28.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、20.5mm<上下のすきま<28.5mm)

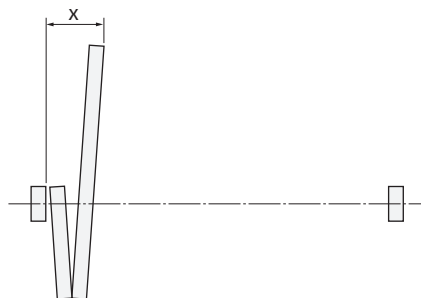
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

■戸を開けた時のX寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。



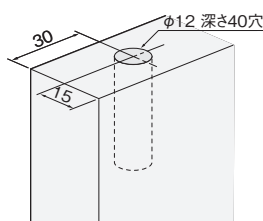
$$X = 95 + (\text{戸厚} - 15) + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番HD-37」、「上下のピボットの軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

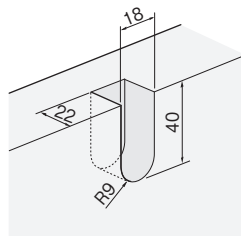
■表記追加 (25/07/01)

■戸の加工寸法参考図

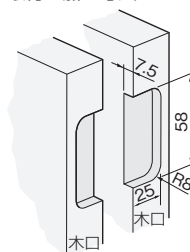
HD-14またはHD-16
の取付け加工寸法



上部吊り車(HR-200)
の取付け加工寸法



丁番(HD-37)
の取付け加工寸法

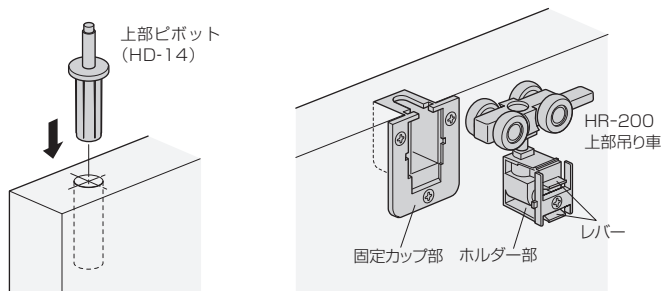


施工ガイド

■金具の取付け方法

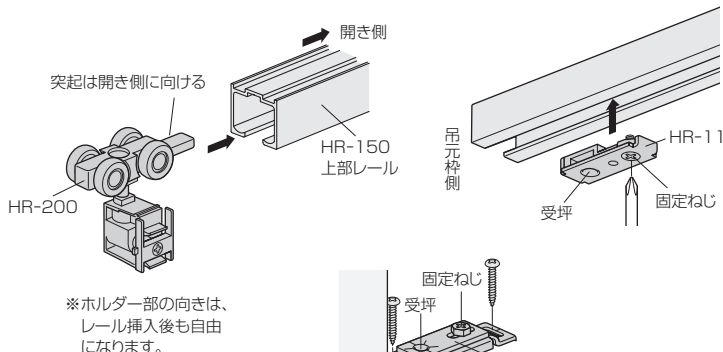
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、上部ピボット(HD-14)、下部ピボット(HD-16)を取付けます。
- ③ 上部吊り車は、ホルダー部のレバーをつまんで引き出し、固定カップ部より分離します。
- ④ 固定カップ部のみ個室側の戸面加工部に取付けてください。



2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
※ 上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② レールを取付けてください。



3. 上部ピボット受け金具(HR-11)の取付け

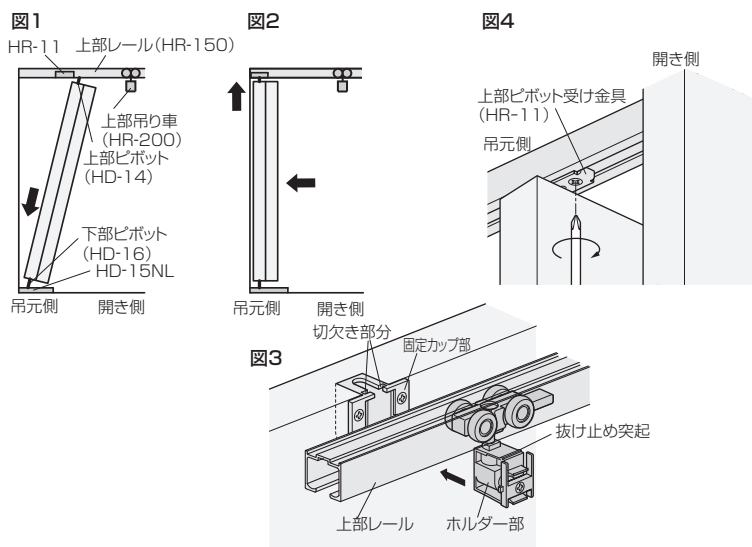
- ① 枠にレールを取付けた後に固定ねじで軽く固定します。
※ 受坪が枠側に向くようにしてください。

4. 下部ピボット受け金具(HD-15NL)の取付け

- ① 下部ピボット受け金具を床にねじ止めします。
※ 受坪が枠側に向くようにしてください。

■戸の吊込み

- ① ピボット受け金具(HR-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15NL)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15NL)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HR-11)に、挿入します。
- ④ 図3のように戸の開き側に付けてある固定カップ部に上部吊り車のホルダー部をパチンという音がするまで差込みます。
※ しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、上下のピボット受け金具を工具でしっかりと固定してください(図4)。



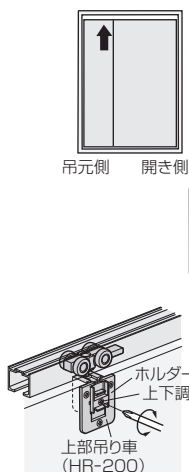
■戸の位置調整

戸が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

→ 下部ピボットと上部吊り車で、上下調節をしてください

- ① 戸を閉めた状態のまま、下部ピボットの調整部を工具で回すと、戸が上下します。
- ② 上部吊り車も下部ピボットの調整に合わせて上下調節してください。

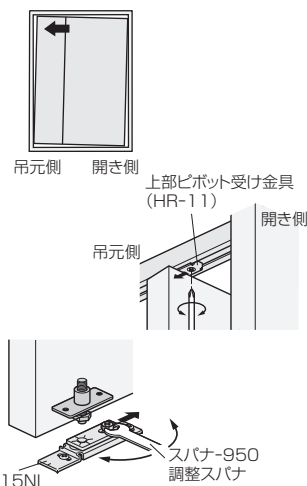
※ 調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具を開き側に寄せて調整します。その後、これらに合わせて上部吊り車も調整します。



開き戸金具

1

引戸金具

2

上吊式引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動間仕切金具

5

室内用アルミ金具

6

折戸金具

7

取手・引手

8

スライド丁番

9

スライドワイヤーバスケット

10

収納・吊金具

11

その他の家具金物

12

物干金具・諸金具

13

設計施工ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

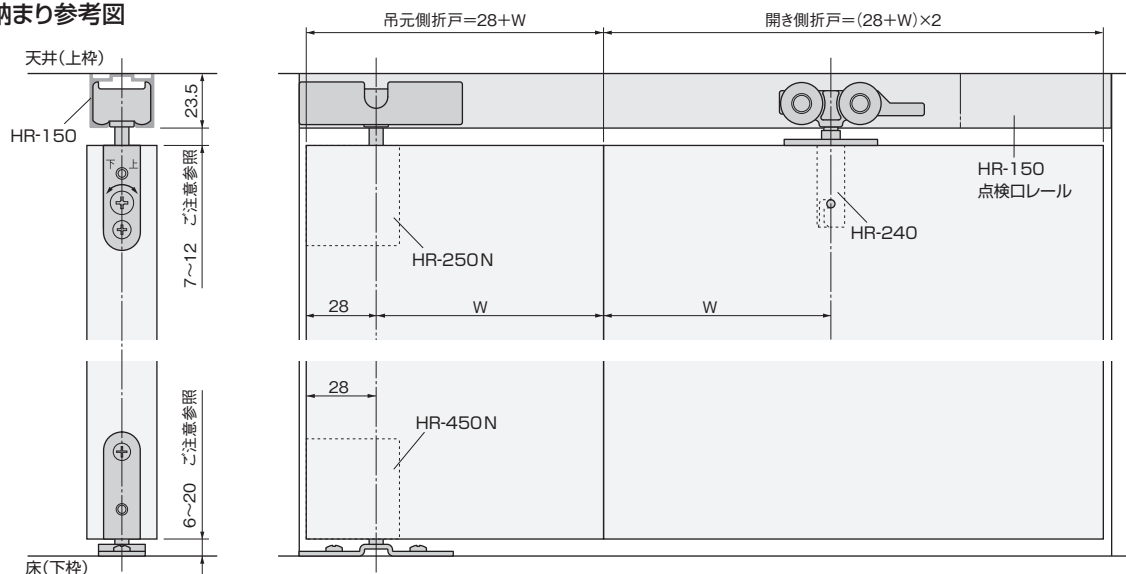
会社案内

使用条件

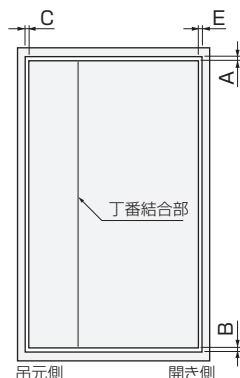
- ◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上
 ◇折戸1組の戸幅:900～1,200mm、吊元側折戸の戸幅:300～400mm
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
 折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7～12

B=床と戸の間のすきま寸法=6～20

●左右のすきま設定

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E

使用丁番: HD-37、下表の戸幅は吊元側折戸の寸法です

戸厚/戸幅	300	350	400
30	6.7	6.4	6.3
33	7.0	6.7	6.5
35	7.3	7.0	6.7
40	9.2	8.8	8.5

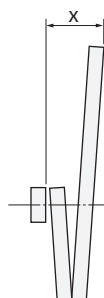
※上記の参考値は「上下の吊元側金具の軸位置=戸端から28mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どちらを足した寸法(=13mm)、あるいは最大値どちらを足した寸法(=32mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、13mm<上下のすきま<32mm)
 上下のすきま寸法は、次ページの施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。

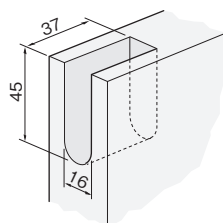
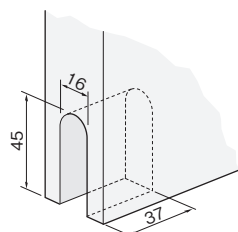
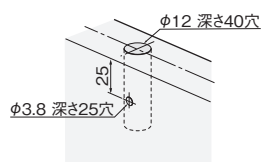
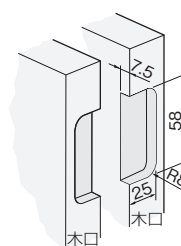


$$X = 99 + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は、「使用丁番HD-37」、「上下ピボットの軸位置=戸端から28mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

■戸の加工寸法参考図

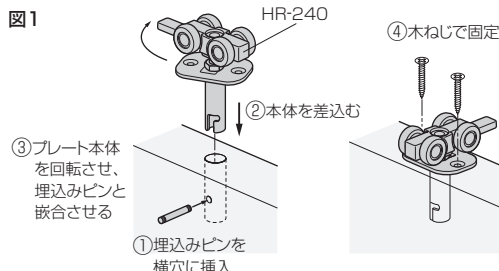
上部吊元固定ブロック
(HR-250N)
の取付け加工寸法下部吊元固定金具
(HR-450N)
の取付け加工寸法上部吊り車(HR-240)
の取付け加工寸法丁番(HD-37)
の取付け加工寸法

施工ガイド

■金具の取付け方法

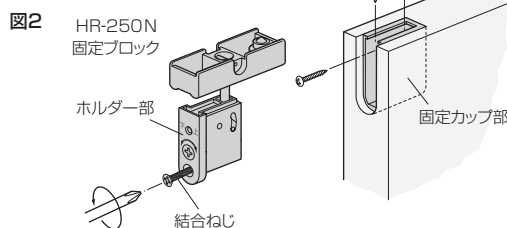
1. 戸に付ける金具の取付け

- ①HD-37(折戸用丁番)を戸の丁番用加工部に取付けます。
- ②戸の上面部に加工したHR-240用縦穴、横穴に埋込みピンおよびHR-240を取付けます(図1)。
- ③固定ブロックおよび吊元固定金具は、まず図に示すように戸に取付ける前にホルダー部の結合ねじを左へ回し、固定カップ部より分離します(図2)。
- ④固定カップ部のみ戸の木口加工部に取付けてください(図2)。



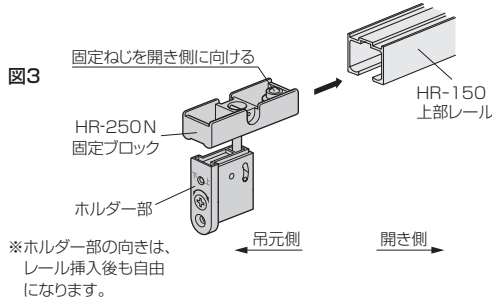
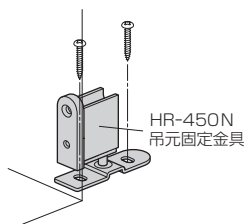
2. レールの取付け

- ①レールを取付ける前に図に示す方向で固定ブロックをレール内に挿入します(図3)。
- ②レールは、中に固定ブロックを挿入した状態で取付けてください。



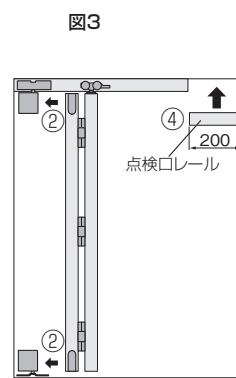
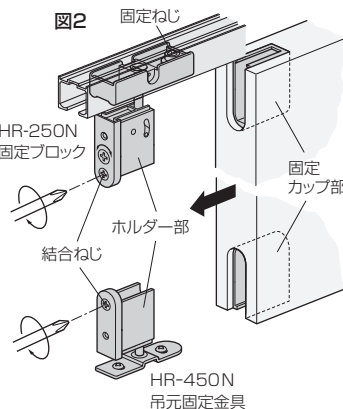
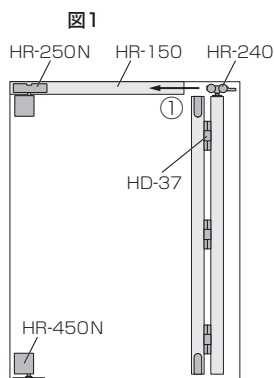
3. 下部吊元固定金具の取付け

- ①吊元固定金具を床にねじ止めします。



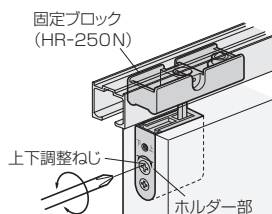
■戸の吊込み

- ①戸に取付けたHR-240のランナー部分を上部レールの中に挿入します(図1)。
- ②固定カップ部に固定ブロックおよび吊元固定金具のホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定します(図2)。
- ③HR-250N固定ブロックの位置を合わせ、固定ねじでレールに固定します(図2)。
- ④レール端部に点検口用レールを取付けます(図3)。

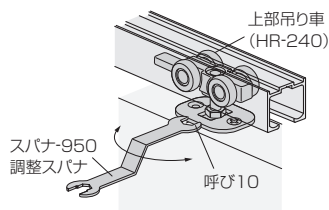


■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
 ➡固定ブロックおよび上部吊り車で、上下調整してください

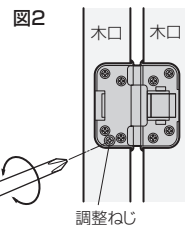


- ①調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
 - ②上部吊元固定ブロックホルダー部の上下調整ねじを回すと、戸の上下調整ができます。
 - ③上部吊り車の上下調整はスパナ-950で行います。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。



戸が[図1]のように蛇行している場合
 ➡丁番で、修正してください

- ①戸を開けた状態で、[図2]のように丁番に付いている調整ねじを回すと蛇行修正ができます。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

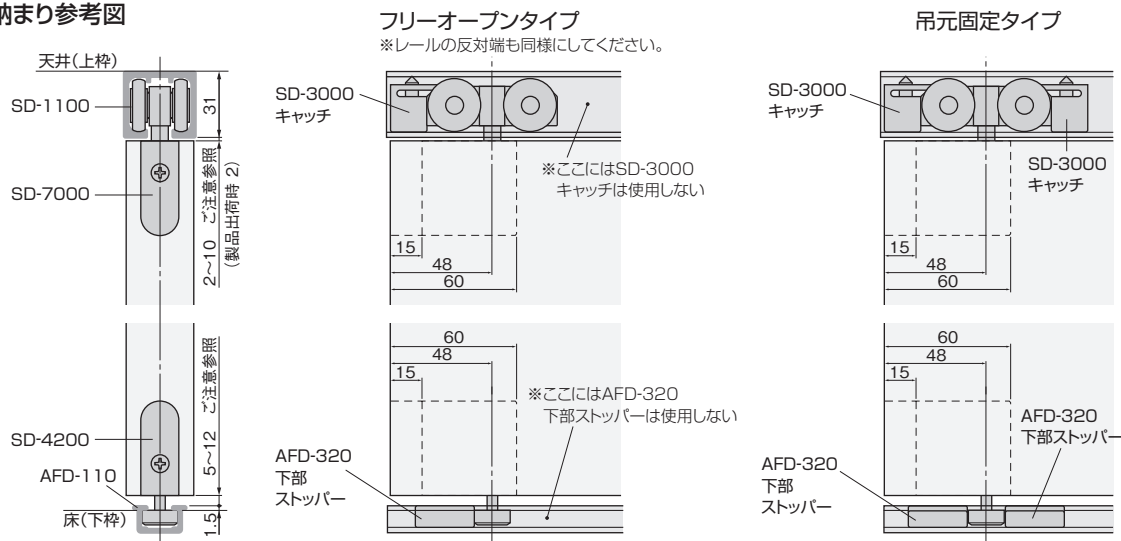
◇折戸1組の総質量:40kg以下 ◇戸の厚さ:(収納用の場合)25mm以上、(間仕切用の場合)30mm以上

◇折戸1組の戸幅:600～900mm

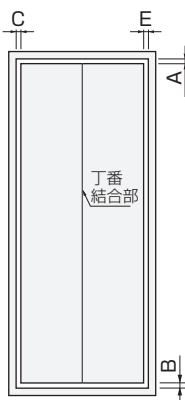
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=2～10

B=下部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(収納用フリーオープンタイプの場合)

使用丁番: HD-50

戸厚/戸幅	300	350	400	450	500	550	600
25	4.2	3.6	3.1	2.8	2.5	2.3	2.1
27	4.7	4.0	3.5	3.1	2.8	2.6	2.3
30	5.4	4.7	4.1	3.6	3.3	3.0	2.7
33	6.3	5.4	4.7	4.2	3.8	3.4	3.1
35	6.9	5.9	5.2	4.6	4.1	3.8	3.4
40	8.4	7.2	6.4	5.6	5.1	4.6	4.2

C+E(間仕切用フリーオープンタイプの場合)

使用丁番: HD-47

戸厚/戸幅	300	350	400	450	500	550	600
30	3.8	3.3	2.9	2.6	2.3	2.1	1.9
33	4.5	3.9	3.4	3.0	2.7	2.5	2.3
35	5.0	4.3	3.8	3.4	3.0	2.8	2.5
40	6.4	5.5	4.8	4.3	3.9	3.5	3.2

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=7mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=22mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法

(ただし、7mm<上下のすきま<22mm)

すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

C+E(収納用吊元固定タイプの場合)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450	500	550	600
25	4.3	3.9	3.6	3.3	3.2	3.0	2.9
27	4.8	4.4	4.1	3.8	3.6	3.4	3.3
30	5.8	5.2	4.8	4.5	4.3	4.1	4.0
33	6.7	6.1	5.7	5.3	5.1	4.9	4.7
35	7.4	6.8	6.3	5.9	5.6	5.4	5.2
40	9.3	8.5	7.9	7.5	7.1	6.8	6.6

C+E(間仕切用吊元固定タイプの場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450	500	550	600
30	5.8	5.4	5.2	4.9	4.8	4.6	4.5
33	6.7	6.3	5.9	5.7	5.5	5.3	5.2
35	7.4	6.9	6.5	6.2	6.0	5.8	5.7
40	9.2	8.5	8.1	7.7	7.4	7.2	7.0

CまたはE(吊元固定タイプの吊元側すきま寸法)

戸厚	CまたはE
25	1.6
27	1.9
30	2.3
33	2.8
35	3.1
40	4.0

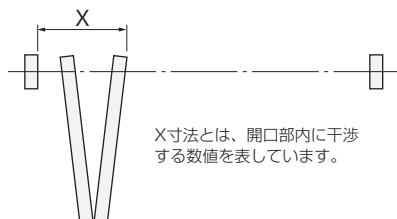
CまたはE(吊元固定タイプの吊元側すきま寸法)

戸厚	CまたはE
30	2.3
33	2.8
35	3.1
40	4.0

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から48mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



フリーオープンタイプの場合

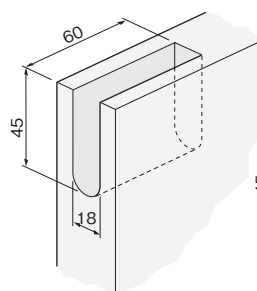
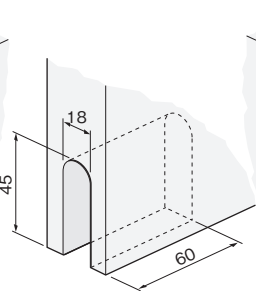
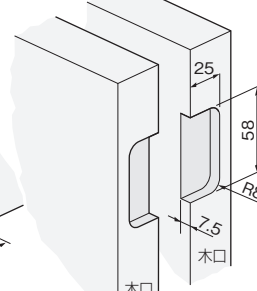
$$X = \frac{\text{戸厚}}{2} + 115\text{mm}$$

吊元固定タイプの場合

$$X = \text{吊元固定の場合の吊元側すきま寸法} + \frac{\text{戸厚}}{2} + 132\text{mm}$$

※上記計算式は「使用丁番HD-50、HD-47、HD-35、HD-37」、「上下の車の軸位置=戸端から48mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(SD-7000)の
取付け加工寸法下部ガイド(SD-4200)の
取付け加工寸法間仕切用丁番(HD-47)の
取付け加工寸法

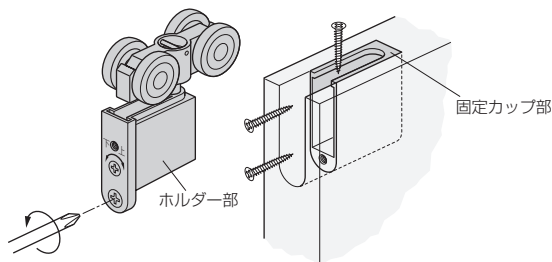
※収納用丁番HD-50は直付け(加工なし)となります。

施工ガイド

■金具の取付け方法

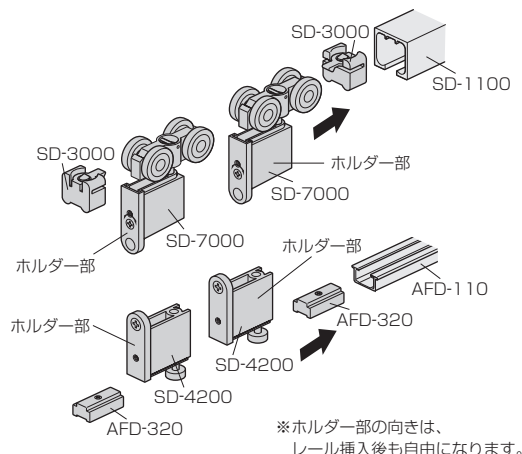
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は、収納用は戸の裏面に、間仕切用は戸の木口加工部に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイドは、それぞれの結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ③ 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



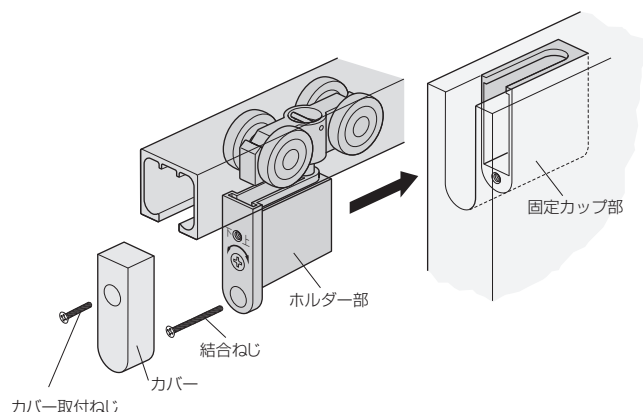
2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す順序で各パーツを上下各レール内に挿入します。
- ② 上下枠にレールを取付けてください。なお、吊元固定タイプで使用する場合は、吊元にしたい方の車をキャッチ (SD-3000) で、吊元にしたい下部ガイドをストッパー (AFD-320) で両側からはさみつけるようにします。



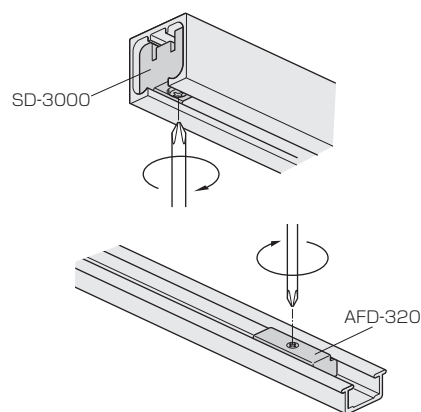
■戸の吊込み

- ① 固定カップ部に、ホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定します。
- ② 結合後、カバーをしてください。



キャッチ、ストッパー

- ① 上下ともキャッチ、ストッパーを所定の位置に、ドライバーで固定してください。



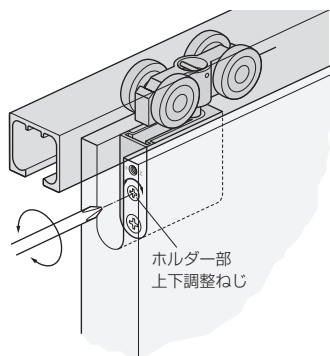
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→ 上部吊り車で、上下調整してください

- ① SD-7000のカバーをはずします。
- ② 戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじを回すと戸の上下調整ができます。

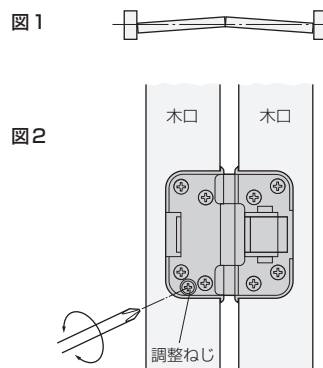
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



閉時に、戸が[図1]のように蛇行している場合

→ 丁番で、蛇行修正をしてください

- ① 戸を開けた状態で、[図2]のように丁番に付いている調整ねじを回せばできます。



開き戸 金具	1
引戸 金具	2
上吊式 引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動 間仕切 金具	5
室内用 アルミ金具	6
折戸 金具	7
取手・ 引手	8
スライド 丁番	9
スライドレール ワイヤー バスケット	10
収納・ 吊金具	11
その他の 家具金物	12
物干金具・ 諸金具	13
設計 施工 ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

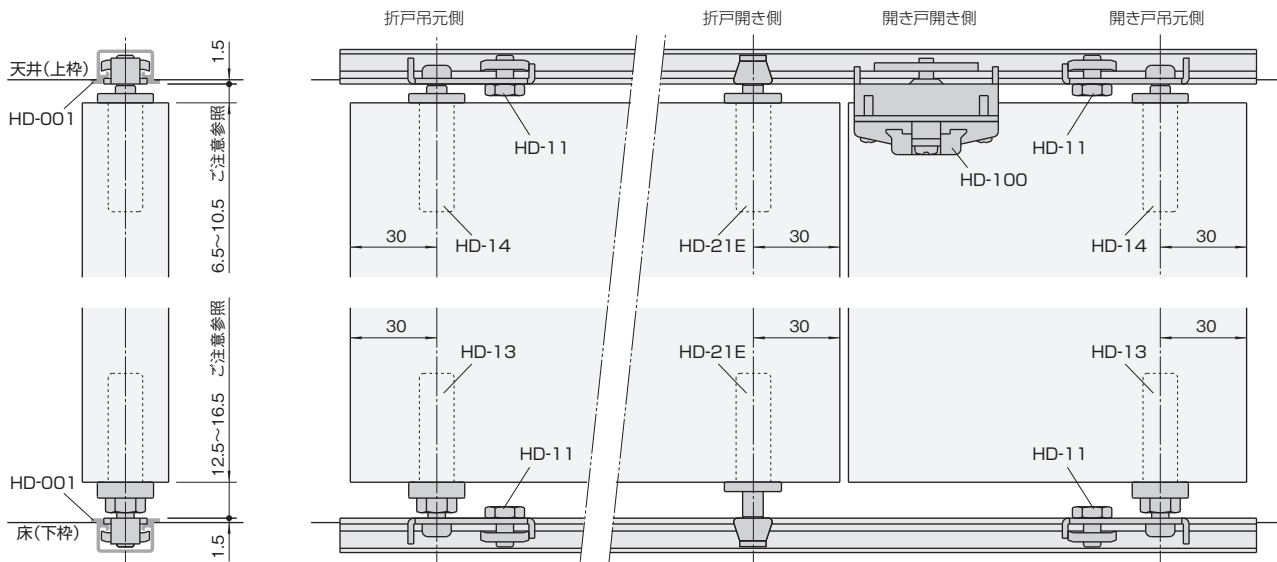
会社案内

使用条件

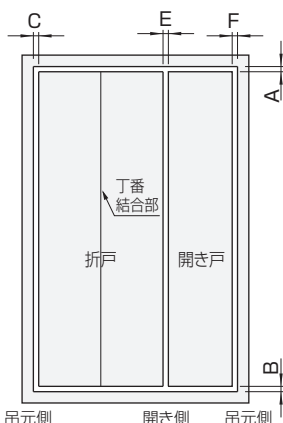
◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇開き戸1枚の総質量:12kg以下 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
◇戸の厚さ:20mm以上、開き戸用キャッチHD-100を使用の場合:29～35mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。
※HD-16を下部ピボットに使用の場合は、戸の厚さ:22mm以上となります。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5～10.5
B=下部レールと戸の間のすきま寸法=12.5～16.5
HD-16使用の場合=7.5～11.5

●左右のすきま設定

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E+F

使用丁番:HD-35、()内はHD-38

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	5.1(5.5)	4.8(5.1)	4.6(4.9)	4.5(4.7)
23	6.5(6.9)	6.2(6.5)	5.9(6.2)	5.7(6.0)
27	8.7(9.1)	8.3(8.6)	7.9(8.3)	7.7(7.0)
30	10.4(10.8)	9.9(10.2)	9.5(9.8)	9.2(9.5)
33	12.3(12.7)	11.7(12.1)	11.3(11.6)	10.9(11.3)
35	13.6(14.1)	13.0(13.4)	12.5(12.9)	12.2(12.5)
40	17.4(17.9)	16.6(17.1)	16.0(16.4)	15.6(16.0)

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

C=F(吊元側すきま寸法)

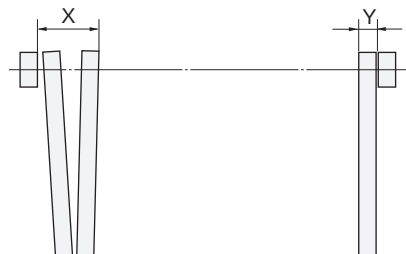
戸厚	C=F
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=19mm、HD-16を使用の場合は14mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=27mm、HD-16を使用の場合は22mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(ただし、HD-13を使用の場合:19mm<上下のすきま<27mm
HD-16を使用の場合:14mm<上下のすきま<22mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX・Y寸法



X・Y寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

戸厚24mm以下の場合 $X = 71\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$

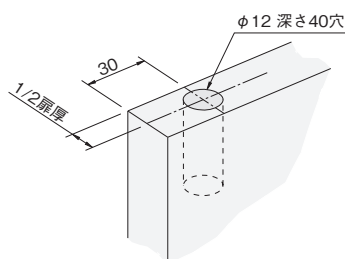
戸厚24mm以上の場合 $X = 47\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$

$Y = 30\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$

※上記計算式は「使用丁番HD-35、HD-38」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

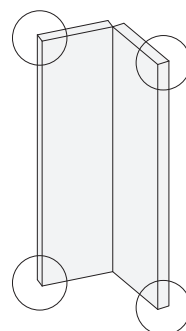
■戸の加工寸法参考図

上下ピボットおよび案内ランナーの取付け加工寸法



1組の折戸の上下4ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

※折戸+開き戸にする場合は開き戸の吊元側上下も含めて計6ヶ所になります。

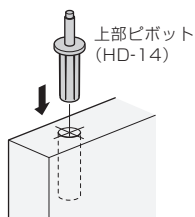


施工ガイド

■金具の取付け方法

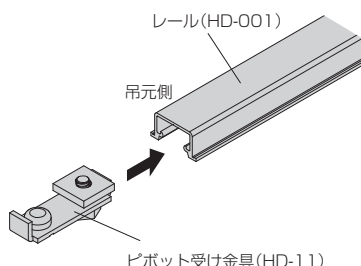
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、下部ピボット (HD-13 または HD-16)、上部ピボット (HD-14)、案内ランナー (HD-21E) を挿入します。



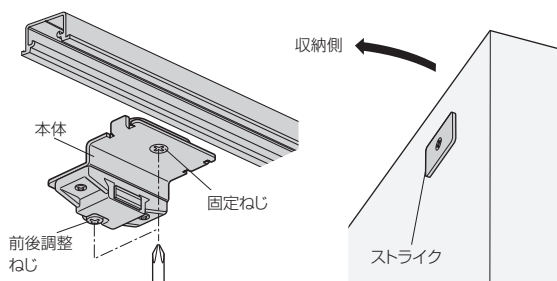
2. レールの取付け

- ① 上下のレールを取付ける前に、ピボット受け金具 (HD-11) をレール内に挿入しておきます (ゴムストッパー HD-12 を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)。
- ② レールを取付けてください。



3. 開き戸用キャッチ (HD-100) の取付け (「折戸+開き戸」にする場合)

- ① ストライクを開き戸の収納側にねじ止めします。
- ② 開き戸用キャッチ本体をレールに差込み、固定ねじをドライバーで締め付け固定します。
- ③ 前後調整ねじにより、戸厚に対する調整をしてください。



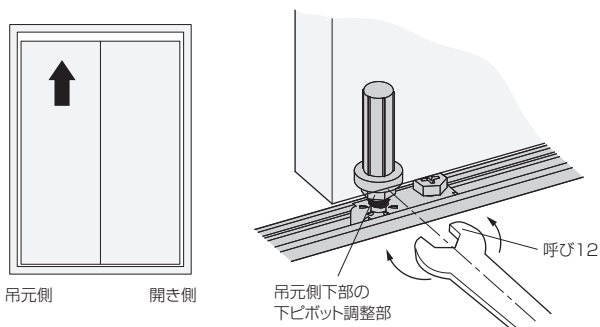
※戸の吊込みは、折戸の吊込みに準じてください。

■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合
→ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ (HD-61) で回すと、戸が上下します。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



■戸の吊込み

- ① ピボット受け金具はレールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、上下の位置をずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットを下のピボット受け金具に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます (図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部のピボット受け金具に、下の案内ランナーを下部レールに入れます。
- ④ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナ (HD-61) でしっかりと固定してください (図3)。

図1

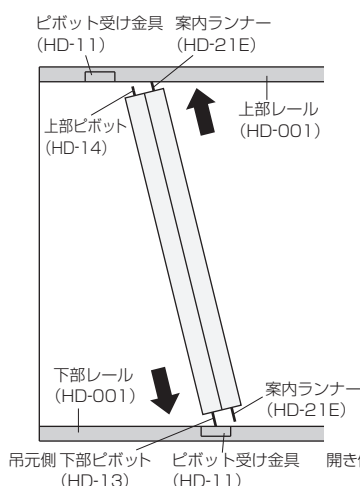


図2

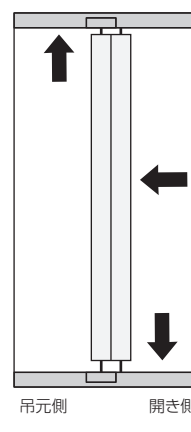
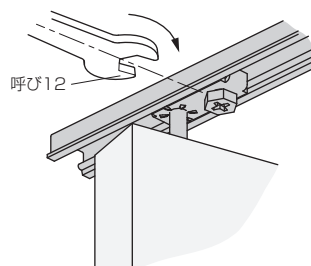


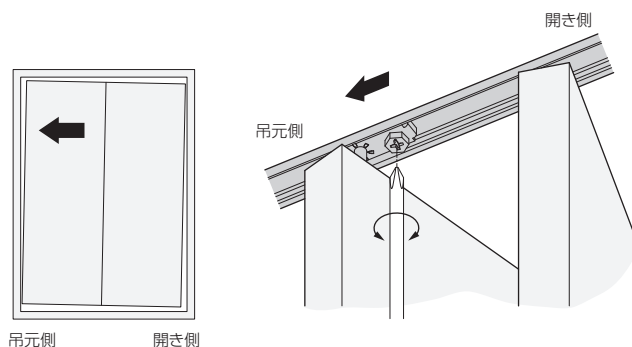
図3



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具を開き側に寄せて調整します。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

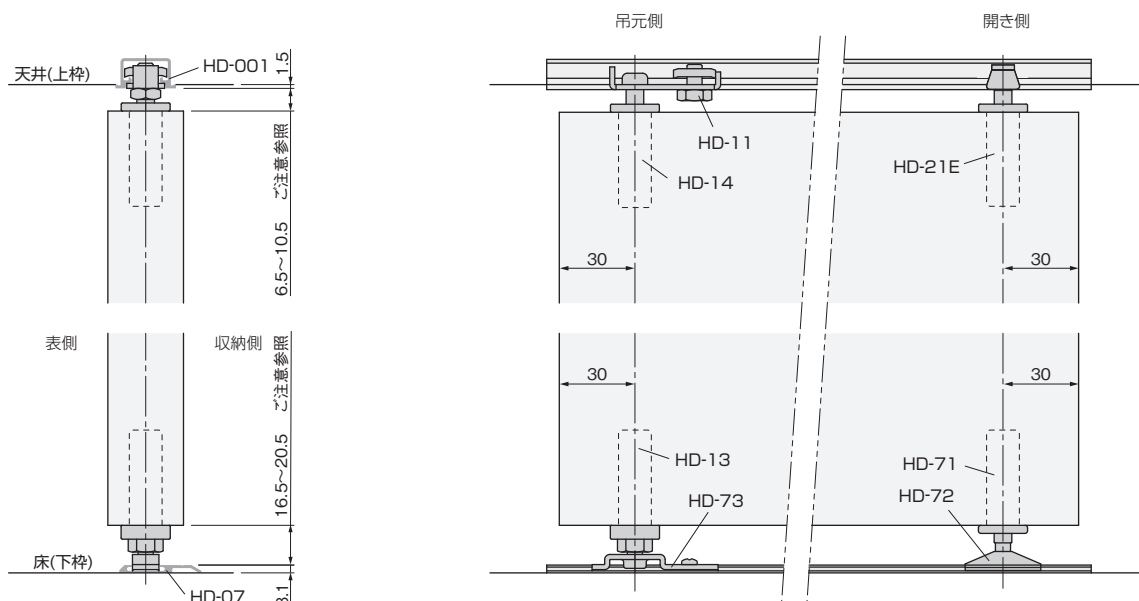
会社案内

使用条件

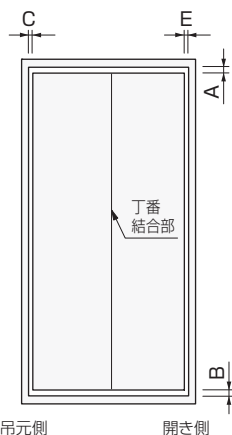
◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5～10.5
B=下部レールと戸の間のすきま寸法=16.5～20.5

●左右のすきま設定
(折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

ご 注 意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=23mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=31mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、23mm<上下のすきま<31mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35、()内はHD-38

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	1.9(2.3)	1.6(1.9)	1.4(1.7)	1.3(1.5)
23	2.3(2.7)	2.0(2.3)	1.7(2.0)	1.5(1.8)
27	2.9(3.3)	2.5(2.8)	2.1(2.5)	1.9(2.2)
30	3.4(3.8)	2.9(3.2)	2.5(2.8)	2.2(2.5)
33	3.9(4.3)	3.3(3.7)	2.9(3.2)	2.5(2.9)
35	4.2(4.7)	3.6(4.0)	3.1(3.5)	2.8(3.1)
40	5.2(5.7)	4.4(4.9)	3.8(4.2)	3.4(3.8)

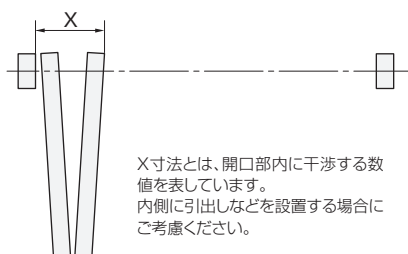
C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



戸厚30mm以下の場合

$$X = 85\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$$

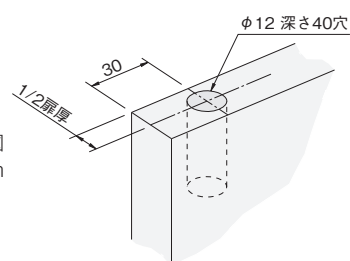
戸厚31mm以上の場合

$$X = 55\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$$

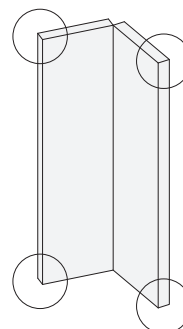
※上記計算式は「使用丁番 HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボット、案内ランナーの取付け加工寸法



1組の折戸の上下4ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

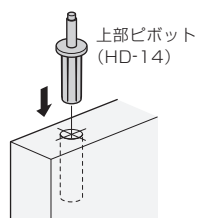


施工ガイド

■金具の取付け方法

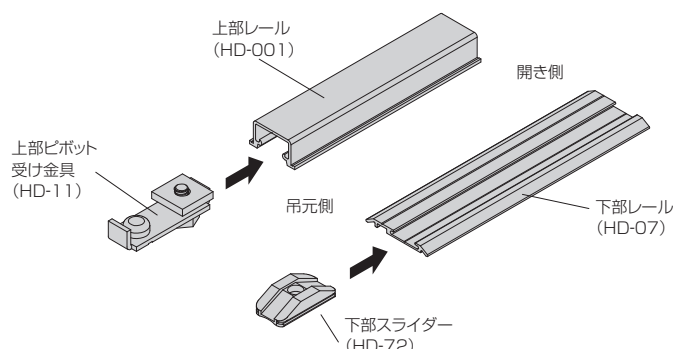
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、吊元側下部ピボット(HD-13)、開き側下部ピボット(HD-71)、上部ピボット(HD-14) 上部案内ランナー(HD-21E)を挿入します。



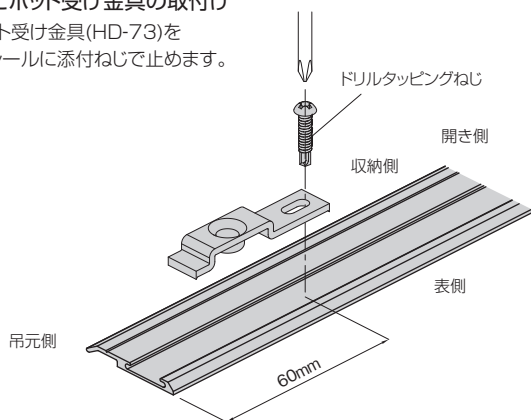
2. レールの取付け

- ① 上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上レール内に挿入しておきます。
- ② 下部レールを取付ける前に、下部スライダ(HD-72)を下レール内に挿入しておきます。
- ③ レールを取付けてください。



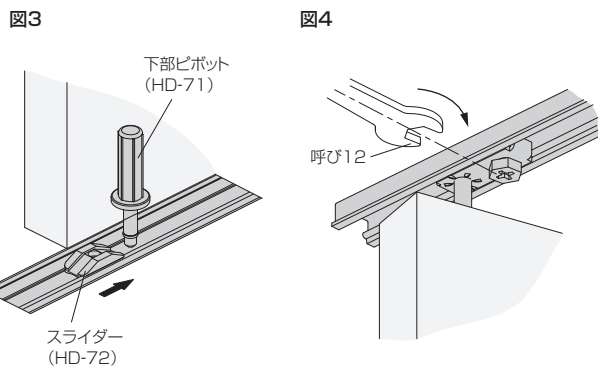
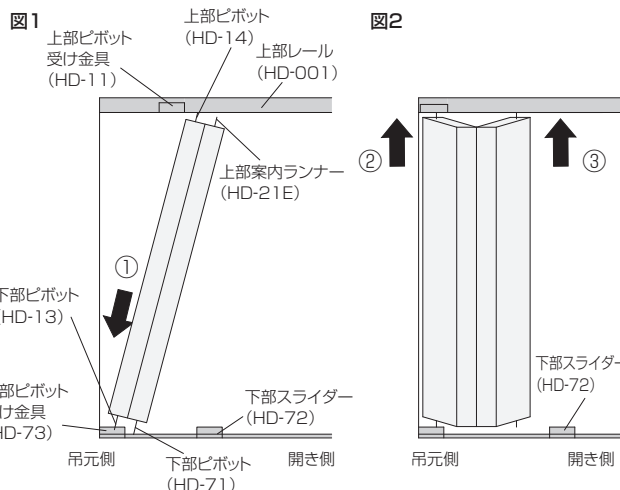
3. 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具(HD-73)を下部レールに添付ねじで止めます。



■戸の吊込み

- ① 上部ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように下部ピボット受け金具(HD-73)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-73)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボット(HD-14)を上レール内のピボット受け金具(HD-11)に入れます。
- ④ 上の案内ピボット(HD-21E)を上レールに入れます。
- ⑤ 下部ピボット(HD-71)をスライダ(HD-72)に入れます(図3)。
- ⑥ 上部吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上部ピボット受け金具をスパナ(HD-61)でしっかりと固定してください(図4)。



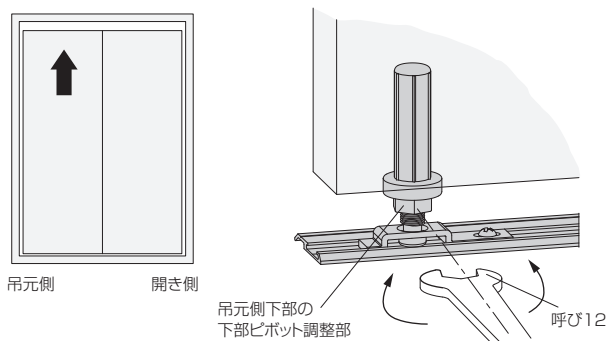
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

➡ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。

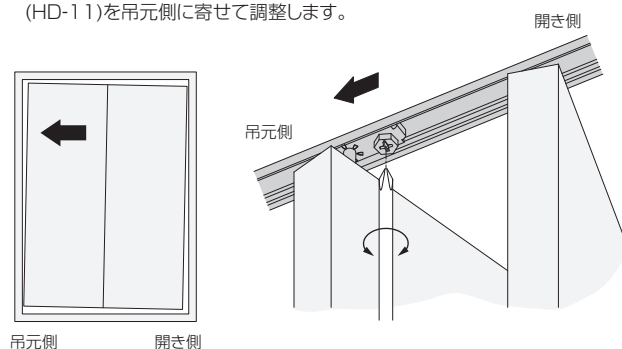
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎていている場合

➡ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せて調整します。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切り金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

使用条件

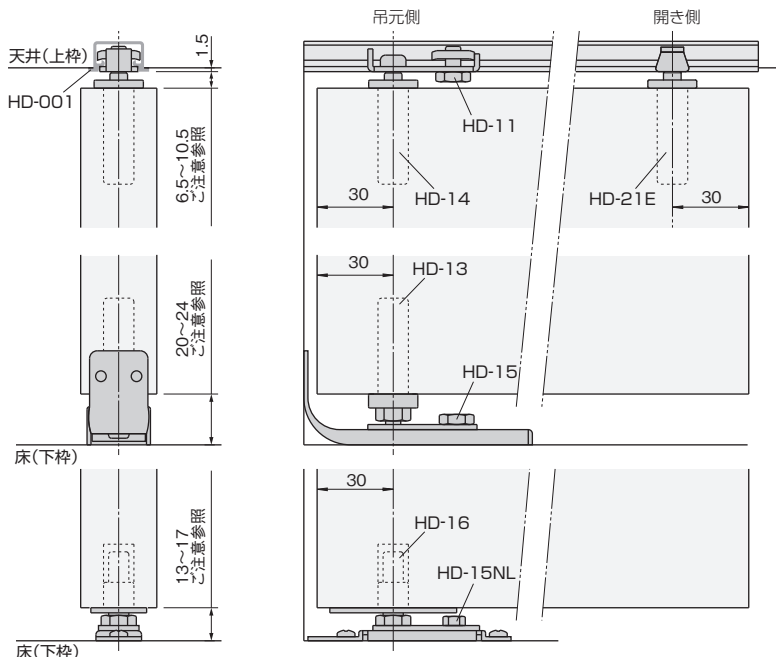
◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm/1組 ◇戸の高さ:2400mm以下
 ◇戸の厚さ:(1組A3タイプおよび1組C3タイプの場合)20mm以上、(1組B3タイプおよび1組D3タイプの場合)22mm以上
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上は連結できません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

吊元側下部にHD-13
 床面にHD-15を
 使用の場合

吊元側下部にHD-16
 床面にHD-15NLを
 使用の場合



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

- 上のすきま
 A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5～10.5
- 下のすきま
 B=床と戸の間のすきま寸法
 HD-13,HD-15の組合せの場合=20～24
 HD-16,HD-15NLの組合せの場合=13～17

●左右のすきま設定 (折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=26.5mm、HD-16、HD-15NLの組合せの場合は19.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=34.5mm、HD-16、HD-15NLの組合せの場合は27.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
 (ただし、HD-13、HD-15の組合せの場合: 26.5mm<上下のすきま<34.5mm
 HD-16、HD-15NLの組合せの場合: 19.5mm<上下のすきま<27.5mm)
 上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35、()内はHD-38

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	1.9(2.3)	1.6(1.9)	1.4(1.7)	1.3(1.5)
23	2.3(2.7)	2.0(2.3)	1.7(2.0)	1.5(1.8)
27	2.9(3.3)	2.5(2.8)	2.1(2.5)	1.9(2.2)
30	3.4(3.8)	2.9(3.2)	2.5(2.8)	2.2(2.5)
33	3.9(4.3)	3.3(3.7)	2.9(3.2)	2.5(2.9)
35	4.2(4.7)	3.6(4.0)	3.1(3.5)	2.8(3.1)
40	5.2(5.7)	4.4(4.9)	3.8(4.2)	3.4(3.8)

C(吊元側すきま寸法)

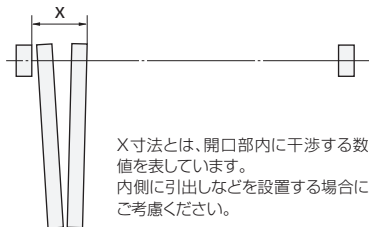
()内は床面にHD-15を使用の場合

戸厚	C
20	1.6(3.6)
23	2.1(4.1)
27	2.9(4.9)
30	3.5(5.5)
33	4.2(6.2)
35	4.7(6.7)
40	6.1(8.1)

■表記追加 (25/07/01)

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部に干渉する数値を表しています。
 内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

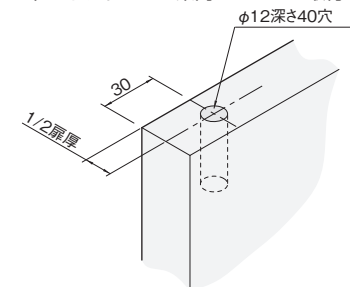
戸厚24mm以下の場合 $X = 71\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$

戸厚24mm以上の場合 $X = 47\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$

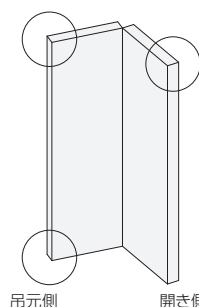
※上記計算式は「使用丁番HD-35、HD-38」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボットおよび案内ランナーの取付け加工寸法



1組の折戸の上下3ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

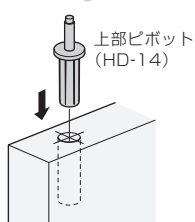


施工ガイド

■金具の取付け方法

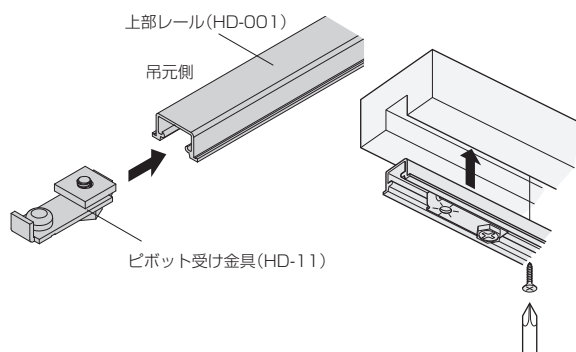
1.戸に付ける金具の取付け

- ①丁番を所定の位置に取付けます。
- ②戸に加工した穴に、下部ピボット(HD-13)またはHD-16)、上部ピボット(HD-14)、案内ランナー(HD-21E)を取付けます。



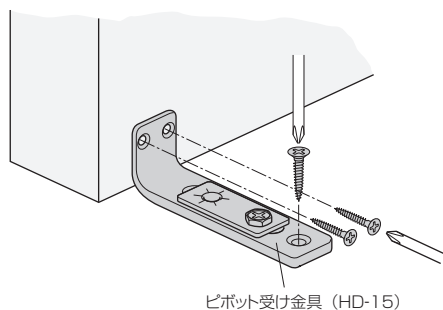
2.レールの取付け

- ①上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上部レール内に挿入しておきます(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)。
- ②レールを取付けてください。



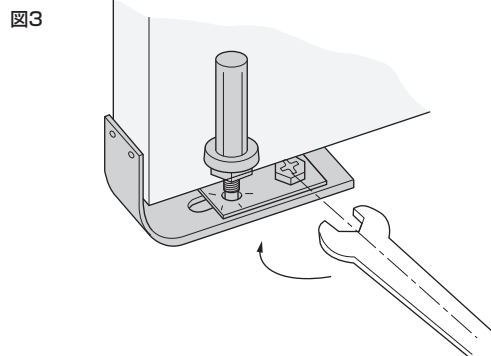
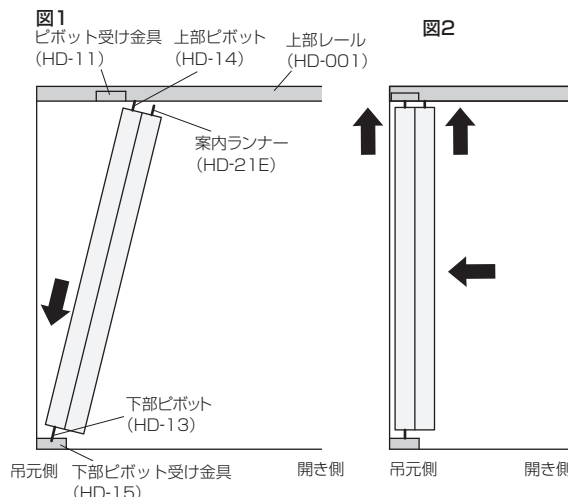
3.下部ピボット受け金具の取付け

- ①ピボット受け金具(HD-15)を床(または下枠)と縦枠にねじ止めします。



■戸の吊込み

- ①ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ②戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます(図1)。
- ③図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます。
- ④吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナ(HD-61)でしっかりと固定してください(図3)。



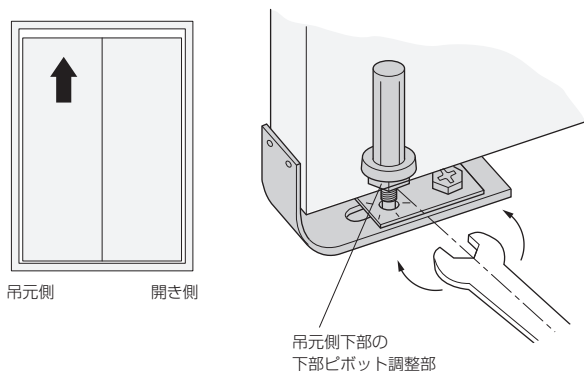
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

→下部ピボットで、上下調整をしてください

- ①戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。

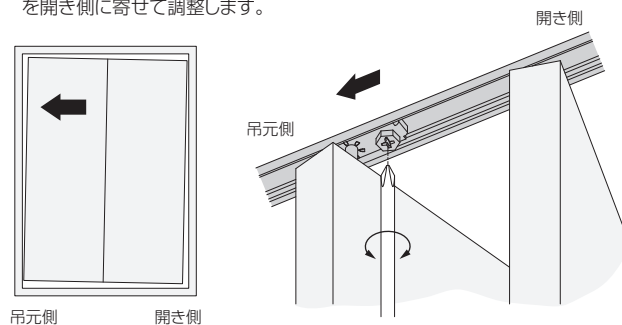
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

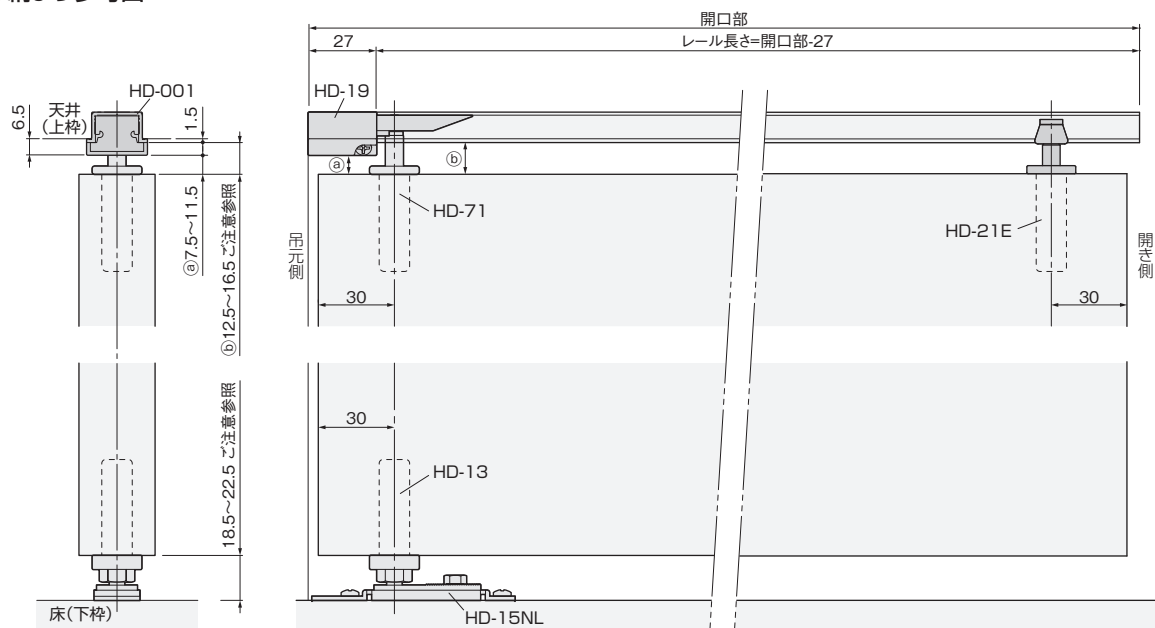
会社案内

使用条件

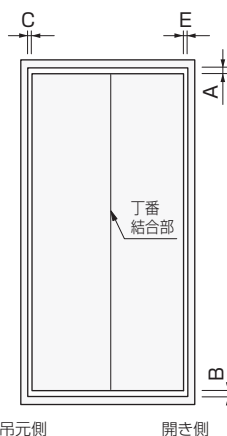
◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇戸の厚さ:20mm～38mm ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=12.5～16.5
B=床と戸の間のすきま寸法=18.5～22.5

●左右のすきま設定
(折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=31mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=39mm)に設定しますと、戸の上下調整が出来ませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、31mm<上下のすきま<39mm)

上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35、()内はHD-38

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	1.9(2.3)	1.6(1.9)	1.4(1.7)	1.3(1.5)
23	2.3(2.7)	2.0(2.3)	1.7(2.0)	1.5(1.8)
27	2.9(3.3)	2.5(2.8)	2.1(2.5)	1.9(2.2)
30	3.4(3.8)	2.9(3.2)	2.5(2.8)	2.2(2.5)
33	3.9(4.3)	3.3(3.7)	2.9(3.2)	2.5(2.9)
35	4.2(4.7)	3.6(4.0)	3.1(3.5)	2.8(3.1)
40	5.2(5.7)	4.4(4.9)	3.8(4.2)	3.4(3.8)

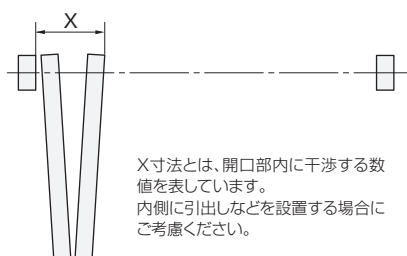
C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



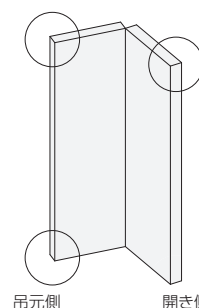
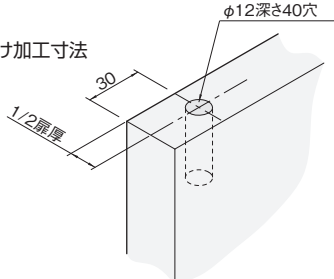
$$X = 17\text{mm} + \text{戸厚} \times 2 + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番 HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボット、案内ランナーの取付け加工寸法

1組の折戸の上下3ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

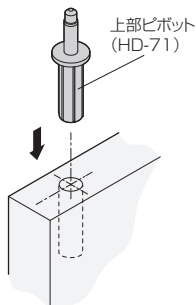


施工ガイド

■金具の取付け方法

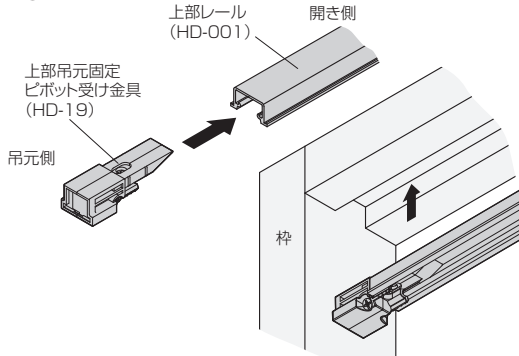
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、下部ピボット (HD-13)、上部ピボット (HD-71)、上部案内ランナー (HD-21E) を挿入します。



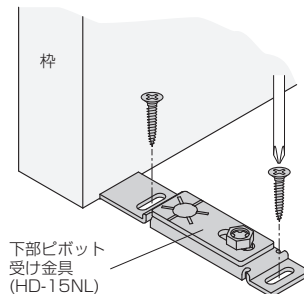
2. レールの取付け

- ① 上部レール (HD-001) を取付ける前に、調整機能付き上部ピボット受け金具 (HD-19) を上部レールに挿入します。
- ② 上部レール (HD-001) を取付けてください。



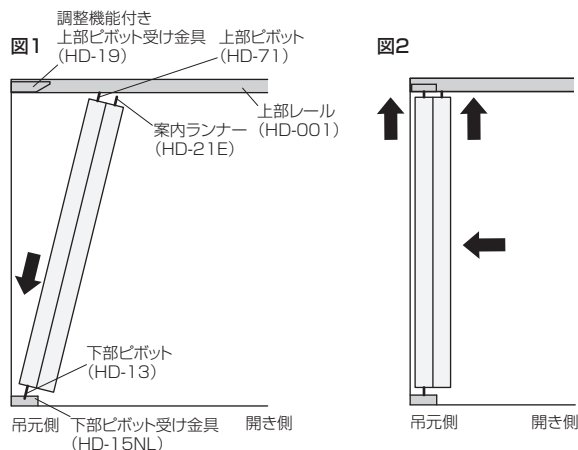
3. 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具 (HD-15NL) を床 (または下枠) に取付けます。



■戸の吊込み

- ① 戸を傾けて、下部ピボット (HD-13) をピボット受け金具 (HD-15NL) に入れます (図1)。
- ② 図2のように、戸を垂直に立てながら、上部ピボット (HD-71) を上部レール内の調整機能付き上部ピボット受け金具 (HD-19) に入れます。
- ③ 上部案内ピボット (HD-21E) を上部レールに入れます。
- ④ 吊元位置を定位置まで移動させ、下部のピボット受け金具 (HD-15NL) をスパナ (HDS-60) でしっかりと固定してください。

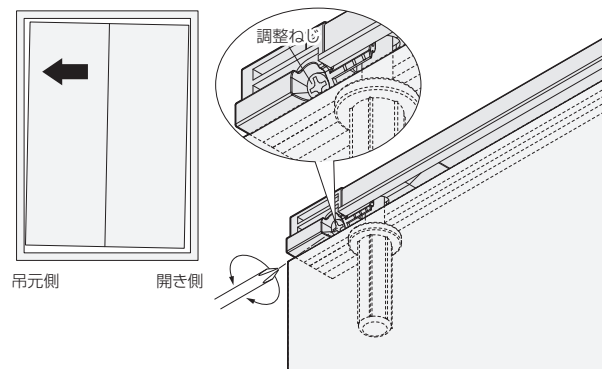


■戸の位置調整

戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、調整機能付き上部ピボット受け金具 (HD-19) の調整ねじを使って調整し、下部のピボット受け金具 (HD-15NL) のプレート部を開き側に寄せて調整します。

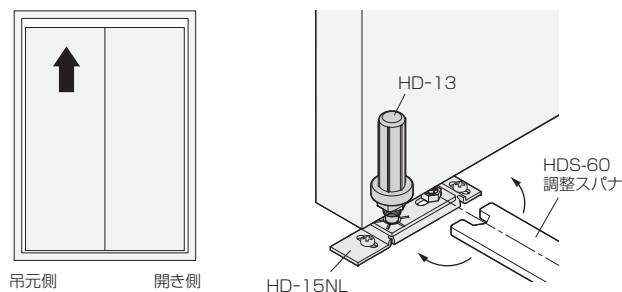


戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

→下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボット (HD-13) の調整部をスパナ (HDS-60) で回すと、戸が上下します。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

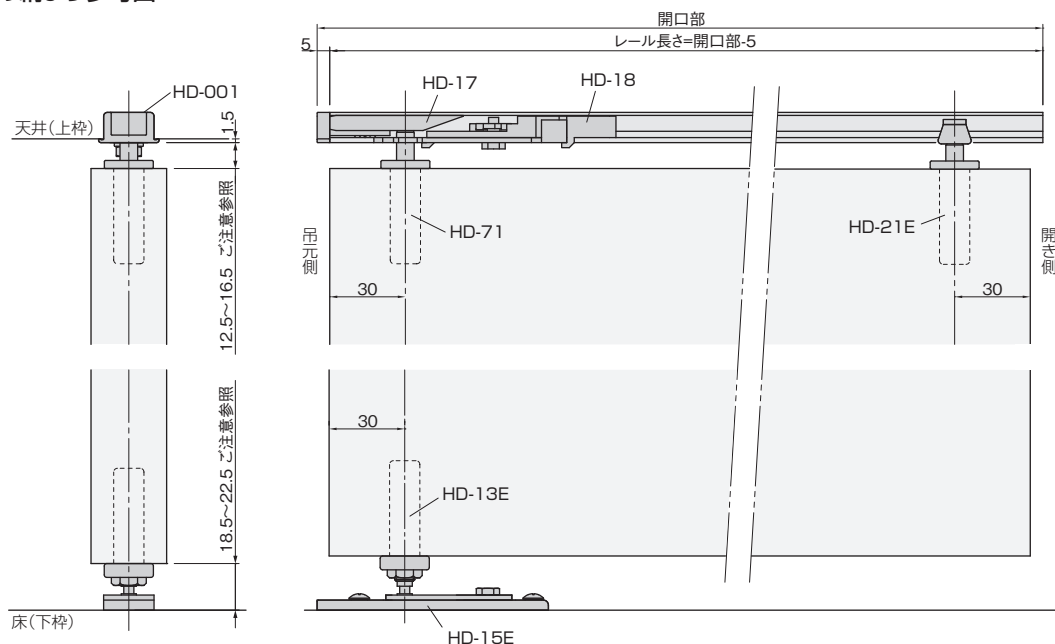
会社案内

使用条件

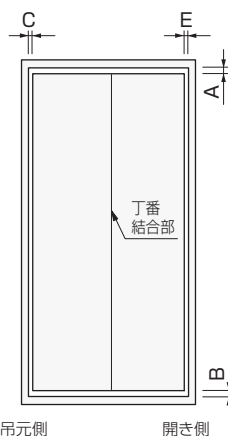
◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=12.5～16.5
B=床と戸の間のすきま寸法=18.5～22.5

●左右のすきま設定
(折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲
の参考値です。この値に枠
や戸の反りなどを考慮した
寸法をプラスして設定して
ください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35、()内はHD-38

戸厚／戸幅	300	350	400	450
20	1.9(2.3)	1.6(1.9)	1.4(1.7)	1.3(1.5)
23	2.3(2.7)	2.0(2.3)	1.7(2.0)	1.5(1.8)
27	2.9(3.3)	2.5(2.8)	2.1(2.5)	1.9(2.2)
30	3.4(3.8)	2.9(3.2)	2.5(2.8)	2.2(2.5)
33	3.9(4.3)	3.3(3.7)	2.9(3.2)	2.5(2.9)
35	4.2(4.7)	3.6(4.0)	3.1(3.5)	2.8(3.1)
40	5.2(5.7)	4.4(4.9)	3.8(4.2)	3.4(3.8)

C(吊元側すきま寸法)

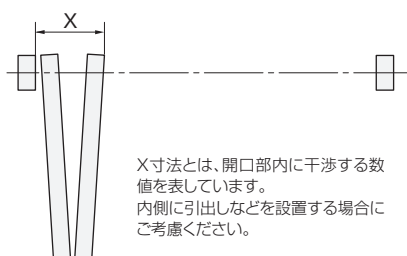
戸厚	C
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=31mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=39mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、31mm<上下のすきま<39mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法

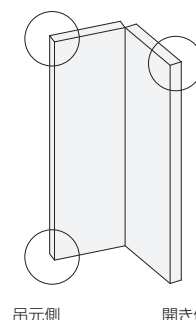
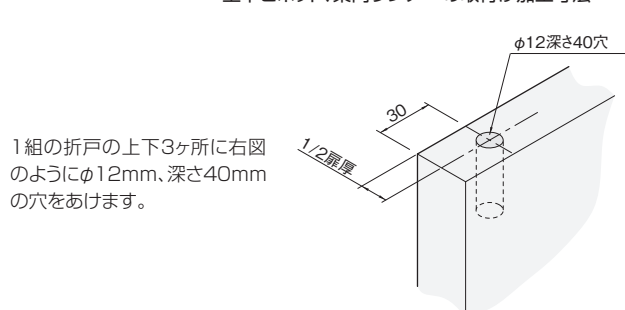


$$X = 125 \text{ mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番 HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボット、案内ランナーの取付け加工寸法

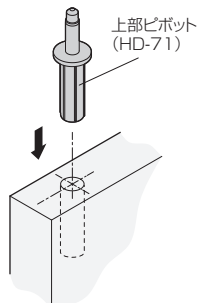


施工ガイド

■金具の取付け方法

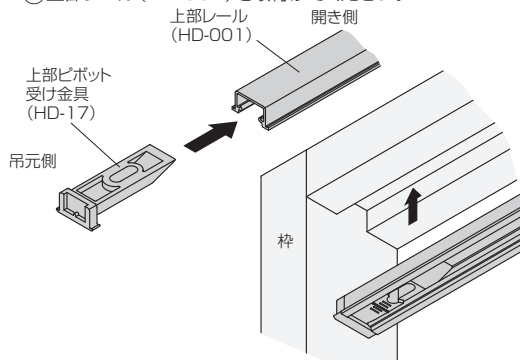
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、下部ピボット (HD-13E)、上部ピボット (HD-71)、上部案内ランナー (HD-21E) を挿入します。



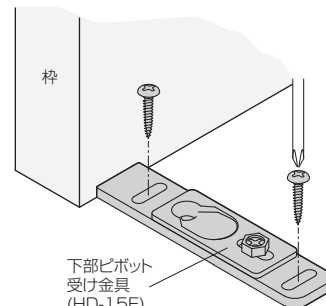
2. レールの取付け

- ① 上部レール (HD-001) を取付ける前に、ピボット受け金具 (HD-17) を上部レールに挿入します。
- ② 上部レール (HD-001) を取付けてください。



3. 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具 (HD-15E) を床 (または下枠) に取付けます。



■戸の吊込み

- ① 戸を傾けて、下部ピボット (HD-13E) をピボット受け金具 (HD-15E) に入れます (図1)。
- ② 図2のように、戸を垂直に立てながら、上部ピボット (HD-71) を上部レール内のピボット受け金具 (HD-17) に入れます。
- ③ 上部案内ピボット (HD-21E) を上部レールに入れます。
- ④ 上部吊元完全固定金具 (HD-18) を、上部ピボット (HD-71) の軸に引っかけてから上部レールに仮固定します (図3)。

- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、下部のピボット受け金具 (HD-15E) と上部の吊元完全固定金具 (HD-18) をスパナ (HDS-60) でしっかりと固定してください。
- ⑥ 吊元完全固定金具 (HD-18) を、添付のドリルタッピンねじでレールに本固定します (図4)。
- ⑦ 下部吊元完全固定金具 (HD-13E用プレート) を、下部ピボット (HD-13E) の軸に引っかけてから床に固定します (図5)。

ご注意

吊元完全固定金具 (HD-18、HD-13E用プレート) の本固定は、戸の位置調整後に行います。

図1

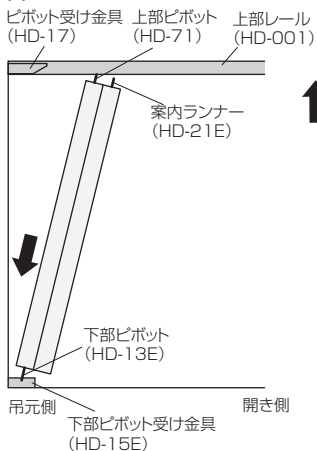


図2

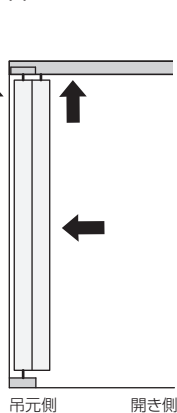


図3

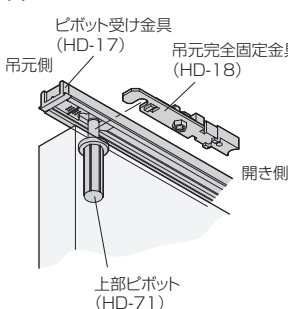


図4

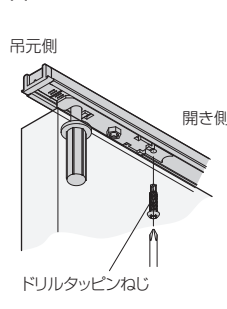
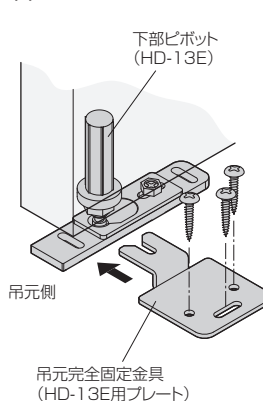


図5



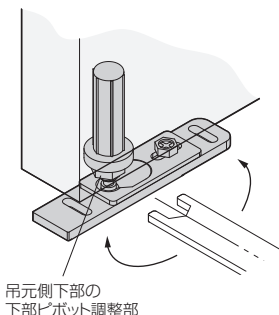
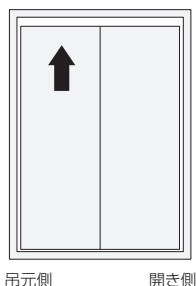
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

→ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボット (HD-13E) の調整部をスパナ (HDS-60) で回すと、戸が上下します。

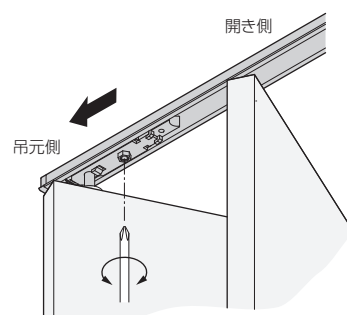
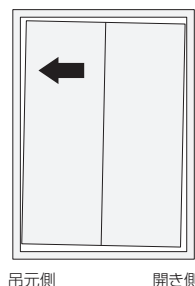
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部吊元完全固定金具 (HD-18) を吊元側に寄せて、下部のピボット受け金具 (HD-15E) のプレート部を開き側に寄せて調整します。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

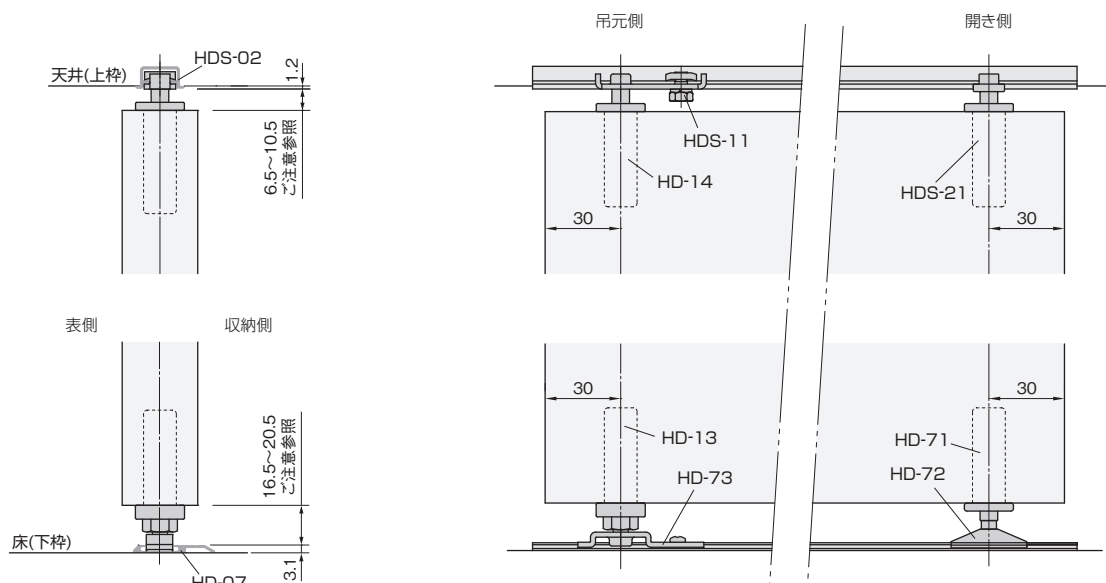
会社案内

使用条件

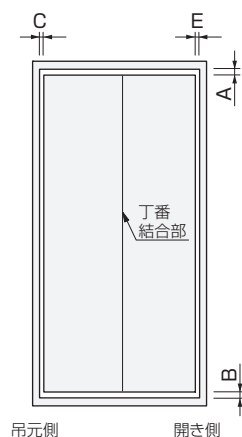
◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
 折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5～10.5
 B=下部レールと戸の間のすきま寸法=16.5～20.5

●左右のすきま設定
(折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	1.9	1.6	1.4	1.3
23	2.3	2.0	1.7	1.5
27	2.9	2.5	2.1	1.9
30	3.4	2.9	2.5	2.2
33	3.9	3.3	2.9	2.5
35	4.2	3.6	3.1	2.8
40	5.2	4.4	3.8	3.4

C(吊元側すきま寸法)

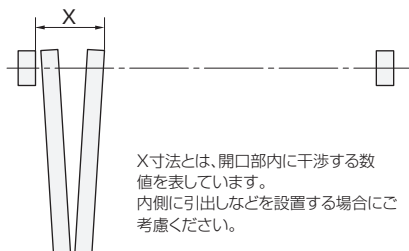
戸厚	C
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=23mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=31mm)に設定しますと、戸の上下調整が出来ませんのでご注意ください。
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、23mm<上下のすきま<31mm)
 上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



戸厚30mm以下の場合

$$X = 85\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$$

戸厚31mm以上の場合

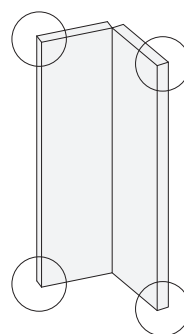
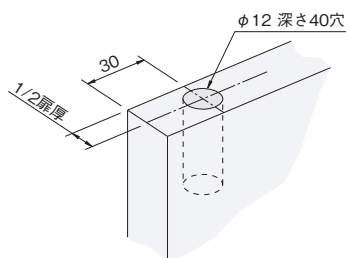
$$X = 55\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番: HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボット、案内ランナーの取付け加工寸法

1組の折戸の上下4ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

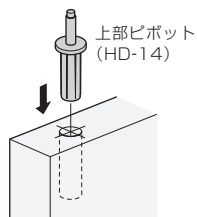


施工ガイド

■金具の取付け方法

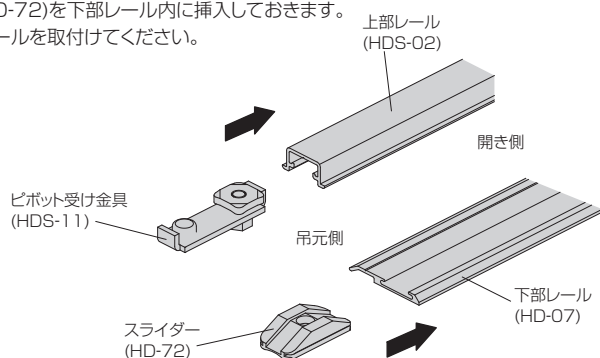
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、吊元側下部ピボット(HD-13)、開き側下部ピボット(HD-71)、上部ピボット(HD-14) 上部案内ランナー(HDS-21)を挿入します。



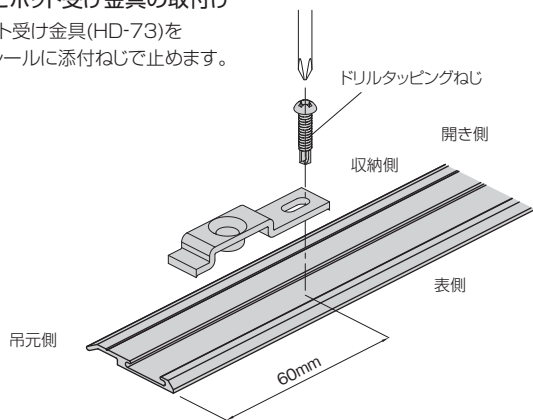
2. レールの取付け

- ① 上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HDS-11)を上部レール内に挿入しておきます。
- ② 下部レールを取付ける前に、下部スライダー(HD-72)を下部レール内に挿入しておきます。
- ③ レールを取付けてください。



3. 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具(HD-73)を下部レールに添付ねじで止めます。



■戸の吊込み

- ① 上部ピボット受け金具(HDS-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-73)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け(HD-73)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HDS-11)に入れます。
- ④ 上の案内ピボット(HDS-21)を上部レールに入れます。
- ⑤ 下部ピボット(HD-71)をスライダー(HD-72)に入れます(図3)。
- ⑥ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上部ピボット受け金具をスパナ(HDS-60)でしっかりと固定してください(図4)。

図1

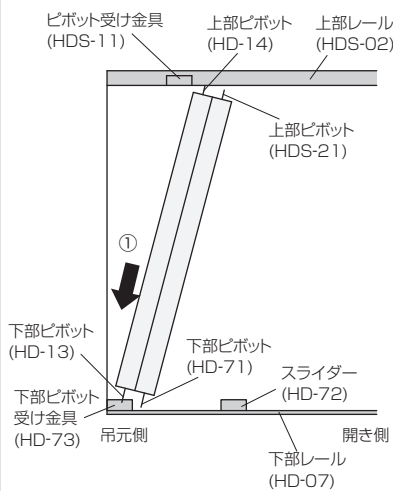


図2

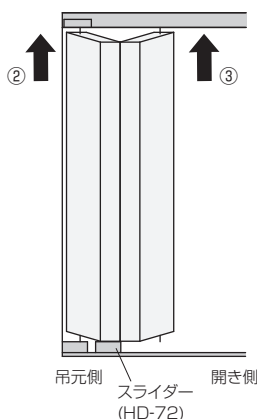


図3

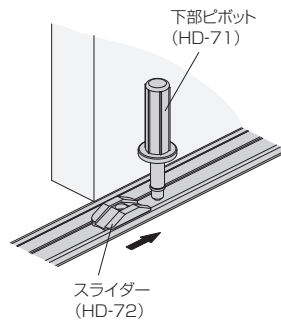
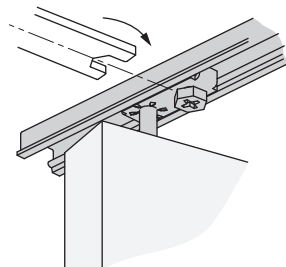


図4



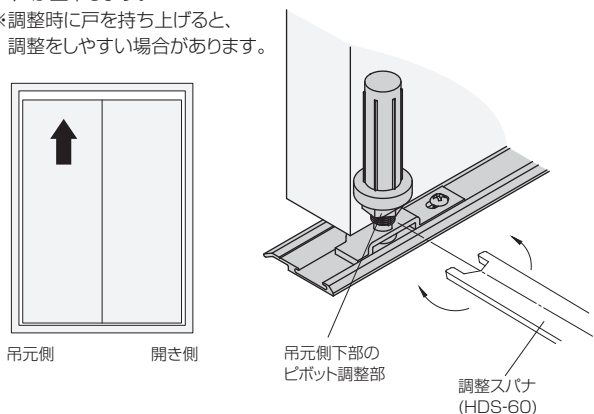
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

➡ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を開めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HDS-60)で回すと、戸が上下します。

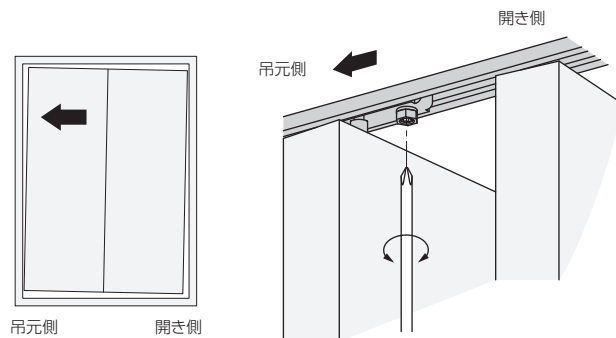
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

➡ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HDS-11)を吊元側に寄せて調整します。



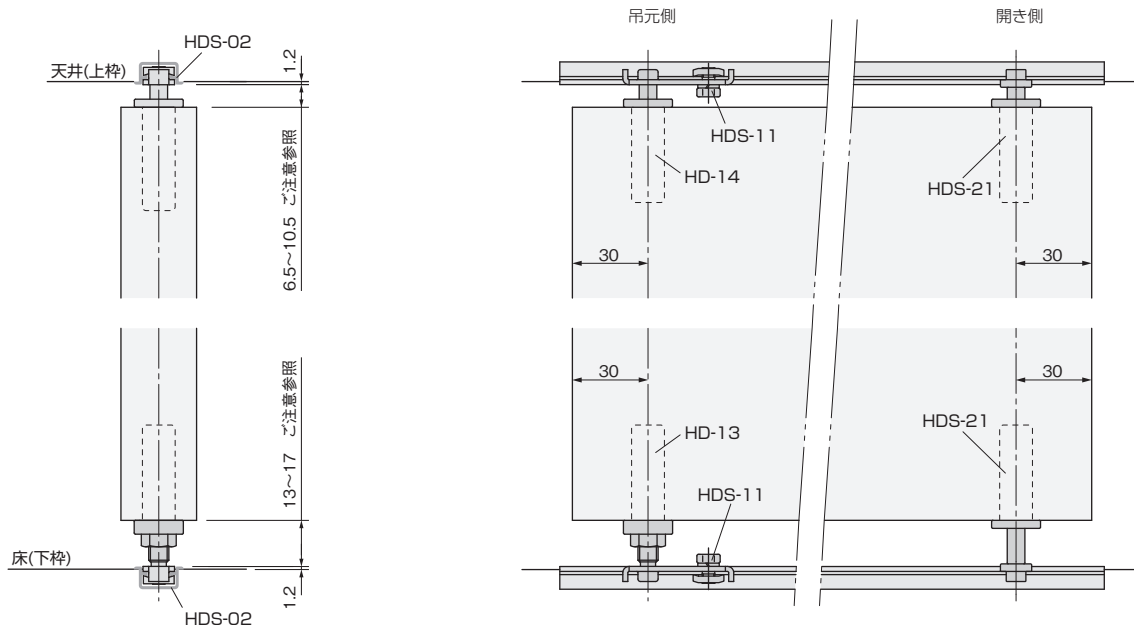
開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

使用条件

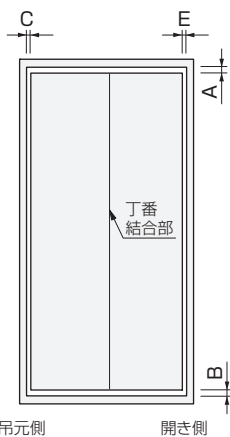
◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600～900mm ◇戸の高さ:2400mm以下
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5～10.5
B=下部レールと戸の間のすきま寸法=13～17

●左右のすきま設定 (折戸1組の場合)

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

E(開き側すきま寸法)

使用丁番: HD-35

戸厚／戸幅	300	350	400	450
20	1.9	1.6	1.4	1.3
23	2.3	2.0	1.7	1.5
27	2.9	2.5	2.1	1.9
30	3.4	2.9	2.5	2.2
33	3.9	3.3	2.9	2.5
35	4.2	3.6	3.1	2.8
40	5.2	4.4	3.8	3.4

C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

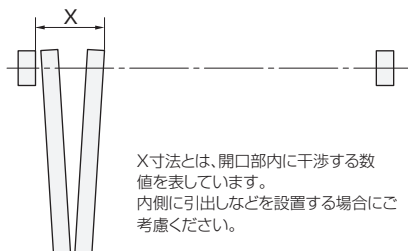
※上記の参考値は「上下の金具の軸位置＝戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=19.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=27.5mm)に設定しますと、戸の上下調整が出来ませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、19.5mm<上下のすきま<27.5mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■表記追加 (25/07/01)

■戸を開けた時のX寸法



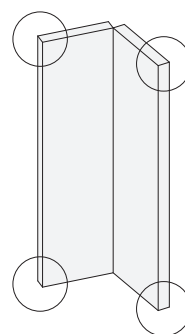
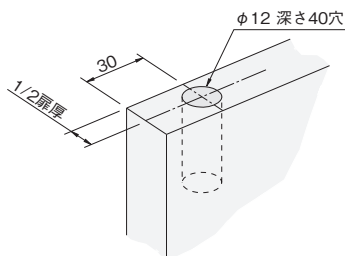
$$X = 55\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は「使用丁番 HD-35」、「上下の金具の軸位置＝戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上下ピボット、案内ランナーの取付け加工寸法

1組の折戸の上下4ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

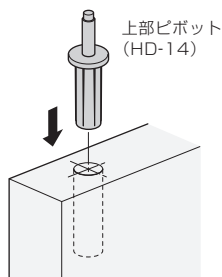


施工ガイド

■金具の取付け方法

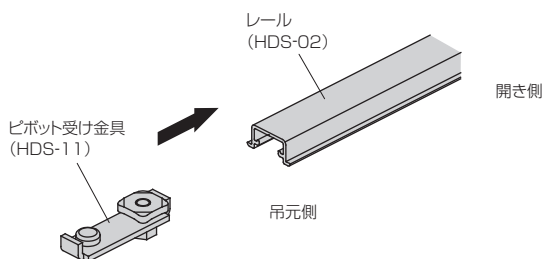
1.戸に付ける金具の取付け

- ①丁番を所定の位置に取付けます。
- ②戸に加工した穴に、下部ピボット(HD-13)、上部ピボット(HD-14)、案内ランナー(HDS-21)を挿入します。



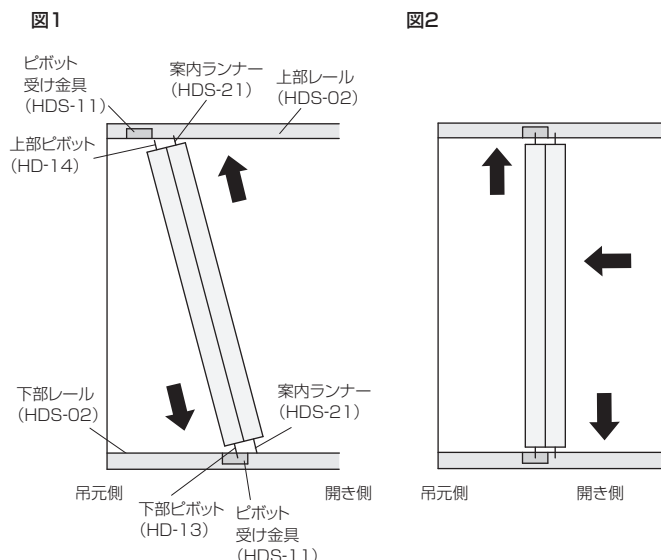
2.レールの取付け

- ①上下のレールを取付ける前に、ピボット受け金具(HDS-11)をレール内に挿入しておきます。
- ②レールを取付けてください。



■戸の吊込み

- ①ピボット受け金具(HDS-11)はレールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように上下の位置をずらしておきます。
- ②戸を傾けて、下部ピボットを下のピボット受け金具に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます(図1)。
- ③図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボット(HD-14)を上部のピボット受け金具に、下の案内ランナーを下部レールに入れます。
- ④吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナ(HDS-60)でしっかりと固定してください(図3)。



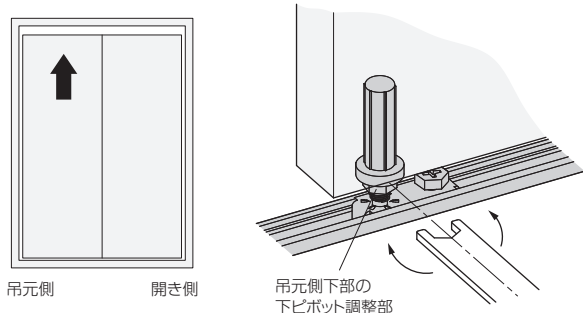
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

➡下部ピボットで、上下調整をしてください

- ①戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HDS-60)で回すと、戸が上下します。

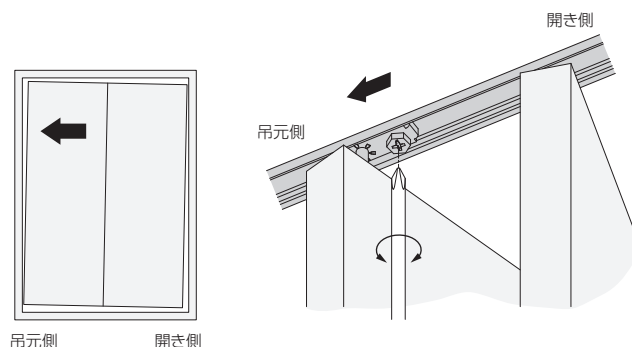
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

➡ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HDS-11)を吊元側に寄せて調整します。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ建具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

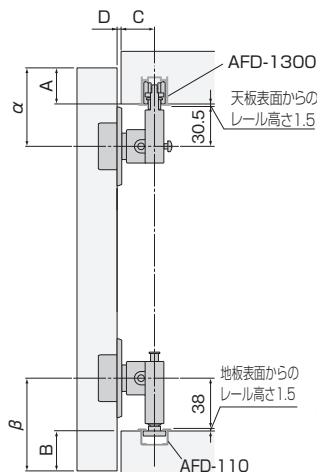
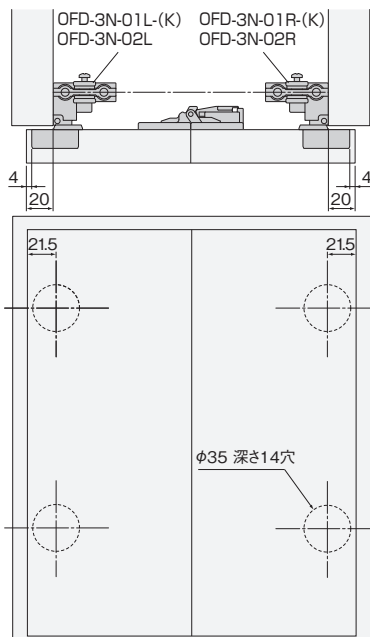
◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。

折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



●レールの取付け位置(C)とすきま(D)との関係表

C	D
28	0
27	1
26	2
25	3

※前後調整ねじ(次ページ参照)を操作することにより戸を前方向に+3mmまで移動することができます。

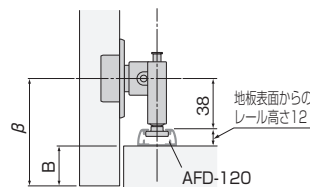
●上下かぶせ代

上部のかぶせ代(A)および下部のかぶせ代(B)は任意に設定することができます。

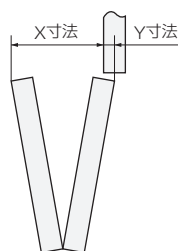
$\alpha = A + 30.5 + \text{レール高さ}$ (AFD-1300は1.5mm、AFD-1500は21.5mm)

$\beta = B + 38 + \text{レール高さ}$ (AFD-110は1.5mm、AFD-120は12mm)

※上記寸法より下方へ7mm調整可。



■戸を開けた時のX・Y寸法



X寸法とは、開口部に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

Y寸法とは、側板(または仕切板)に干渉する数値を表しています。

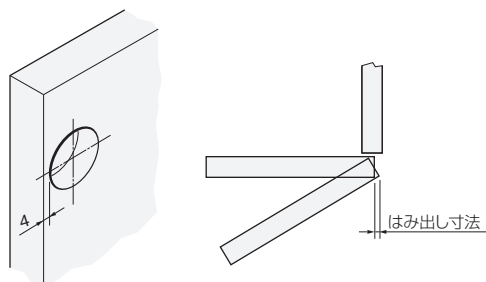
X寸法=戸厚+94mm(フリーオープンタイプの場合)

X寸法=戸厚+123mm(吊元固定タイプの場合)

Y寸法=戸厚-5mm

※上記の計算式は丁番HD-50を使用し、戸厚20～30の時に適用されます。

■吊元側のはみ出し寸法(吊元固定タイプの場合)

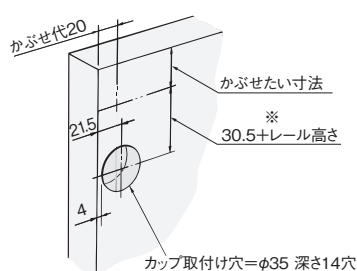


はみ出し寸法表

戸厚	はみ出し寸法
20	1.7
21	2.0
22	2.4
23	2.8
24	3.2
25	3.7
26	4.3
27	5.0
28	5.7
29	6.4
30	7.2

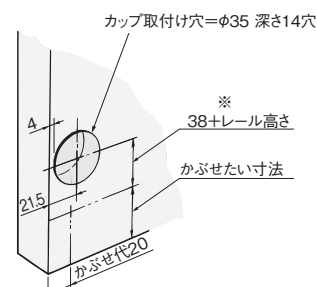
■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の
取付け加工寸法



※レール高さ
AFD-1300は1.5mm
AFD-1500は21.5mm

下部ガイドの
取付け加工寸法



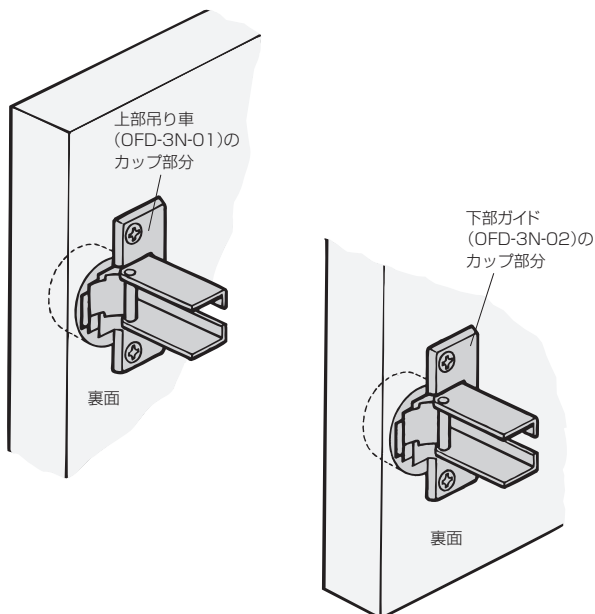
※レール高さ
AFD-110は1.5mm
AFD-120は12mm

施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 戸に付ける金具の取付け

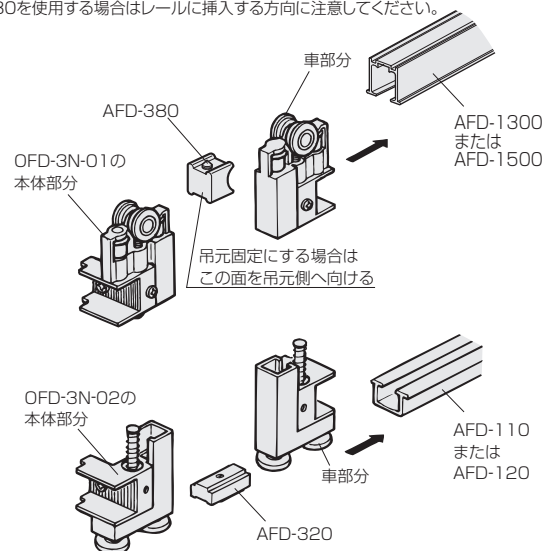
- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイド(OFD-3N-01 および OFD-3N-02)のカップ部分を戸の裏面加工部に取付けてください。



2. レールの取付け

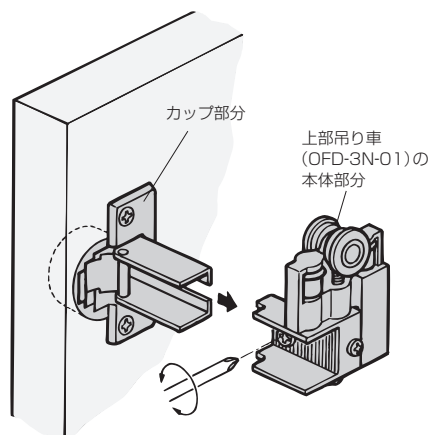
- ① 上下レールを取付ける前に、上部吊り車および下部ガイド(OFD-3N-01 および OFD-3N-02)とも、車部分をレールの中に挿入しておきます。
- ② 上下レールを取付けます。

※吊元固定タイプの場合は、上・下吊元固定用ストッパー(AFD-380およびAFD-320)を挿入してください。
※AFD-380を使用する場合はレールに挿入する方向に注意してください。



■戸の吊込み

- ① 上部吊り車(OFD-3N-01)の本体部分とカップ部分を結合します。
- ② 下部ガイド(OFD-3N-02)の本体部分とカップ部分を結合します。
- ③ 戸の位置調整をします。
位置調整が終わったら、「上下方向固定ねじ」、「前後調整および固定ねじ」をしっかりと締めて固定します。
※吊元固定タイプの場合は、上・下吊元固定用ストッパー(AFD-380およびAFD-320)のねじを締め固定します。

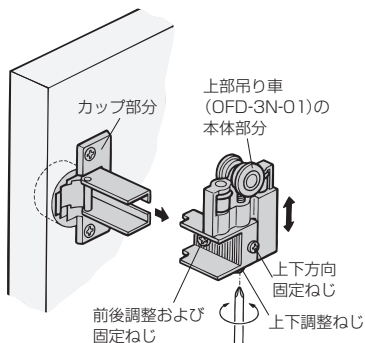


■戸の位置調整(調整代：製品出荷時の状態より、前方向へ3mm、下方向へ7mm)

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、左右に傾いたりしている場合
→ 上部吊り車で、上下調整をしてください

- ① 上部吊り車の「上下方向固定ねじ」を緩めます。
- ② 「上下調整ねじ」を回して、戸を所定の位置に移動します。
- ③ 位置が決まったら「上下方向固定ねじ」をしっかりと締めて、固定します。

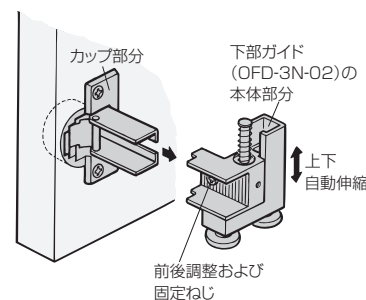
※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が前後に傾いている場合
→ 上部吊り車および下部ガイドで、前後調整をしてください

→ 上部吊り車および下部ガイドで、前後調整をしてください

- ① 上部吊り車および下部ガイドの「前後調整および固定ねじ」を緩めます。
- ② 本体部分とカップ部分の結合位置を前後にスライド調整することにより、戸を所定の位置に移動します。
- ③ 位置が決まったら「前後調整および固定ねじ」を締めて、本体部分とカップ部分とをしっかりと固定します。



ご注意

調整後は必ず「上下方向固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

ご注意

調整後は必ず「前後調整および固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

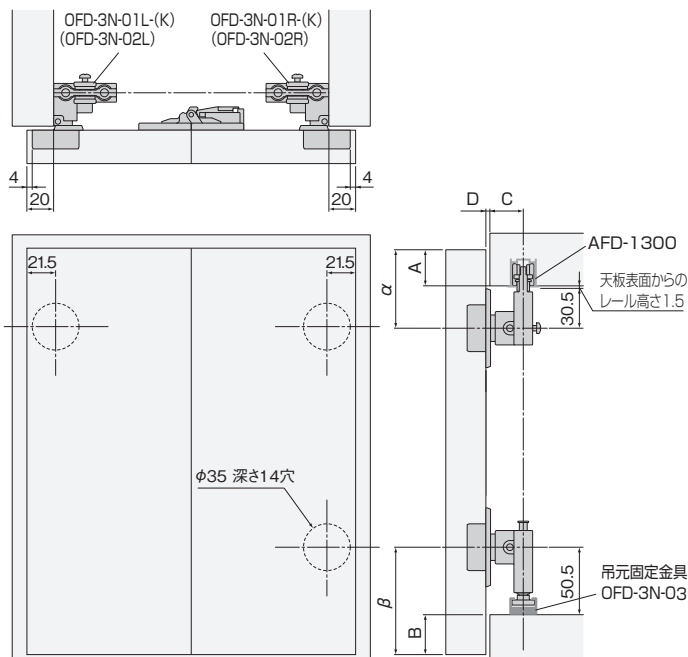
会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:20kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



●レールの取付け位置(C)とすきま(D)との関係表

C	D
28	0
27	1
26	2
25	3

※前後調整ねじ(次ページ参照)を操作することにより戸を前方向に+3mmまで移動することができます。

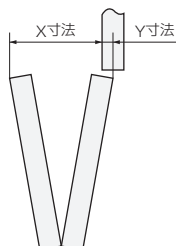
●上下かぶせ代

上部のかぶせ代(A)および下部のかぶせ代(B)は任意に設定することができます。

$\alpha = A + 30.5 + \text{レール高さ}$ (AFD-1300は1.5mm、AFD-1500は21.5mm)
 $\beta = B + 50.5$

※上記寸法より下方へ7mm調整可。

■戸を開けた時のX・Y寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

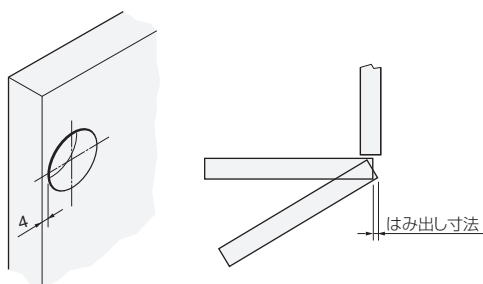
Y寸法とは、側板(または仕切板)に干渉する数値を表しています。

X寸法=戸厚+110mm

Y寸法=戸厚-5mm

※上記の計算式は丁番HD-50を使用し、戸厚20～30の時に適用されます。

■吊元側のはみ出し寸法



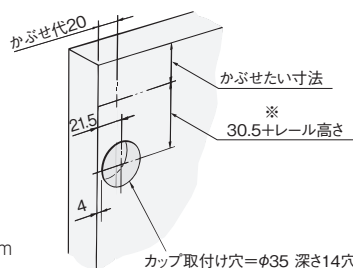
はみ出し寸法表

戸厚	はみ出し寸法
20	1.7
21	2.0
22	2.4
23	2.8
24	3.2
25	3.7
26	4.3
27	5.0
28	5.7
29	6.4
30	7.2

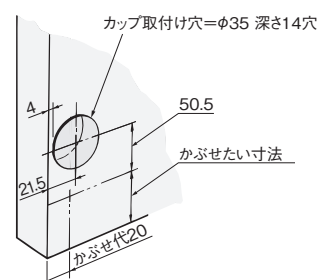
■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法

※レール高さ
AFD-1300は1.5mm
AFD-1500は21.5mm



下部ガイドの取付け加工寸法

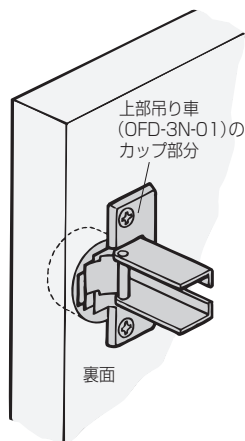


施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 戸に付ける金具の取付け

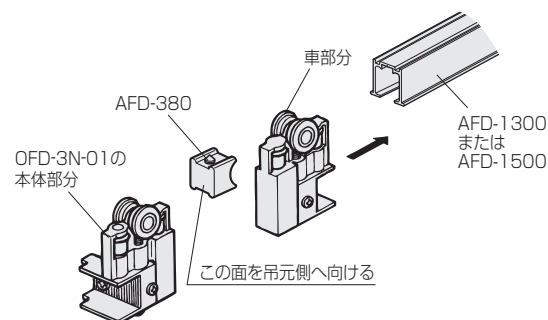
- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車 (OFD-3N-01) のカップ部分を戸の裏面加工部に取付けてください。
- ③ 下部ガイドを戸の裏面加工部に取付けてください。



2. レールの取付け

- ① 上部レールを取付ける前に、上部吊り車 (OFD-3N-01) 車部分および AFD-380 をレールの中に挿入しておきます。
- ② 上部レールを取付けてください。

※AFD-380はレールに挿入する方向に注意してください。



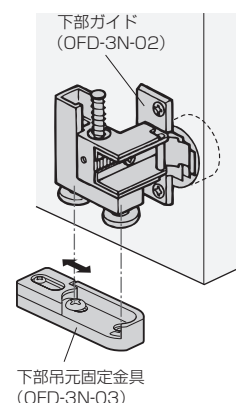
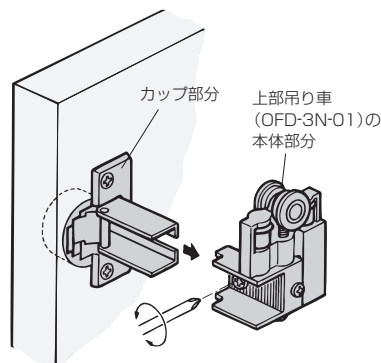
3. 下部吊元固定金具の取付け

- ① 下部吊元固定金具 (OFD-3N-03) を地板にねじ止めします。

■戸の吊込み

- ① 上部吊り車 (OFD-3N-01) の本体部分とカップ部分を結合します。
- ② 下部ガイド (OFD-3N-02) と下部吊元固定金具 (OFD-3N-03) を結合し、ねじ締めします。
- ③ 戸の位置調整をします。

位置調整が終わったら、「上下方向固定ねじ」、「前後調整および固定ねじ」をしっかりと締めて固定します。

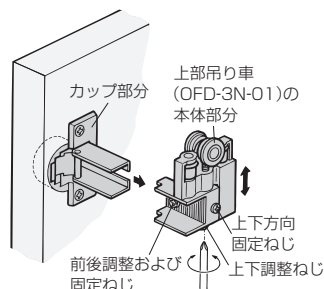


■戸の位置調整 (調整代: 製品出荷時の状態より、前方向へ3mm、下方向へ7mm)

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、左右に傾いたりしている場合

▶ 上部吊り車で、上下調整をしてください

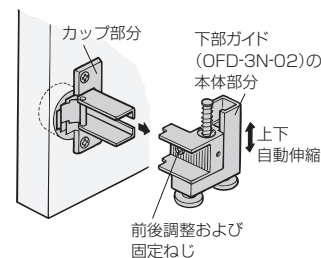
- ① 上部吊り車の「上下方向固定ねじ」を緩めます。
 - ② 「上下調整ねじ」を回して、戸を所定の位置に移動します。
 - ③ 位置が決まったら「上下方向固定ねじ」をしっかりと締めて、固定します。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が前後に傾いている場合

▶ 上部吊り車および下部ガイドで、前後調整をしてください

- ① 上部吊り車および下部ガイドの「前後調整および固定ねじ」を緩めます。
- ② 本体部分とカップ部分の結合位置を前後にスライド調整することにより、戸を所定の位置に移動します。
- ③ 位置が決まったら「前後調整および固定ねじ」を締めて、本体部分とカップ部分とをしっかりと固定します。



ご注意

調整後は必ず「上下方向固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

ご注意

調整後は必ず「前後調整および固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

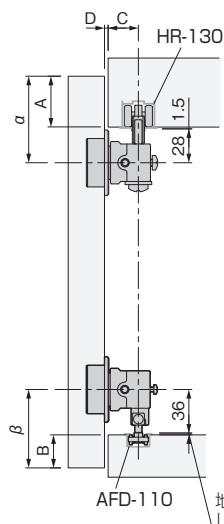
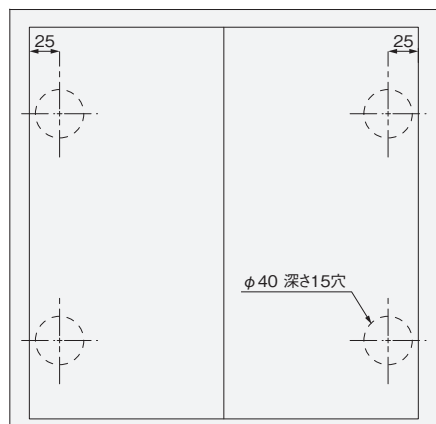
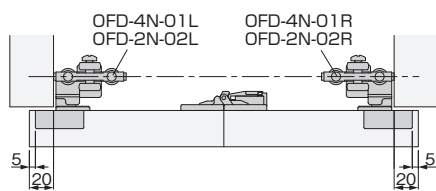
会社案内

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:20mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図



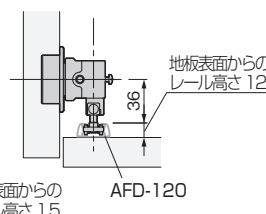
●レールの取付け位置(C)とすきま(D)との関係表

C	D
28	0
27	1
26	2
25	3

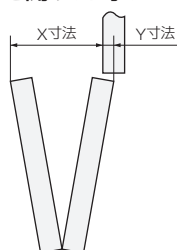
※前後調整ねじ(次ページ参照)を操作することにより戸を前方向に+3mmまで移動することができます。

●上下かぶせ代

上部のかぶせ代Aおよび下部のかぶせ代Bは任意に設定することができます。
 $\alpha = A + 28 + \text{レール高さ}$ (HR-130は1.5mm, HR-150は23.5mm)
 $\beta = B + 36 + \text{レール高さ}$ (AFD-110は1.5mm, AFD-120は12mm)
 ※上記寸法より下方へ8mm調整可。



■戸を開けた時のX・Y寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。
Y寸法とは、側板(または仕切板)に干渉する数値を表しています。

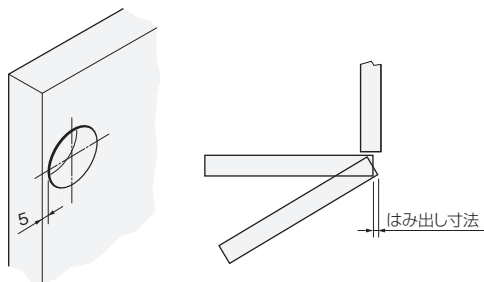
X寸法=戸厚+120mm (フリーオープンタイプの場合)

X寸法=戸厚+143mm (吊元固定タイプの場合)

Y寸法=戸厚-6mm

※上記の計算式は丁番HD-50を使用し、戸厚20～30の時に適用されます。

■吊元側のはみ出し寸法 (吊元固定タイプの場合)

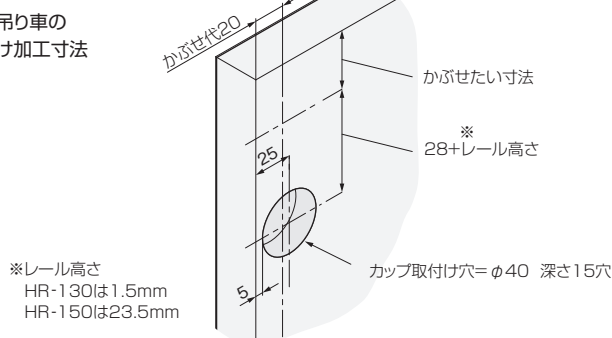


はみ出し寸法表

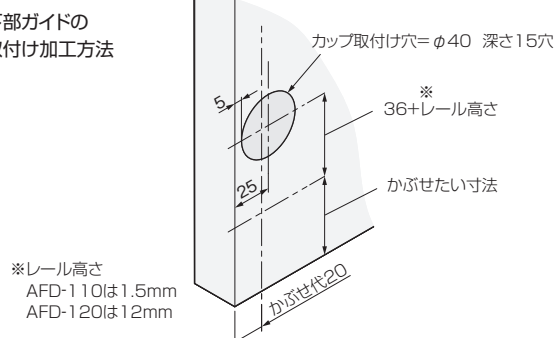
戸厚	はみ出し寸法
20	1.2
21	1.4
22	1.7
23	2.1
24	2.4
25	2.8
26	3.3
27	3.7
28	4.3
29	4.8
30	5.5

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法



下部ガイドの取付け加工方法

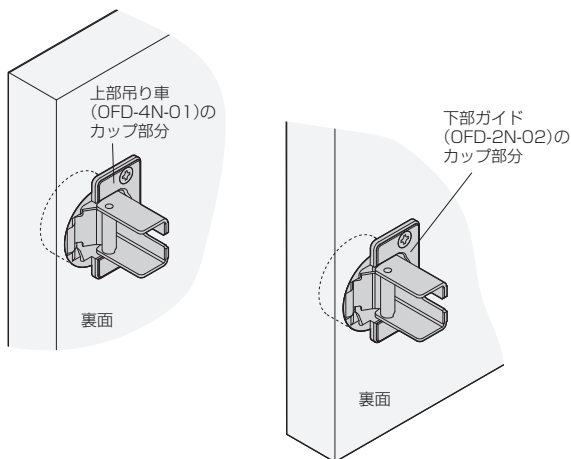


施工ガイド

■金具の取付け方法

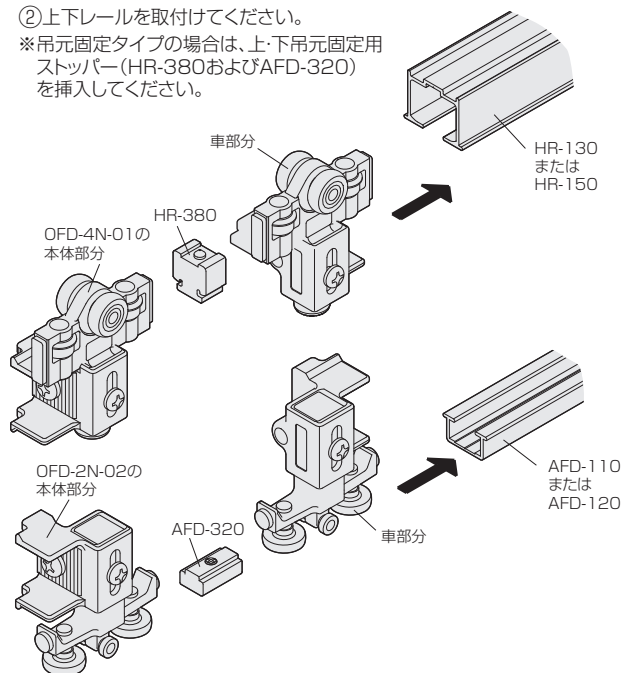
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番は戸の裏面に取付けます。
- ② 上部吊り車および下部ガイド(OFD-4N-01およびOFD-2N-02)のカップ部分を戸の裏面加工部に取付けてください。



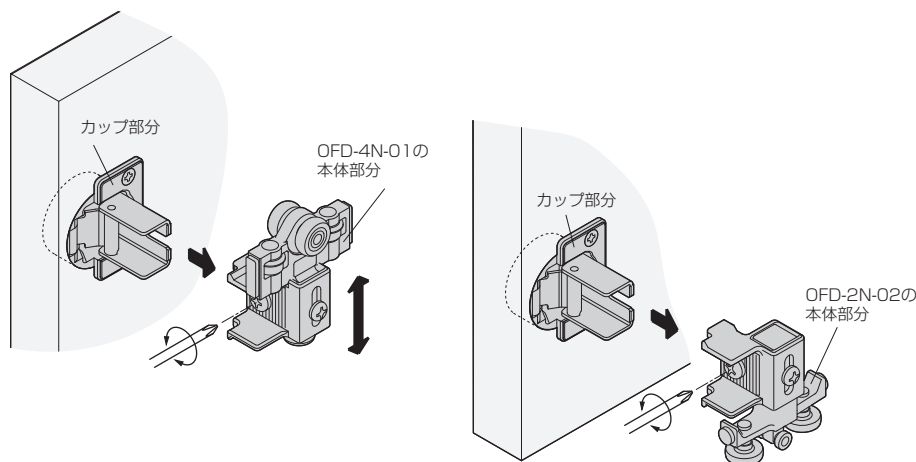
2. レールの取付け

- ① 上下レールを取付ける前に、上部吊り車および下部ガイド(OFD-4N-01およびOFD-2N-02)とも、車部分をレールの中に挿入しておきます。
 - ② 上下レールを取付けてください。
- ※吊元固定タイプの場合は、上・下吊元固定用ストッパー(HR-380およびAFD-320)を挿入してください。



■戸の吊込み

- ① 上部吊り車(OFD-4N-01)の本体部分とカップ部分を結合します。
 - ② 下部ガイド(OFD-2N-02)の本体部分とカップ部分を結合します。
 - ③ 戸の位置調整をします。
位置調整が終わったら、「上下方向固定ねじ」、「前後調整および固定ねじ」をしっかり締めて固定します。
- ※吊元固定タイプの場合は、上・下吊元固定用ストッパー(HR-380およびAFD-320)のねじを締め固定します。

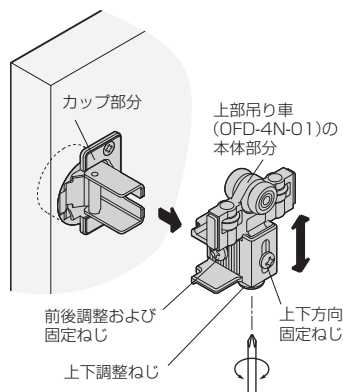


■戸の位置調整(調整代: 納品時の状態より、前方向へ3mm、下方向へ8mm)

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、左右に傾いたりしている場合

→ 上部吊り車で、上下調整をしてください

- ① 上部吊り車の「上下方向固定ねじ」を緩めます。
 - ② 「上下調整ねじ」を回して、戸を所定の位置に移動します。
 - ③ 位置が決まったら「上下方向固定ねじ」をしっかり締めて、固定します。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。

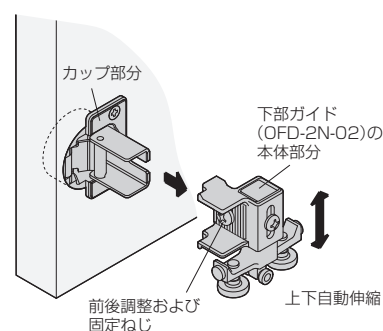


ご注意

調整後は必ず「上下方向固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

戸が前後に傾いている場合
→ 上部吊り車および下部ガイドで、前後調整をしてください

- ① 上部吊り車および下部ガイドの「前後調整および固定ねじ」を緩めます。
- ② 本体部分とカップ部分の結合位置を前後にスライド調整することにより、戸を所定の位置に移動します。
- ③ 位置が決まったら「前後調整および固定ねじ」を締めて、本体部分とカップ部分とをしっかりと固定します。



ご注意

調整後は必ず「前後調整および固定ねじ」を締め付けてください。締め付けずにおくと、戸が傾いたり、部品が落下するおそれがあります。

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ金具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドレールワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

使用条件

- ◇対応折戸システム:HDシステム (394~405ページ参照)
- ◇対応折戸用丁番: HD-35・HD-38・HD-50・HD-55・HD-96
- ※折戸1組の総質量・戸の厚さ・戸幅は 対応折戸システムの使用条件に準じます。

ご注意

正しく安全にお使い頂くために、以下の事にご注意ください。

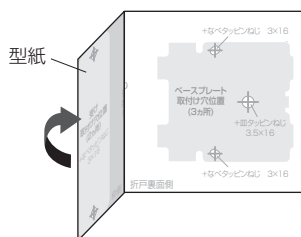
- 折戸用ダンパーは、折戸を構成する金具・使用する環境・室温・操作方法などにより閉じる速度にばらつきが生じます。
- 必ず使用条件をお守りください。使用条件外で使用すると、異常な動作・故障や事故発生の原因になります。
- 金具の取付け面に、丈夫な下地がある事を事前にご確認ください。

施工ガイド

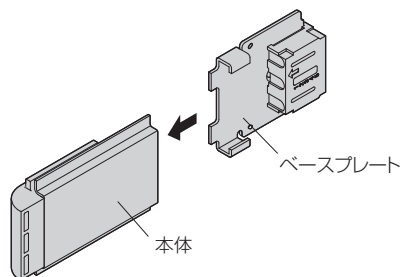
■金具の取付け方法

1.取付けの準備

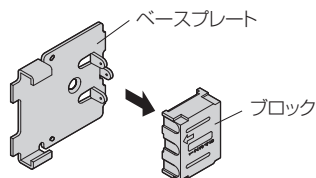
- ①あらかじめ、折戸の建てつけ・動作を確認してください。
- ②FC-790に添付されている型紙の、指定箇所を谷折りにしてください。



- ③FC-790を、本体とベースプレートに分離します。

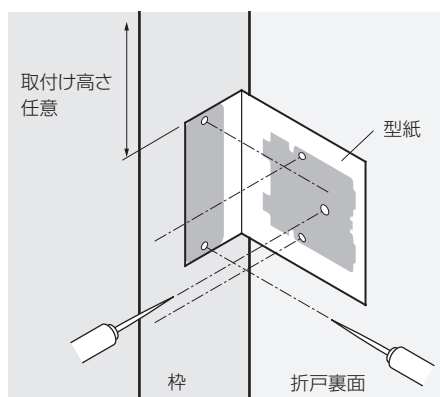


- ④ベースプレートからブロックを分離します。



2.取付け下穴の位置出し

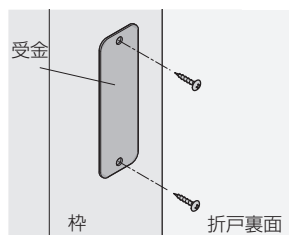
- ①戸を閉じた状態にします。
- ②用意した型紙を図のように、枠と折戸裏面にあてがい、型紙の取付け穴位置にキリなどで下穴 (5箇所) をあけてください。



※枠に2ヶ所、折戸に3ヶ所

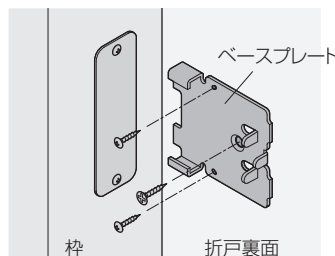
3.受金の取付け

- ①枠の下穴位置に、受金を取付けてください。



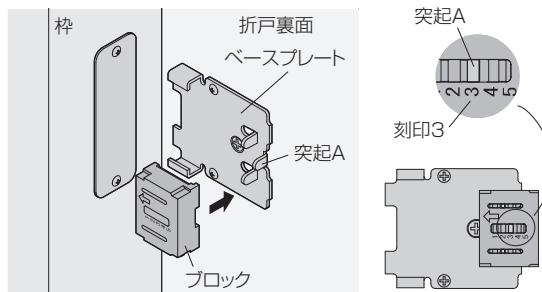
4.ベースプレートの取付け

- ①折戸の下穴位置にベースプレートを取付けてください。



5.ブロックの取付け

- ①ベースプレートの突起Aがブロックの刻印3の位置になるように、ブロックをベースプレートに差込みます。

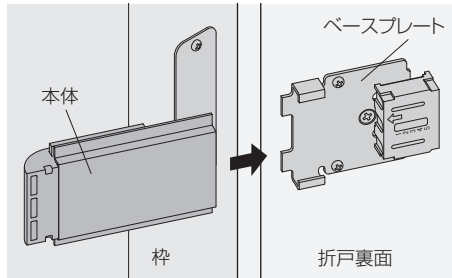


ご注意

ブロックの取付け向きに、注意してください (矢印が枠側を向きます)。

6.本体の取付け

- ①折戸を開けた状態にします。
- ②ベースプレートに本体を差込みます。



■制動力の調整

ブロックの取付け位置を変えることで、制動力を調整できます。

